

令和6年度国・県予算に対する統一要望について

令和5年5月31日
市長公室

《総括表》

1 要望件数総括表

(単位：件)

要望 対象年度	要望件数			内 訳					
				国			県		
	合計	新規	継続	小計	新規	継続	小計	新規	継続
令和6年度	34	3	31	16	2	14	18	1	17
令和5年度	31	0	31	14	0	14	17	0	17

2 所管部署内訳

(1) 国関係

経済産業省	1
農林水産省	1
国土交通省	13
財務省	1
環境省	1
文部科学省	1
合計	18

(2) 県関係

ふるさと振興部	1
文化スポーツ部	1
環境生活部	1
商工労働観光部	2
農林水産部	1
県土整備部	14
合計	20

※国要望No.1は、経済産業省、農林水産省及び国土交通省への提出

※県要望No.5は、商工労働観光部、農林水産部及び県土整備部への提出

3 各部等の提出内訳

部 等 名	合 計	内 訳	
		国	県
交流推進部	1	0	1
商工労働部	4	2	2
建設部	18	8	10
都市整備部	8	5	3
玉山総合事務所	3	1	2
上下水道局	6	3	3
教育委員会	1	1	0
合計	41	20	21

※国要望No.3及び県要望No.6は、建設部、都市整備部及び上下水道局の合同提出

※国要望No.10は、建設部及び都市整備部の合同提出

※国要望No.16は、都市整備部及び教育委員会の合同提出

※県要望No.13は、建設部及び玉山総合事務所の合同提出

令和6年度 国予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は県に対しても要望している項目

No.	ページ	要望事項（件名）	新・継	所管部署	提出部等名	備考
①	1	盛岡南地区物流拠点の整備に係る土地利用変更手続きの推進と新たな補助制度の創設について	新規	経済産業省 (経済産業政策局) 農林水産省 (農村振興局) 国土交通省 (総合政策局)	商工労働部	県5
②	3	盛岡南地区物流拠点の整備に係る土地等の譲渡所得の特別控除の適用について	新規	財務省 (国税庁)	商工労働部	
③	6	社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局、都市局、水管理・ 国土保全局、住宅局)	建設部 都市整備部 上下水道局	県6
④	9	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県7
⑤	11	一般国道4号「盛岡南道路」整備事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県8
6	13	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局)	建設部	県9
⑦	16	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅「もりおか渋民」の整備について	継続	国土交通省 (道路局)	玉山総合事務所	県10
8	18	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について	継続	国土交通省 (都市局)	建設部	県11
9	20	市街地再開発事業の推進について	継続	国土交通省 (住宅局)	都市整備部	県12
10	22	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部 都市整備部	
⑪	25	北上川上流ダム再生事業の促進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	
12	27	大規模特定河川事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	建設部	県15
⑬	29	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	国土交通省 (道路局、都市局)	都市整備部	県17
14	31	盛岡市公共下水道事業の推進について	継続	国土交通省 (水管理・国土保全局)	上下水道局	
15	34	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	環境省 (環境再生・資源循環局)	上下水道局	県18
16	36	国指定史跡盛岡城跡保存整備事業の推進について	継続	文部科学省 (文化庁)	都市整備部 教育委員会	

※○囲みは重点要望事項

令和6年度 県予算に対する統一要望事項<一覧表>

※備考欄は国に対しても要望している項目

No.	ページ	要望事項（件名）	新・継	所管部署	提出部等名	備考
1	38	鉄道駅のバリアフリー化の推進について	継続	ふるさと振興部	建設部	
2	40	スポーツ推進施策の充実強化について	継続	文化スポーツ部	交流推進部	
3	41	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	継続	環境生活部	上下水道局	
4	45	市の産業施策と県の北上川バレープロジェクトとの連携強化、及びIT関連企業の誘致への支援について	継続	商工労働観光部	商工労働部	
5	46	盛岡南地区物流拠点の整備に係る土地利用変更手続きの推進と新たな補助制度の創設について	新規	商工労働観光部 農林水産部 県土整備部	商工労働部	国1
6	49	社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について	継続	県土整備部	建設部 都市整備部 上下水道局	国3
7	52	一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について	継続	県土整備部	建設部	国4
8	54	一般国道4号「盛岡南道路」整備事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国5
9	56	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国6
10	59	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅「もりおか渋民」の整備について	継続	県土整備部	玉山総合事務所	国7
11	61	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国8
12	63	市街地再開発事業の推進について	継続	県土整備部	都市整備部	国9
13	65	盛岡市内の国県道の整備促進について	継続	県土整備部	建設部 玉山総合事務所	
14	70	岩手県管理河川改修事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	
15	73	大規模特定河川事業の推進について	継続	県土整備部	建設部	国12
16	75	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	継続	県土整備部	建設部	
17	77	盛岡市土地区画整理事業の推進について	継続	県土整備部	都市整備部	国13
18	79	循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について	継続	県土整備部	上下水道局	国15

4 今後の要望日程（予定）について

要望日程	要望項目	要望先
令和5年6月2日（金）	岩手県議会議員に対する 要望説明	盛岡選挙区選出岩手県議会議員
令和5年7月11日（火）	国に対する統一要望	各省庁、岩手県選出国会議員
令和5年7月28日（金）	県に対する統一要望	岩手県知事、盛岡広域振興局長

令和 6 年度

国・県予算に対する統一要望事項（案）

盛岡南地区物流拠点の整備に係る土地利用変更手続きの推進と新たな補助制度の創設について

盛岡市は、東北縦貫自動車道に加え、一般国道 106 号宮古盛岡横断道路、盛岡貨物ターミナル駅など、交通環境等で優位性が高く、全県及び北東北への波及効果が見込まれることから、「物流の 2024 年問題」を契機として労働環境の改善の必要性や効率化・集約化による競争力強化が求められる中で、これらに対応する新たな物流拠点として、「盛岡南地区物流拠点整備事業」に取り組んでいます。

本市はこれまでも、国の半導体産業を支える北上工業団地への工業用水供給に対する支援を行うなど、産業振興や雇用創出に貢献してまいりましたが、これまでの取組みに加え、産業を下支えする物流機能の強化・充実に本格的に取り組むことにより、産業全般のさらなる活性化や企業誘致・雇用創出を図ることとしています。

盛岡南地区物流拠点の整備にあたっては、国の総合物流施策大綱に則した整備を進めることとし、交通環境の優位性をいかし、仙台市に次ぐ新たな拠点を形成することにより、東北地方における輸配送拠点の分散化を図り、「物流の 2024 年問題」の回避に貢献し、働き方改革時代の北東北の物流機能を支える物流拠点を目指します。

また、インランドデポ機能を有する盛岡貨物ターミナル駅に隣接している立地条件をいかし、宮古港など沿岸主要港湾と連携することにより、農産物をはじめ北東北で生産される各種製品の鉄道・船舶によるコンテナ輸送・輸出の拡大を図り、各種産業の活性化及び国際競争力強化、農林水産物・食品の輸出拡大、国際コンテナ戦略港湾政策の推進に寄与するとともに、脱炭素・モーダルシフトを推進する物流拠点を目指します。

加えて、有事の際に必要な緊急支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることにより、災害時の物資確保拠点の形成による国土強靱化への対応を図ることとしています。

これらの機能を有し、国の各施策の推進に寄与する新たな物流拠点を整備するにあたり、次の事項について要望いたします。

記

- 1 土地利用変更手続きにおいて必要となる指導・助言及び、円滑な事業推進のために特段の御配慮をいただきたいこと
- 2 「物流の2024年問題」や「国土強靱化」に対応する物流拠点整備のための新たな補助制度を創設していただきたいこと

盛岡南地区物流拠点の整備に係る土地等の譲渡所得の特別控除の適用について

盛岡市は、東北縦貫自動車道に加え、一般国道 106 号宮古盛岡横断道路、盛岡貨物ターミナル駅など、交通環境等で優位性が高く、全県及び北東北への波及効果が見込まれることから、「物流の 2024 年問題」を契機として労働環境の改善の必要性や効率化・集約化による競争力強化が求められる中で、これらに対応する新たな物流拠点として、「盛岡南地区物流拠点整備事業」に取り組んでいます。

本市はこれまでも、国の半導体産業を支える北上工業団地への工業用水供給に対する支援を行うなど、産業振興や雇用創出に貢献してまいりましたが、これまでの取組みに加え、産業を下支えする物流機能の強化・充実に本格的に取り組むことにより、産業全般のさらなる活性化や企業誘致・雇用創出を図ることとしています。

盛岡南地区物流拠点の整備にあたっては、国の総合物流施策大綱に則した整備を進めることとし、交通環境の優位性をいかし、仙台市に次ぐ新たな拠点を形成することにより、東北地方における輸配送拠点の分散化を図り、「物流の 2024 年問題」の回避に貢献し、働き方改革時代の北東北の物流機能を支える物流拠点を目指します。

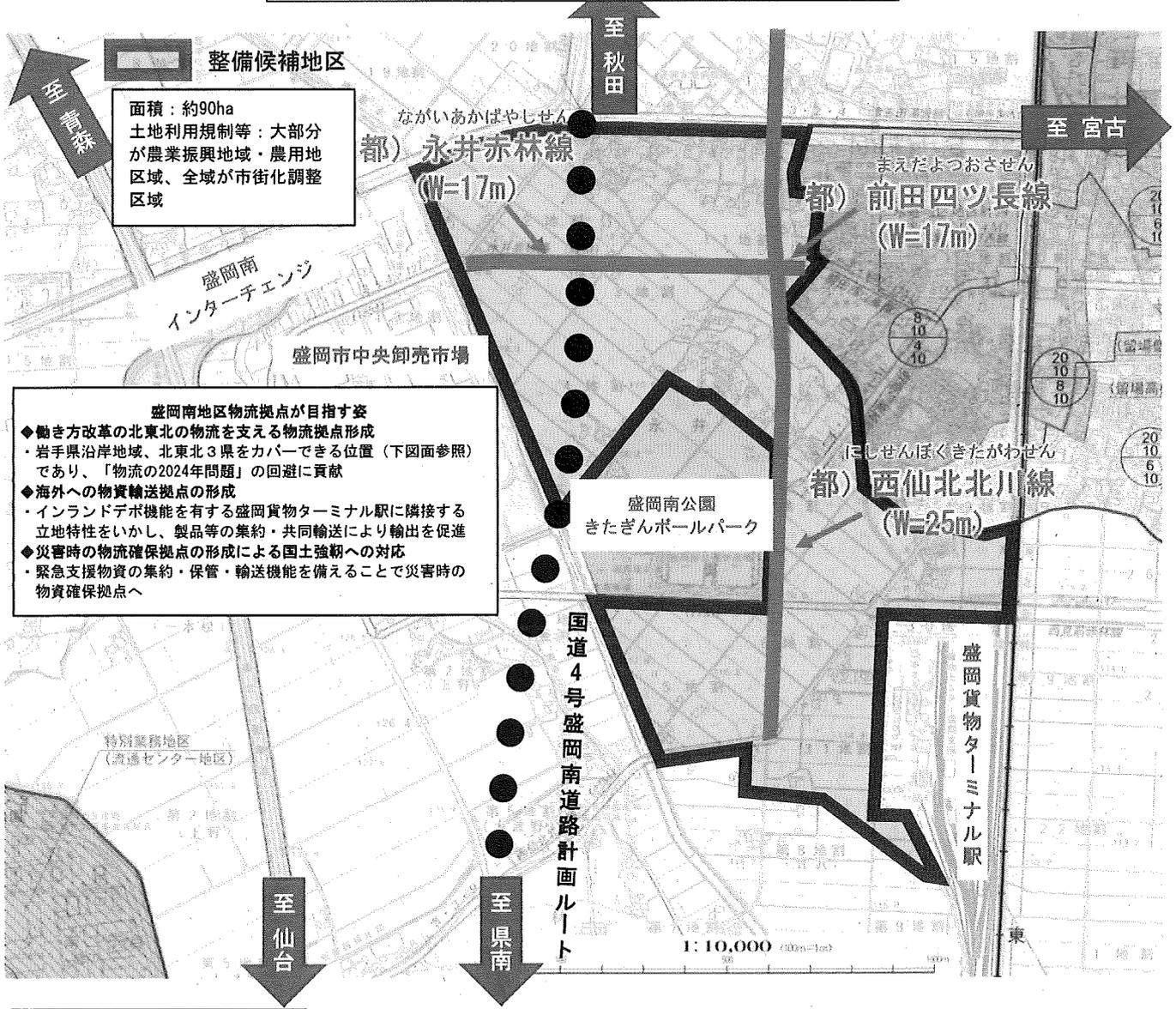
また、インランドデポ機能を有する盛岡貨物ターミナル駅に隣接している立地条件をいかし、宮古港など沿岸主要港湾と連携することにより、農産物をはじめ北東北で生産される各種製品の鉄道・船舶によるコンテナ輸送・輸出の拡大を図り、各種産業の活性化及び国際競争力強化、農林水産物・食品の輸出拡大、国際コンテナ戦略港湾政策の推進に寄与するとともに、脱炭素・モーダルシフトを推進する物流拠点を目指します。

加えて、有事の際に必要な緊急支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることにより、災害時の物資確保拠点の形成による国土強靱化への対応を図ることとしています。

これらの機能を有する新たな物流拠点を早急に整備するにあたり、開発スピードにおいて優位性のある民間の開発事業者による整備を進めることとしています。一方、整備地区内を縦断・横断する幹線道路である都市計画道路については、東北縦貫自動車道や一般国道 106 号宮古盛岡横断道路、盛岡貨物ターミナル駅などの交通インフラへのアクセス性を高め、整備地区全域が物流拠点としての機能を十分に有するために市において物流拠点に先行して整備することとしています。

上記のとおり「盛岡南地区物流拠点整備事業」は、本市及び岩手県の産業振興、雇用創出への寄与にとどまらず、「物流の 2024 年問題」の回避など、国の総合物流施策大綱の取組を推進させることを目指しており、地域社会の発展につながる公共性が高い事業でありますことから、当該事業用地として民間の開発事業者に土地等を譲渡した場合の所得の特別控除の適用に係る税制改正を要望いたします。

盛岡南地区物流拠点整備事業 要望図



整備候補地区

面積：約90ha
 土地利用規制等：大部分が農業振興地域・農用地区域、全域が市街化調整区域

盛岡南地区物流拠点が目指す姿

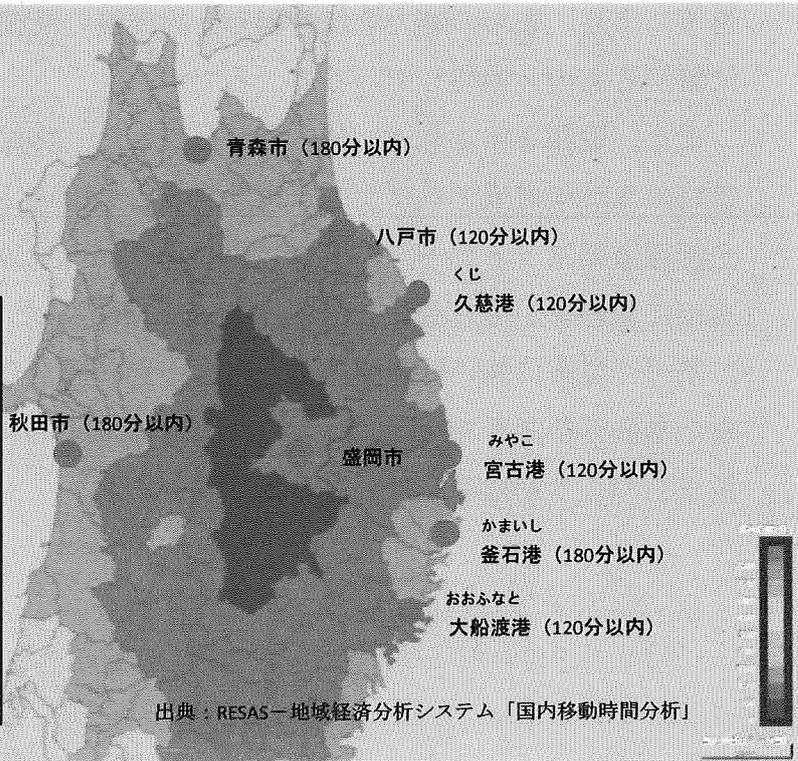
- ◆働き方改革の北東北の物流を支える物流拠点形成
 - ・岩手県沿岸地域、北東北3県をカバーできる位置（下図面参照）であり、「物流の2024年問題」の回避に貢献
- ◆海外への物資輸送拠点の形成
 - ・インランドデポ機能を有する盛岡貨物ターミナル駅に隣接する立地特性をいかし、製品等の集約・共同輸送により輸出を促進
- ◆災害時の物流確保拠点の形成による国土強靱への対応
 - ・緊急支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることで災害時の物資確保拠点へ

【盛岡市からの移動時間】

【移動時間】

	60分以内
	120分以内
	180分以内

- ◆時間距離的に岩手県沿岸地域、北東北3県をカバーできる位置にあり、北東北の物流拠点として「物流の2024年問題」の回避に貢献
- ◆隣接する「盛岡貨物ターミナル駅」は京浜港から600キロ圏にあり、貨物輸送による大量輸送により輸送コストと環境負荷の低減（モーダルシフト）を促進
- ◆「盛岡南地区物流拠点」「盛岡貨物ターミナル駅」「岩手県の重要港湾」との連携により、モーダルシフトのさらなる推進と海外販路拡大を促進



出典：RESAS—地域経済分析システム「国内移動時間分析」

社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について

盛岡市は、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」をまちづくりの将来像に掲げ、コンパクトな市街地の形成と都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化の推進、環境にやさしく快適な交通環境の構築等を目指しております。

目指す将来像の実現に向け、本市においては、時代の変化に合わせた手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備や、盛岡市総合交通計画等に基づき、利便性の高い公共交通機関のネットワークの整備に向けた道路事業等に取り組むとともに、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を活かせる交付金であり、本市においても、安全で快適な生活環境の確保等、社会経済活動の向上等に大きく貢献しております。また、ニューヨークタイムズ紙が発表した「2023年に行くべき52カ所」の2番目に選出され、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワーク構築による経済活動における生産性の向上や、まちなかウォークアブルの推進等により、まちの魅力を引き出し、観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しているところです。

また、令和3年4月27日に国が公表した「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」におきまして、「災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策」等7つの対策が示されたところですが、本市におきましても令和4年3月31日に策定した「盛岡市国土強靱化地域計画」に基づく災害に強い幹線道路ネットワークの構築や道路施設の防災対策等の強化、また令和5年3月31日に定めた「盛岡市立地適正化計画」の防災指針に基づく防災まちづくりを推進したいと考えております。

つきましては、社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度金事業により、滞りなく上記事業を推進するため、予算の配分について特段の御配慮をいただきますようお願いいたします。

<盛岡市の社会資本整備総合交付金による主な事業>

道路事業、街路事業、河川事業、住宅事業、都市公園事業、土地区画整理事業、市街地整備事業、住環境整備事業、下水道事業

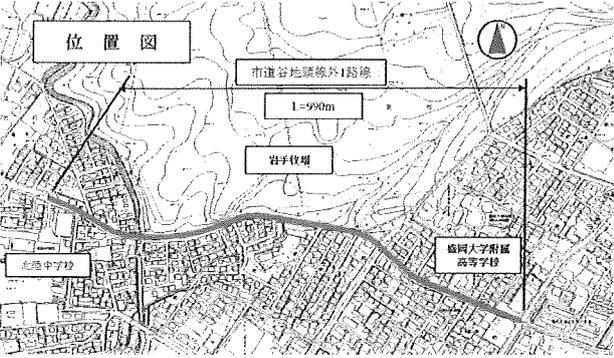
<盛岡市の個別補助事業による主な事業>

無電柱化推進計画事業、橋梁長寿命化修繕計画事業、大規模特定河川事業、都市構造再編集中支援事業

社会資本整備総合交付金事業（交通安全対策事業）及び個別補助制度事業（道路メンテナンス事業）要望図

（交付金・重点配分）交通安全対策事業

＜市道谷地頭線外1路線＞ やちがしらせん みのく盛岡広域連携ビジョン、盛岡市国土強靱化計画



盛岡大学附属高等学校付近

＜令和5年度現在 状況写真＞

岩手牧場樹木伐採後状況



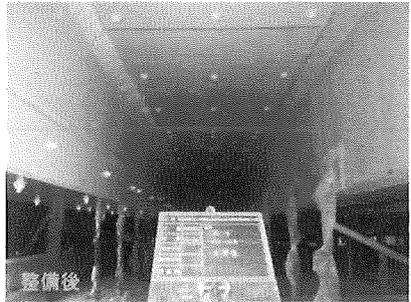
（補助）道路メンテナンス事業

＜市道東見前・手代森線都南中央橋外＞ ひがしみるまえ てしろもりせんとなんちゅうおうばし ～安全で安心な道路サービスの提供～



計画への位置づけ

- ◆橋梁長寿命化修繕計画
- ◆大型構造物長寿命化修繕計画



対象構造物

- ・橋梁 【581施設】
- ・トンネル 【2施設】
- ・大型カルバート 【7施設】
- ・横断歩道橋 【2施設】
- ・門型標識 【8施設】



整備内容

- 長寿命化修繕
舗装打替え、断面修復、橋面防水など
- 歩行環境の改善
融雪設備の設置(他事業と合併) など

一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の 2 車線供用区間の 4 車線化の整備促進について

一般国道 46 号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路機能を担うとともに、一般国道 106 号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ横軸連携を形成する重要な路線となっております。

「盛岡西バイパス」は、平成 25 年に主要地方道^{かみよないゆざわ}上米内湯沢線まで 7.8 km が開通しておりますが、本宮字^{もとみやあざいずみやしき}泉屋敷から上厨川字^{かみくりやがわあざまえがた}前潟の区間約 3.6 km が 2 車線となっており、国の御尽力により 4 車線化の整備を行っていただいております。平成 25 年の開通以降、交通量は増加しており、現在、一日当たり 3 万 3 千台を超えるなど確実に幹線道路としての機能が発揮されております。こうした中、国からは、令和 7 年度に 4 車線化が開通する見通しと公表がされています。

一方、盛岡西バイパス沿線では、^{せいなん}盛南開発などの都市開発と盛岡西バイパス整備との相乗効果により、大規模商業施設の立地が相次ぎ、沿線の人口も大きく伸びているなど市街地の形成が急速に進んでいます。

また、令和 3 年 3 月に復興支援道路である宮古盛岡横断道路が全線開通したほか、令和 5 年 4 月にはプロ野球 1 軍公式戦が開催可能な 2 万人規模の野球場が供用開始され、加えて、新たなものづくりの拠点となる新産業等用地整備の進捗や、盛岡南地区物流拠点整備を予定していることなどから、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

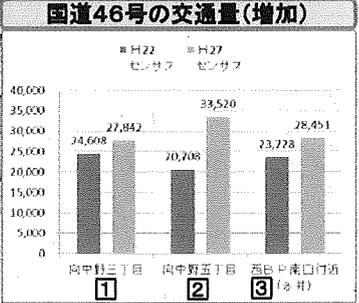
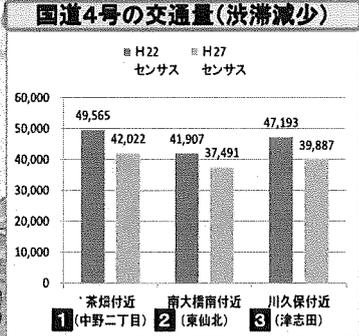
そのような状況の中、令和 3 年 4 月に公表された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の 5 か年対策プログラム（東北ブロック版）」に位置付けていただいたことは、今後更に事業進捗が図られるものと期待しております。

つきましては、北東北の東西連携の強化をはじめ、物流の強化や渋滞緩和、都市機能の集積強化を図るため、一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の 2 車線供用区間について、4 車線化の整備を促進していただきますよう強く要望いたします。

一般国道46号「盛岡西バイパス」の4車線化整備促進要望図

盛岡西バイパス4車線化ストック効果

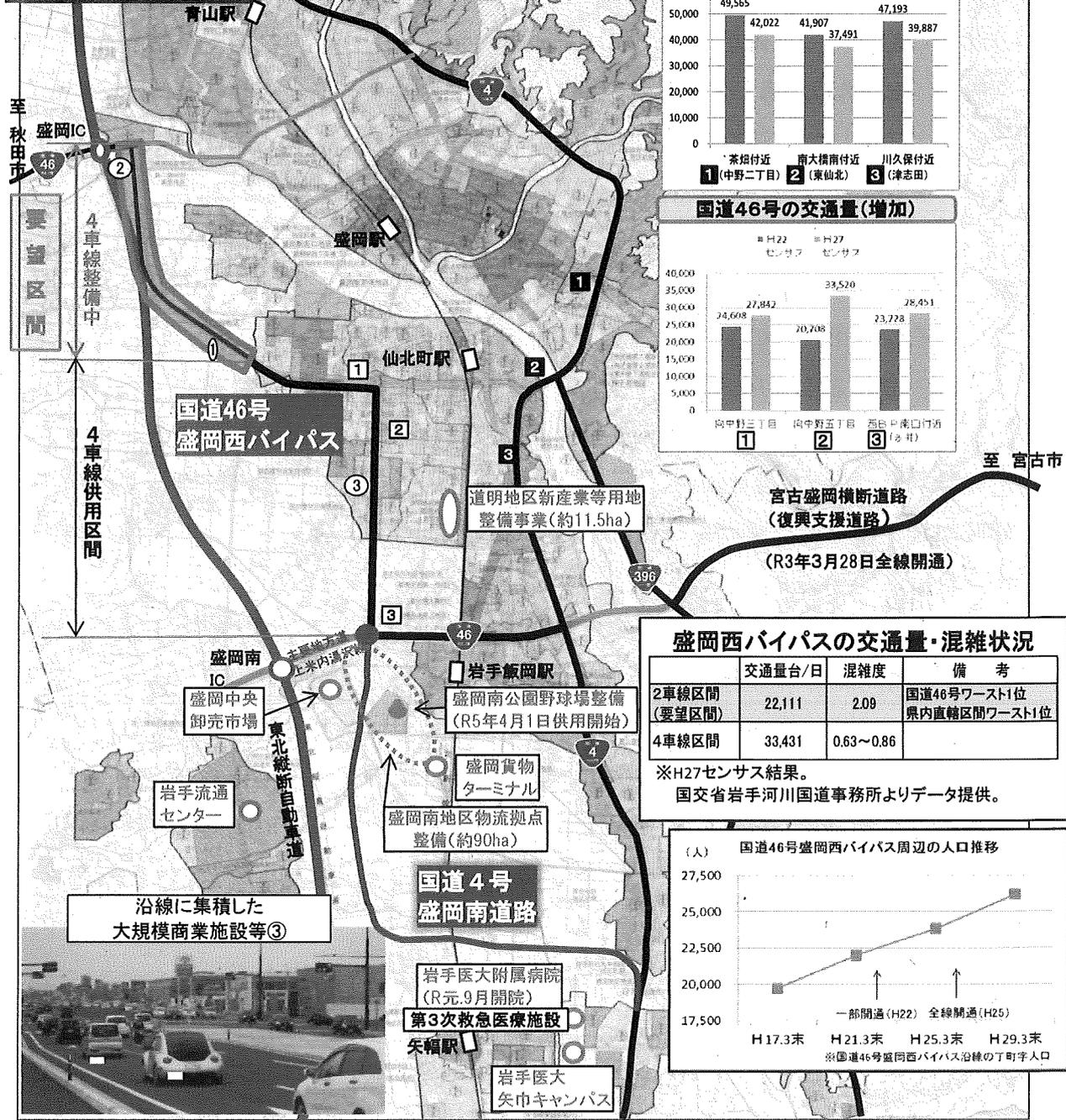
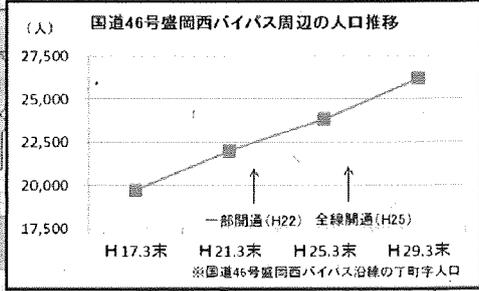
- 【秋田～盛岡～宮古横軸連携強化】
- 【盛岡広域北部地域と流通センターとの物流強化】
- 【盛岡市街地アクセスの渋滞緩和】
- 【都市機能の集積強化】



盛岡西バイパスの交通量・混雑状況

区間	交通量台/日	混雑度	備考
2車線区間 (要望区間)	22,111	2.09	国道46号ワースト1位 県内直轄区間ワースト1位
4車線区間	33,431	0.63~0.86	

※H27センサス結果。
国交省岩手河川国道事務所よりデータ提供。



一般国道4号「盛岡南道路」整備事業の推進について

一般国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している大動脈であり、盛岡広域都市圏における円滑な交通の確保と都市の発展に大きな役割を担う重要な路線となっており、令和4年度に一般国道4号「盛岡南道路」が新規事業化されましたことは、地域の振興と発展に向けた大きな前進であり、大変喜ばしく深く感謝申し上げます。

盛岡市は盛岡広域圏における生活・経済の中心であり、盛岡南地区においては、盛南開発により人口が増加し、「盛岡西バイパス」沿線等へ商業施設が集積しており、市街化が急速に進展しております。さらに、本市と一体の生活圏が形成されている矢巾町^{やはばちょう}や紫波町^{しわちょう}間で通勤通学などの流動量が多く、交通需要が大きくなっている状況です。

このため、国道4号においては、国道46号以南の交通量が増加し、著しい渋滞が発生している状況にあります。

こうした中、当地区には、岩手流通センター、盛岡貨物ターミナル及び盛岡中央卸売市場等が立地し、物流拠点が形成されており、国道4号の渋滞が物流の大きな支障になっております。

また、令和元年9月には、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院が矢巾町で開院しましたが、病院を中心とした道路ネットワークが十分に形成されていないことから、アクセス性の向上が重要な課題となっております。さらに、道明^{どうみょう}地区においては新産業等用地の開発が進捗していることや、盛岡南公園にプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場が令和5年4月に供用開始されたほか、盛岡南地区物流拠点整備の計画を検討していることなどから、更なる交通需要の増加が見込まれるため、主要幹線道路の必要性が高まっている状況です。

つきましては、本市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の整備推進について強く要望いたします。

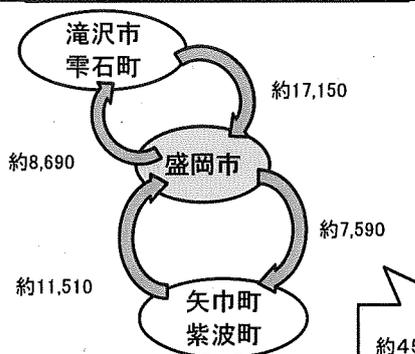
滝沢市

一般国道4号「盛岡南道路」の整備事業推進要望図

盛岡南道路のストック効果

- 【国道4号の混雑緩和が図られる】
- 【物流の効率化が図られる】
- 【命を守る医療体系の構築】
- 【持続可能な経済・産業圏域の形成】

盛岡広域圏 通勤通学流動



通勤通学で
約45,000人/日の流動

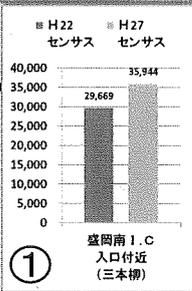
資料：H27国勢調査 単位：人/日

【写真①】国道4号の渋滞状況
・盛岡南IC入口交差点南側

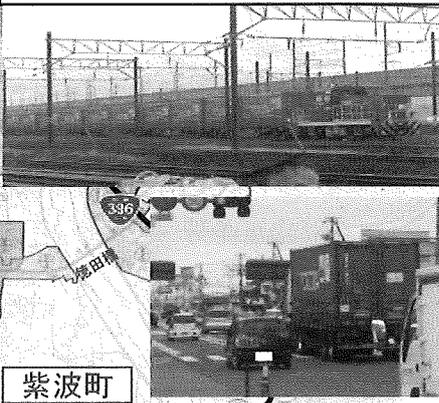


国道4号盛岡南道路 要望箇所

国道4号の交通量



【写真②】
物流拠点を結ぶ円滑なネットワークの確保
・盛岡貨物ターミナル駅から県南の金ヶ崎町にある工場へ、組み立て部品などをコンテナ貨物トラックで輸送するために、規格の高い道路が必要。



▼岩手日報 令和元年12月22日(日)

「命のとりで」増す安心

岩手医科大学 矢野 移転3ヵ月
最新機器充実さらに

交通環境の
向上不可欠

道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るためには、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。

滝沢市^{たきざわし}、矢巾町^{やはちちょう}との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、令和3年4月27日に国が公表した「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」におきまして、「災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策」等7つの対策が示されたところですが、本市におきましても令和4年3月31日に「盛岡市国土強靱化地域計画」を策定し、これを踏まえた災害に強い幹線ネットワークの構築等が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について要望いたします。

1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路線名	要望地区	工種
継続	<small>つしだしらさわ</small> 津志田白沢線外 1 路線 (連携中枢都市圏路線)	<small>ながい</small> 永井地区外	道路改築
〃	<small>やちがしら</small> 谷地頭線外 1 路線 (連携中枢都市圏路線)	<small>くりやがわ</small> 厨川地区	交通安全
〃	<small>いわてこうえんかいうんばし</small> 岩手公園開運橋線	<small>さいえん</small> 菜園地区	無電柱化
〃	<small>みなみおどおりにちようめみなみおほし</small> 南大通二丁目南大橋線外	<small>なたやちよう</small> 鉾屋町地区	〃
〃	<small>ほんちようどおりいっちようめなのりざわ</small> 本町通一丁目名乗沢 2 号線 <small>やまぎしにちようめ</small> (山岸二丁目)	<small>やまぎし</small> 山岸地区	交通安全

道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図

N

滝沢市

滝沢市との広域連携強化
(連携中枢都市圏ビジョン)

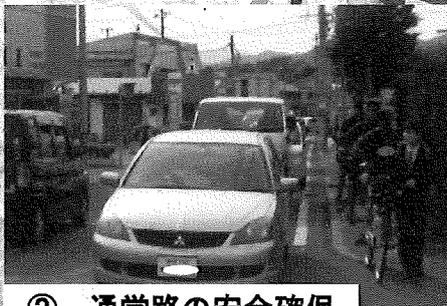
盛岡大附

北厨川小

北陵中

厨川駅

③ 無電柱化や融雪による歩行空間の向上



② 通学路の安全確保



④ 無電柱化や融雪による歩行空間
快適性の向上と景観の保全



⑤ 通学路の安全確保

道路整備事業の効果

現状

- ◆ 交通量の多い通学路等において歩行者が危険にさらされている。
- ◆ 車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆ 電柱が歩行空間を狭め歴史的な景観を阻害。冬季は積雪凍結により歩行困難な状況。
- ◆ 車両だけではなく歩行者においても、地域間の往來の改善が求められている。

道路整備による効果

- ◆ 交通環境の改善により歩行者、車両の安全確保。
- ◆ 電線地中化や融雪による歩行者空間の快適性向上と景観の保全。
- ◆ 道路新設や自由通路整備による地域間交流と活性化期待。

番号	路線名等
①	津志田白沢線
②	谷地頭線
③	岩手公園開運橋線
④	南大通二丁目南大橋線外
⑤	本町通一丁目名乗沢2号線Ⅱ工区

主要地方道盛岡和賀線

盛岡南 I.C

駅東西交流
地域活性化
国道46号

岩手飯岡駅

国道4号
盛岡南道路

矢巾町

矢巾町との広域連携強化
(連携中枢都市圏ビジョン)

一般国道4号渋民バイパスへの道の駅「もりおか渋民」の整備について

一般国道4号^{しぶたみ}渋民バイパスへの道の駅整備につきましては、本市初の道の駅の整備に向け、地域住民・関係団体の協力のもと、懇談会やワークショップの開催、利用者ニーズ調査などを実施するとともに、平成31年3月に基本計画を策定、令和2年度に基本設計を、令和3年度には実施設計を行い、令和4年10月には整備工事に着手したところであります。工事開始に至るまでの技術的見地からの御助言や御指導を頂くとともに、予算確保に対する御配慮に対し、改めて感謝申し上げます。

道の駅「もりおか渋民」は、^{ひめかみさん いわてさん}姫神山や岩手山の優美な眺望をいかしながら、^{いしかわ}石川^{たくぼく}啄木記念館などとの連携により、^{たくぼく}啄木が愛した原風景を感じていただける場を目指しております。また、一日当たり11,000台を超える渋民バイパス利用車両に対する休憩や道路情報の提供機能に加え、災害時における一時避難場所や物資等の支援拠点などの防災機能を具備することで、道路利用者等の交通安全の確保や利便性の向上、地域の防災拠点の役割を担おうとするものであります。更には、地域振興の拠点として、地域情報の発信や付加価値のある農畜産物の販売、地域の魅力をいかした食の提供などを通じて地域に活気を呼び込むほか、市民が集い、様々な人々が活躍でき、将来を担う人材を育成する場をつくらうとするものであります。

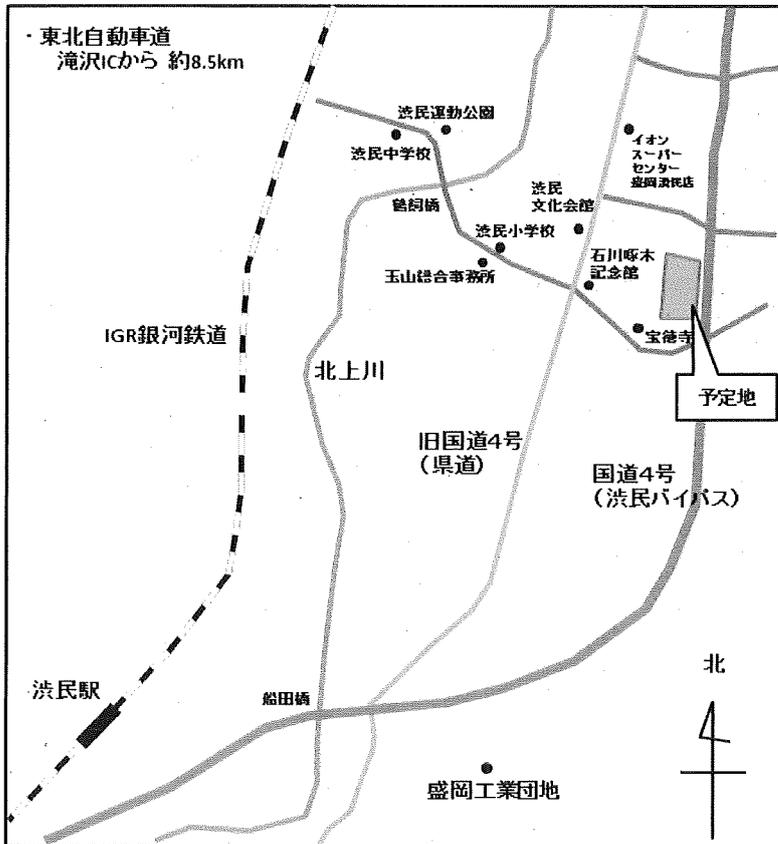
つきましては、令和6年度内の開業に向けて、工事が本格化しているところですが、昨今の物価高騰等の状況に対応しながら着実に整備を推進する必要がありますことから、引き続き、魅力ある道の駅とするための御助言や御支援、事業費の確保等について、特段の御理解と御配慮を頂きますよう要望いたします。

盛岡市道の駅設置事業概要

道の駅もりおか渋民

コンセプト『道の駅は、私たちの未来を創る希望のステージ』

～ 石川啄木が愛した盛岡・玉山を感じられる道の駅～



交通安全
確保

地域振興

人材育成

地域のPR

元気な
地域づくり

防災力
向上

想定スケジュール

令和4年度
(2022)

- ・整備工事
- ・駅名決定

令和5年度
(2023)

- ・整備工事
- ・指定管理手続等

令和6年度
(2024)

- ・整備工事
- ・開業

<イメージパース>



地域の力や民間のノウハウを活かし、地域の魅力あふれる道の駅を整備します

都市局所管盛岡市内街路事業の推進について

盛岡市は都市機能を支える基盤として、現都心地区と盛岡南新都心地区を結ぶ連続した都心の形成及び中心市街地を囲む環状道路と郊外を結ぶ放射道路を計画し、北東北の交流拠点都市としての、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めております。

しかしながら、現都心地区では狭隘道路や用地取得難といった城下町の特徴から道路の整備率が低く、また、盛岡南新都心地区では街の成長や隣接市町市街地の拡大等による交通需要に道路整備が追いついていないことから、随所で恒常的な交通渋滞が発生するなど、都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されているため、街路の整備が急務となっております。

本市では、これらへの方策として「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため、交通政策と一体となった街路事業を進めており、その一環として愛宕町三ツ割線及び盛岡駅本宮線の整備に取り組んでいるところであります。

愛宕町三ツ割線は、沿線に小学校や高校等が立地し、その通学路となっているものの、歩道が未整備であることから、整備の進捗を図り、歩行者の安全と円滑な交通を確保する必要があります。

盛岡駅本宮線（杜の大橋）は、現都心地区や盛岡駅西口地区と盛岡南新都心地区を結ぶ重要な幹線道路であります。平成 18 年度に 2 車線での暫定供用を開始しておりますが、交通量が多く渋滞が発生しており、今後においても盛岡南新都心地区での住宅や商業施設等の立地が進み交通量の増加が見込まれることから、早期に杜の大橋を 4 車線化にする必要があります。

つきましては、都市局所管盛岡市内街路事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

事業主体	区分	路線名	要望地区	工種
盛岡市	継続	愛宕町三ツ割線	山岸四丁目外	道路改築
岩手県	継続	盛岡駅本宮線	杜の大橋	橋梁 4 車線化

都市局所管街路事業に係る要望箇所図

道路整備事業の効果

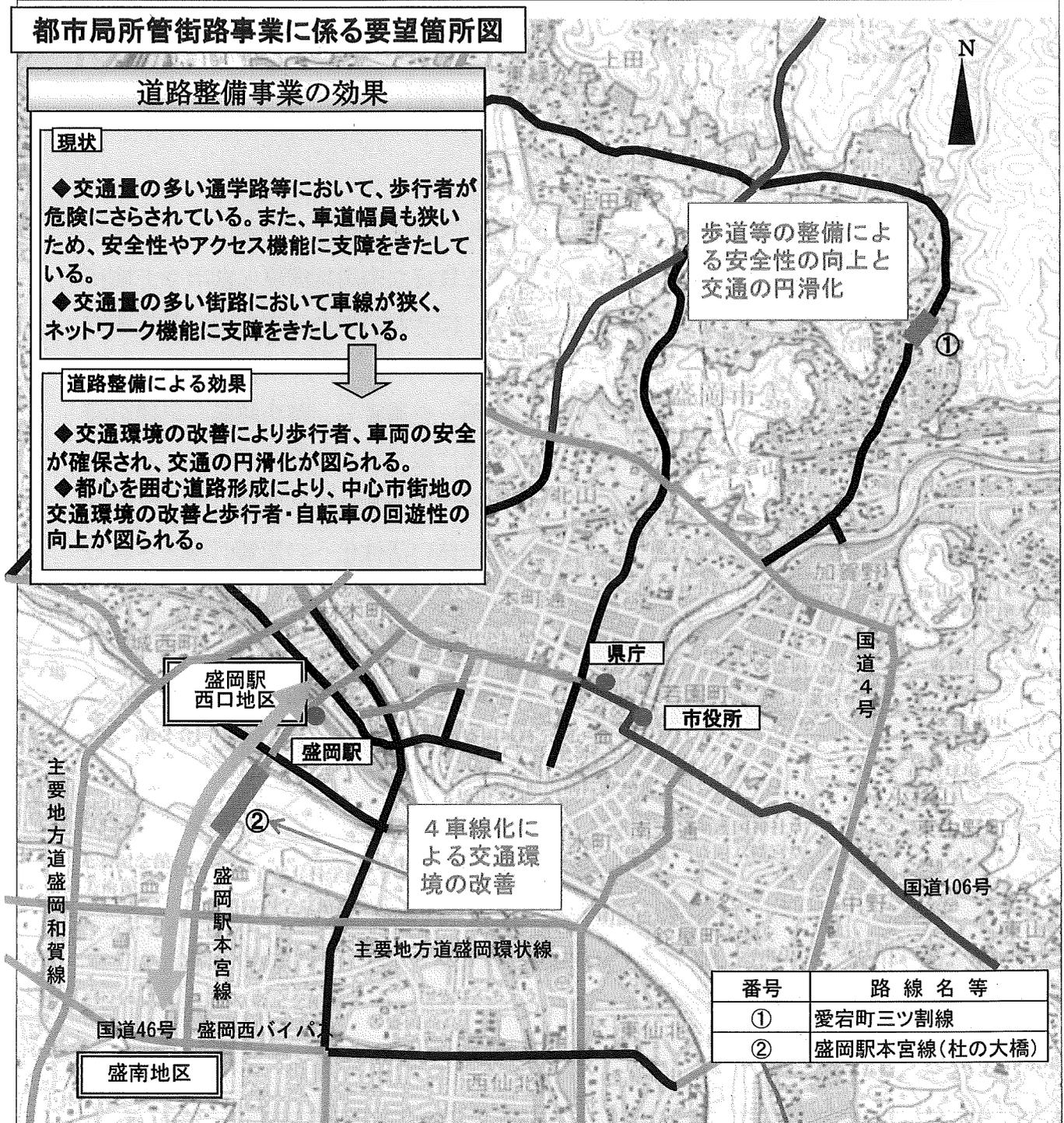
現状

- ◆交通量の多い通学路等において、歩行者が危険にさらされている。また、車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能に支障をきたしている。
- ◆交通量の多い街路において車線が狭く、ネットワーク機能に支障をきたしている。

道路整備による効果

- ◆交通環境の改善により歩行者、車両の安全が確保され、交通の円滑化が図られる。
- ◆都心を囲む道路形成により、中心市街地の交通環境の改善と歩行者・自転車の回遊性の向上が図られる。

歩道等の整備による安全性の向上と交通の円滑化



番号	路線名等
①	愛宕町三ツ割線
②	盛岡駅本宮線(杜の大橋)

① 歩道整備による安全性向上と交通円滑化



② 車線数の確保による交通環境の改善



市街地再開発事業の推進について

盛岡市では、総合計画において「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、中心市街地における良好な市街地環境の創出や土地利用の適正化を図るため、再開発事業を推進し、にぎわいのあるまちづくりを進めているところであります。

また、令和元年度に「盛岡市立地適正化計画」を策定し、都市機能の集積を図り、コンパクト・プラス・ネットワークの形成に取り組んでおります。

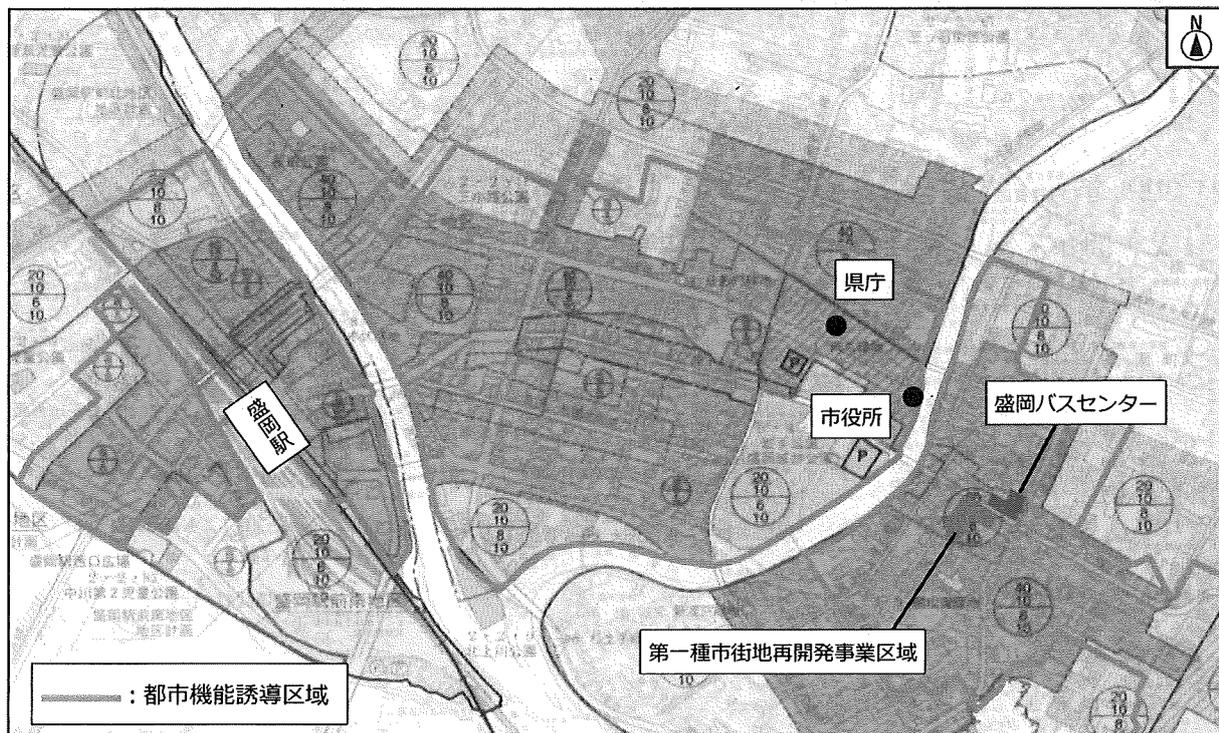
しかしながら、本市の中心市街地に立地する大型商業施設が閉店したことから、地域のにぎわいの低下はもとより中心市街地全体の活性化への影響が懸念される状況となっております。

こうした中、地域のにぎわい創出による中心市街地の活性化、都市の安全性及び防災機能の向上を図るため、組合施行の中ノ橋^{なかの はしどおり}一丁目地区第一種市街地再開発事業に国からの交付金支援のもと令和3年度から着手しており、予算確保に御配慮いただいておりますことに感謝申し上げます。

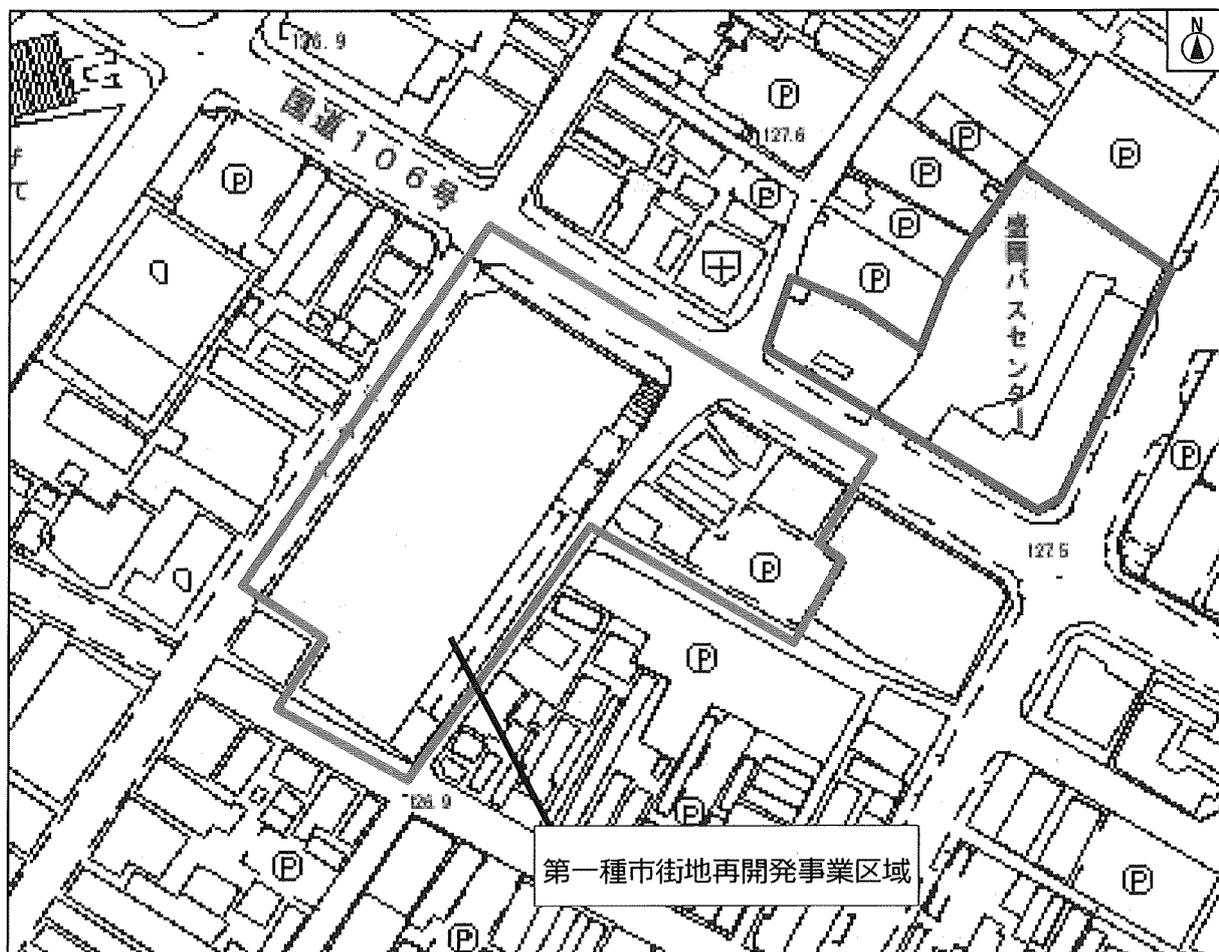
本市としても、当該市街地再開発事業を本市の都市政策上重要な事業と位置付けるとともに、近接地において公民連携で事業を進め、令和4年10月4日に開業した盛岡バスセンターとも連携を図ることとして、事業を進めているところです。

つきましては、本市における当該市街地再開発事業を着実に推進するため、国におかれても、事業への御理解と御支援をいただきたく、引き続き予算の確保に特段の御配慮を賜りますよう要望いたします。

市街地再開発事業の推進について 位置図



市街地再開発事業の推進について 区域図



盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について

盛岡市内の直轄管理河川（北上川、中津川及び雫石川）は、着実に整備が進められるとともに、平成19年9月の洪水や平成25年8月及び9月の台風等の際にも迅速な対応により市街地へのはん濫を防いでいただき深く感謝しております。また、令和4年度に「かわまち大賞」を受賞している北上川及び中津川のかわまちづくり事業においては階段整備などの観光資源へのアクセス整備や案内板の設置等による水辺空間の利便性の向上が図られ、市街地に配慮した快適でうるおいのある河川環境の創出など、連携した取り組みを推進していただき重ねて感謝いたします。

しかしながら、北上川、中津川及び雫石川の3河川は、一部未改修の状態にあるため、降雨期の増水による河岸決壊や無堤箇所への浸水が懸念されるほか、近年、全国各地で記録的な豪雨による災害が発生するなど、流域市民に大きな不安を与えております。

国におかれましては、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策をより一層推進され、堤防等の基本的な治水対策施設の整備を計画的に推進されますとともに、地方公共団体が実施する流域対策については、交付金事業等による新規支援制度や制度拡充など柔軟な対応が図られますよう強く要望いたします。

また、令和6年度治水事業費の大幅な増額や所要額を確保し、北上川上流河川改修事業の更なる促進が図られるよう、特段の御配慮をお願いいたします。

盛岡市においては北上川水系流域治水プロジェクト（令和3年3月公表、令和4年3月更新）において、氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（洪水氾濫対策）として河川事業の護岸整備等7事業などのほか、盛岡市立地適正計画の「防災指針」の策定（令和5年3月）など、「流域治水」への取り組みを実施しておりますが、特に直轄管理河川の以下の地区について要望いたします。

「夕顔瀬地区」

- ・・・局部的に流下能力が不足しており、未改修箇所の早期着手を要望いたします。

「津志田・盛岡右岸地区」、^{つしだ}「津志田・^{みなみかわ}南川合流点地区」、^{おとべ}「乙部地区」

・・・過去の洪水により浸水被害が生じており、未改修箇所^の早期着手を要望いたします。

更に、北上川及び中津川は、ギネス記録を持つ北上川ゴムボート川下りや新たな賑わい創出として取り組んでいる舟運^{しゅううん}などのイベントの場や水辺空間をレクリエーションの場として、市民に親しまれております。

つきましては、河川空間の更なる利活用の促進に向けた支援、流域治水を实践するうえで不可欠な堤防等河川管理施設の機能を維持・管理や河道内の樹木伐採や堆積土砂撤去などを実施するために必要な予算を安定的に確保されるよう要望いたします。

直轄管理河川北上川水系治水事業要望箇所

北上川 夕顔瀬地区 改修要望



かわまちづくり整備効果
河川空間の利活用(舟運)



【整備効果】

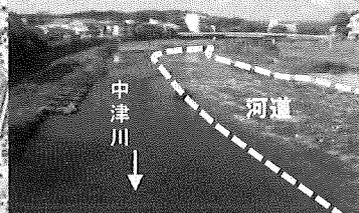
河川改修事業の整備促進や堤防未改修区間の解消により、治水安全度が高まり、市民の安全安心な生活の確保に寄与する。

適切な河川管理の推進要望

河川管理整備効果

中津川河道整正

中津川 河道整正後



かわまちづくり整備効果
河川空間の利活用(アクティビティイベント)

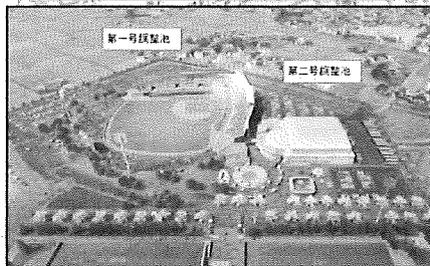


北上川 津志田・盛岡右岸地区 改修要望

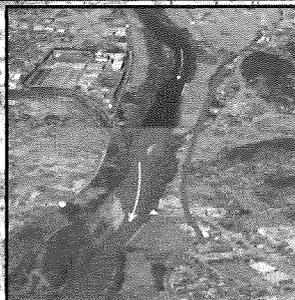


北上川 津志田・南川合流点地区 改修要望

盛岡市の流域治水の取り組み事例 (防災調整池)



北上川 乙部地区 改修要望



凡 例

- 要望箇所
- R3まで実施済

北上川上流ダム再生事業の促進について

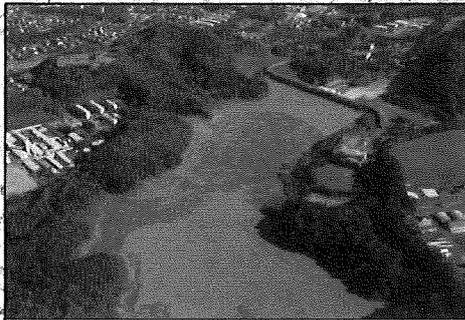
盛岡市を守る治水の要である四十四田ダムと御所ダムにつきましては、平成25年8月の大雨及び同年9月の台風による洪水でダムの計画高水流量を上回る既往最大流量を記録し、御所ダムでは洪水調節容量のほぼ満杯まで貯留するぎりぎりの状況でしたが、四十四田ダムと御所ダムの連携操作により、盛岡市街地への氾濫を防いでいただき、深く感謝しております。

近年、気候変動に伴う降雨の影響で全国各地で水災害が頻発化・激甚化しており、岩手県でも平成28年8月の台風10号により岩泉町に甚大な被害をもたらされ、市民の防災に対する関心が高まるとともに大きな不安を与えています。また、四十四田ダムと御所ダムの能力を上回る洪水が発生した場合、本市中心部を含む市街地に甚大な浸水被害を受けることが想定され、その影響は、計り知れないものとなることから、両ダムのさらなる機能増強が望まれているところです。

令和2年度からは、気候変動により頻発化・激甚化する水災害に対応するため、流域の関係者が協働して治水対策に取り組む「流域治水」が始動し、なかでも国土交通省による既設ダムの機能向上を図る「ダム再生」の取り組みは、市民等からも高い関心と期待が寄せられているところです。

つきましては、「四十四田ダムのかさ上げ」など治水機能の増強で、県都盛岡市のより安全で安心な暮らしを支える「北上川上流ダム再生事業」の早期完成に向けて、今後も計画的に事業が推進されるよう要望いたします。

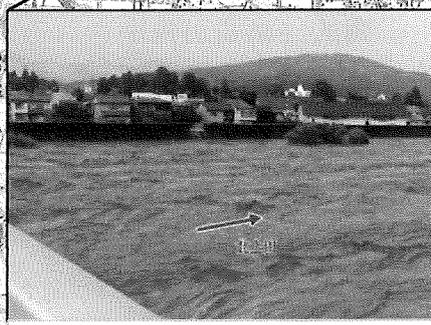
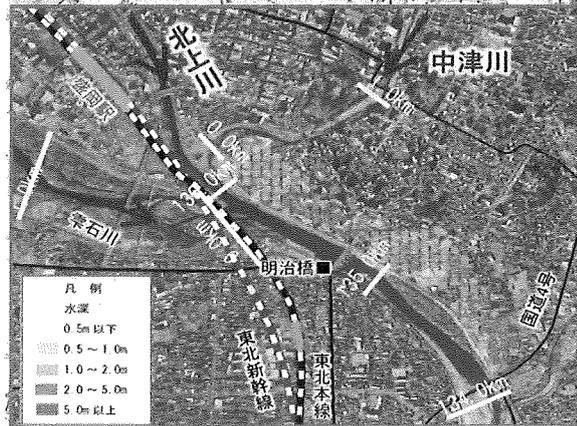
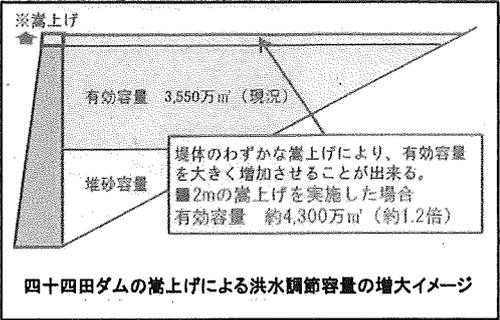
北上川上流ダム再生事業



H25年9月 四十四田ダムの流木捕捉



H25年8月 御所ダムによる防災操作



H25年8月洪水 明治橋

【要望効果】
 河川整備計画の目標洪水が発生した場合、盛岡市の中心部を含む上流域において浸水世帯数約1,200世帯、浸水面積約100haの被害が想定されるが、浸水被害を防ぎ、市民の安全・安心な生活の確保が図られる。

凡 例	
●	河川整備計画の目標洪水(狐禅寺上流: S22.9洪水実績規模、明治橋上流S22.9洪水型 流域平均2日雨量186mm)が発生した場合の浸水被害シミュレーション ※ 国土交通省事業評価小委員会(平成30年8月8日)資料より

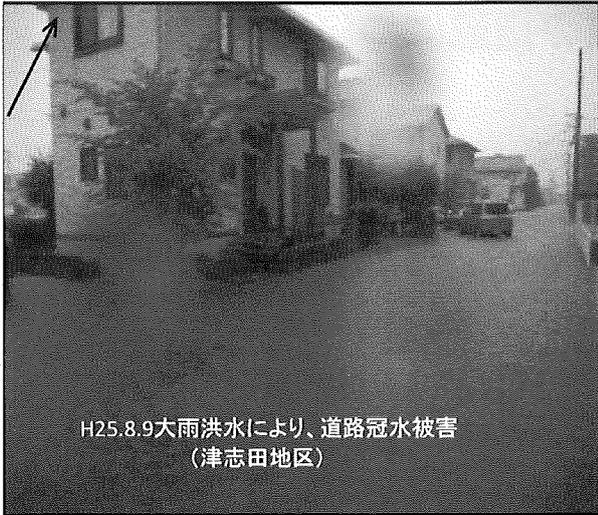
大規模特定河川事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川^{きたかみがわすいけいみなみかわ}北上川水系南川は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

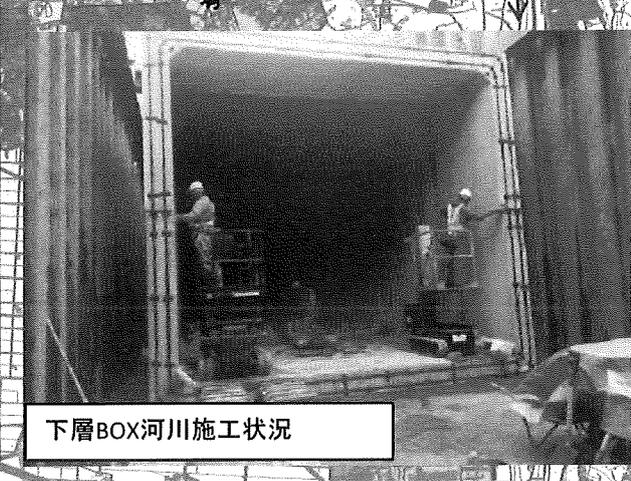
本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、^{どうみょう}道明地区土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、新産業等用地整備事業(^{どうみょう}道明地区)においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取り組むことが必要不可欠であります。

つきましては、大規模特定河川事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

大規模特定河川事業



大規模特定河川 南川（津志田～飯岡新田）



【要望効果】
河川改修により、市民の安全安心な生活の確保と快適でうるおいのある環境の創出が図られる。

盛岡市土地区画整理事業の推進について

盛岡市では、^{おおた}太田地区、^{どうみょう}道明地区及び^{となんちゅうおうだいさん}都南中央第三地区において土地区画整理事業を実施するとともに、事業区域縮小により土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域では、道路整備を中心に事業を実施することで、地区の恵まれた環境を生かしつつ機能的で魅力があり、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めております。

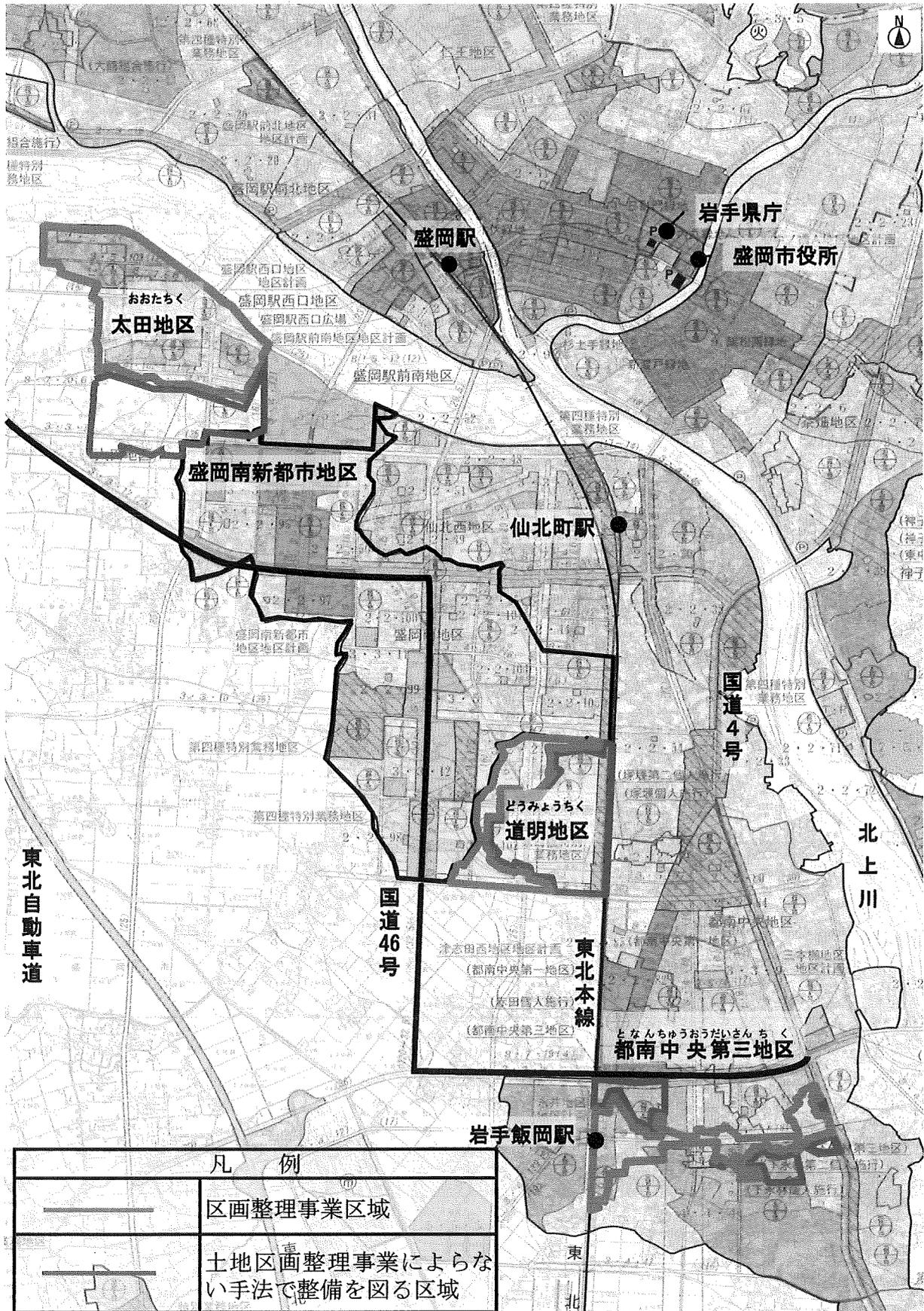
本市は、令和元年度に立地適正化計画を策定し、社会資本整備総合交付金事業の道路事業により、地域住民の日常生活の安全性や利便性の向上、行政サービスの効率化による行政コストの削減等、事業効果の早期発現を目指し取り組んでおります。また、都南中央第三地区では令和2年度から都市構造再編集中支援事業の導入により、5年度におきましても事業進捗が図られているところであります。

しかしながら、地元の早期事業完了要望に応え、また、土地区画整理事業と合わせた地区全体の早期効果発現を行うためにも、財源を確保して一層の事業推進を図る必要がありますことから、盛岡市土地区画整理事業の着実な推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、予算の優先的な確保に御配慮いただきたく要望いたします。

(R5年度末)

地区名	^{おおた} 太田	^{どうみょう} 道明	^{となんちゅうおうだいさん} 都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2 区画整理外 41.2 計 118.4	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～R7(清算R12)	H15～R5(清算R10)	H12～R6(清算R11)
総事業費 (百万円)	区画整理 33,468 区画整理外 803 計 34,271	区画整理 6,671 区画整理外 3,161 計 9,832	区画整理 9,305 区画整理外 668 計 9,973
今後の見通し	～R7まで (3年)	～R5まで (1年)	～R6まで (2年)
残事業費 (百万円)	区画整理 1,275 区画整理外 75 計 1,350	区画整理 175 区画整理外 54 計 229	区画整理 121 区画整理外 0 計 121
※ 上表の「区画整理外」は「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」 都南中央第三地区都市構造再編集中事業の基幹事業は土地区画整理事業、道路及び公園整備事業（太田地区はR6、道明地区はR5の宅地概成を目標としている。）			

盛岡市 土地区画整理等事業 位置図



盛岡市公共下水道事業の推進について

盛岡市では、人口密集地域を生活環境整備事業として位置づけ、生活環境の改善のため汚水処理の未普及対策事業を推進しております。平成 26 年 1 月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの 3 省通知を踏まえ、平成 27 年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、平成 28 年度には「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を策定し、公共下水道による整備区域の事業を推進しているところでありますが、公共下水道整備には時間を有する見込みとなっており、早期の生活改善と効果的・効率的な整備促進を図るため、令和 4 年度に下水道計画区域を見直しております。

浸水対策事業は、災害の発生防止や甚大な災害の未然防止の観点から幹線整備及び面整備を進めておりますが、温暖化に伴う世界的な気候変動などの影響により、これまで浸水被害がなかった箇所にも浸水被害が発生するなど、早急な整備の拡大が求められております。

また、下水道施設は、河川氾濫等の災害時においても一定の下水道機能を確保し、下水道施設被害による社会的影響を最小限に抑制するための措置を早急かつ効率的に進めるべきとされており、これら下水道施設の耐水化に係る対策が求められております。

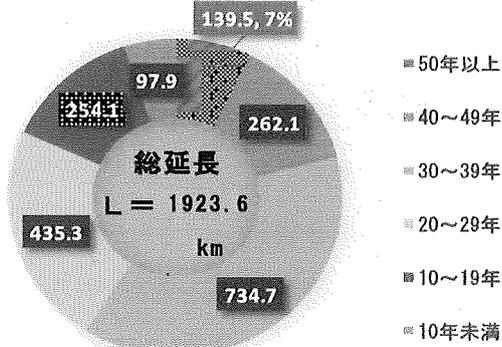
更に、昭和 28 年度から公共下水道事業に着手している本市では、年々耐用年数を超過している下水道施設の割合が増加しており、耐震化も含めた改築更新の必要性が高まっている状況にあり、今後適切な施設の更新が実施できない場合には、下水道管路の破損に伴う道路陥没や下水処理の機能停止等により住民生活に重大な影響が及ぶ恐れがあります。

これらの事業を推進するためには多額の費用が必要となることから、今後は本市としても下水道使用料の適切な見直しを含め、更なる効率的な事業運営を行うこととしておりますが、使用料の値上げや効率的な事業運営だけでは、必要な事業が実施できずに住民生活に重大な影響が及ぶ恐れがあります。

公共下水道は汚水処理や浸水対策を行う、都市の健全な発展に不可欠な社会基盤であることから、公共下水道事業は継続して推進させる必要がありますが、地方財政は一段と厳しい状況でありますことから、下水道の公共的役割の観点から下水道事業への継続的な事業費支援について要望いたします。

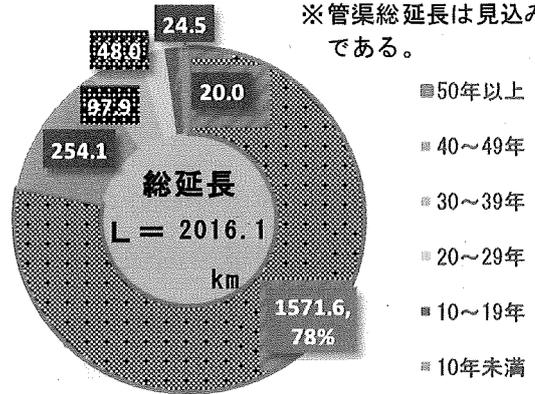
盛岡市の下水道事業について

R4年度末経過年数別延長 (km)



R34年度末経過年数別延長 (km)

※管渠総延長は見込み値である。



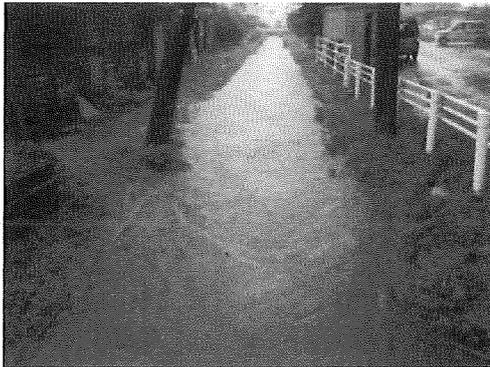
市街地での浸水対策が至急の課題となっております。ハード整備とソフト対策を連動した事業の推進を図る必要があります。

50年経過管路が、年々増え続けています。ストックマネジメント事業の推進が緊急課題となっております。

中心市街地の合流地区



平成25年8月 大雨状況



このほか、盛岡市では、未普及対策事業の推進や地震対策事業の推進に努めてまいります。

かもすげせき 鴨助堰排水区

きたかみがわ 北上川右岸第三排水区

循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について

盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

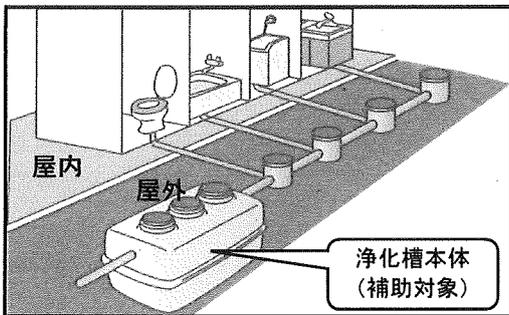
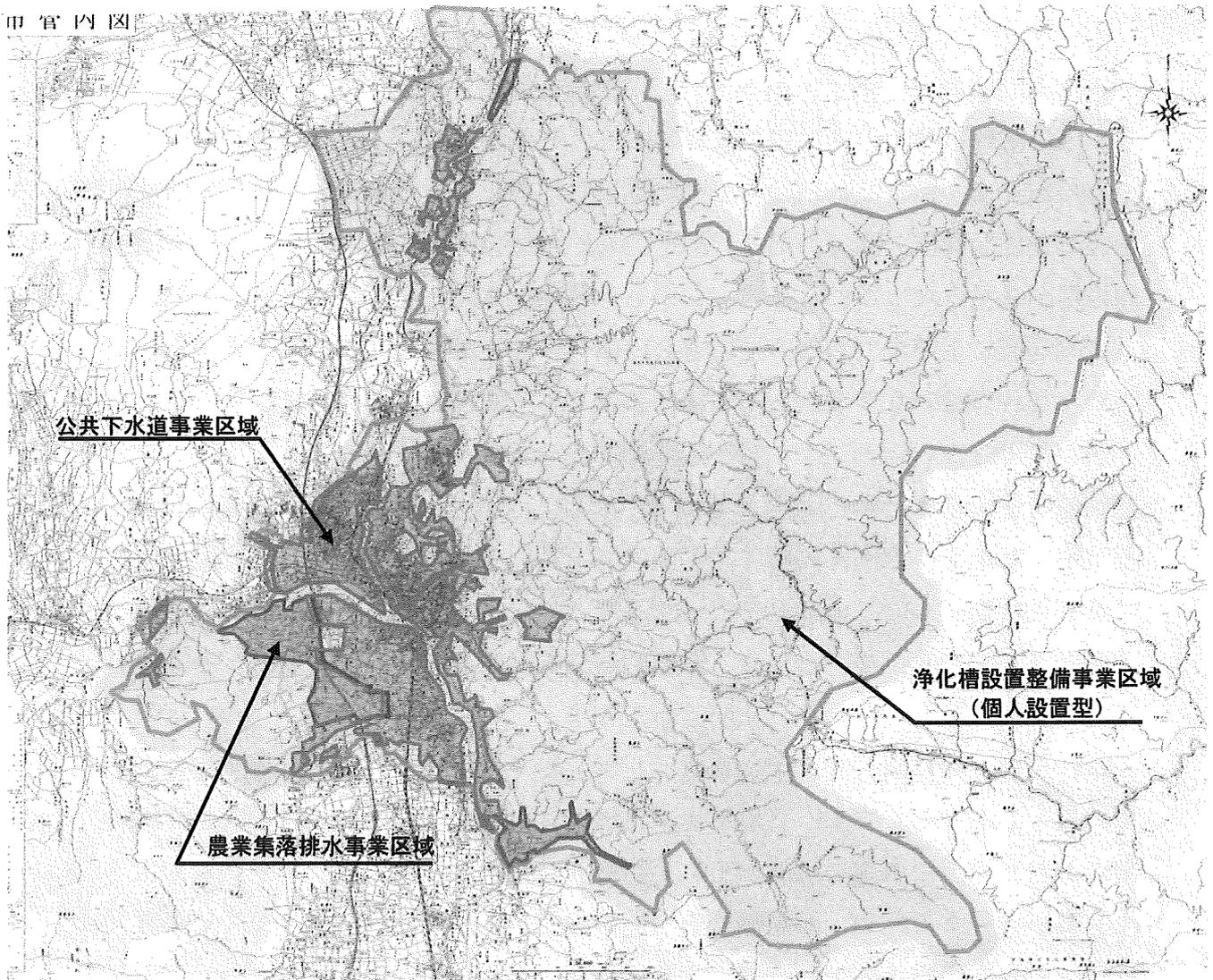
平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、令和7年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。しかし、公共下水道整備には現計画において時間を要する見込みとなっており、早期の生活改善と効果的・効率的な整備促進を図るため、令和3年度から下水道計画区域縮小の見直しに着手しております。同時に、浄化槽による整備区域拡大の見直しを行うこととしており、見直し後の区域における浄化槽の整備促進を重点的に図る必要があります。

また、現状の浄化槽による整備区域については、人口集積が低い地域であります。市域面積の約9割を占めており、令和3年度末時点で当該整備区域内人口のうち約5割の整備率に留まっておりますことから、より一層の整備促進が必要となっております。

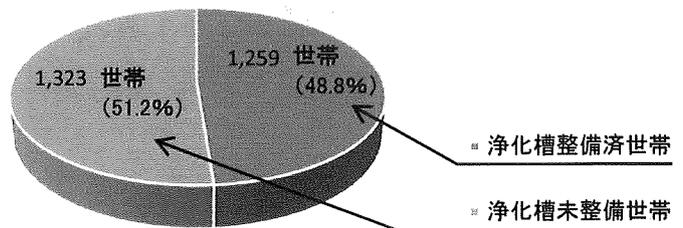
つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、引き続き浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算を確保していただきたく要望いたします。

循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備区域

甲 官内図



浄化槽設置補助対象区域内整備状況
(令和3年度末)



※ 世帯当たり人員は3.06人/世帯(H27国勢調査ベース)として算出。

国指定史跡盛岡城跡保存整備事業の推進について

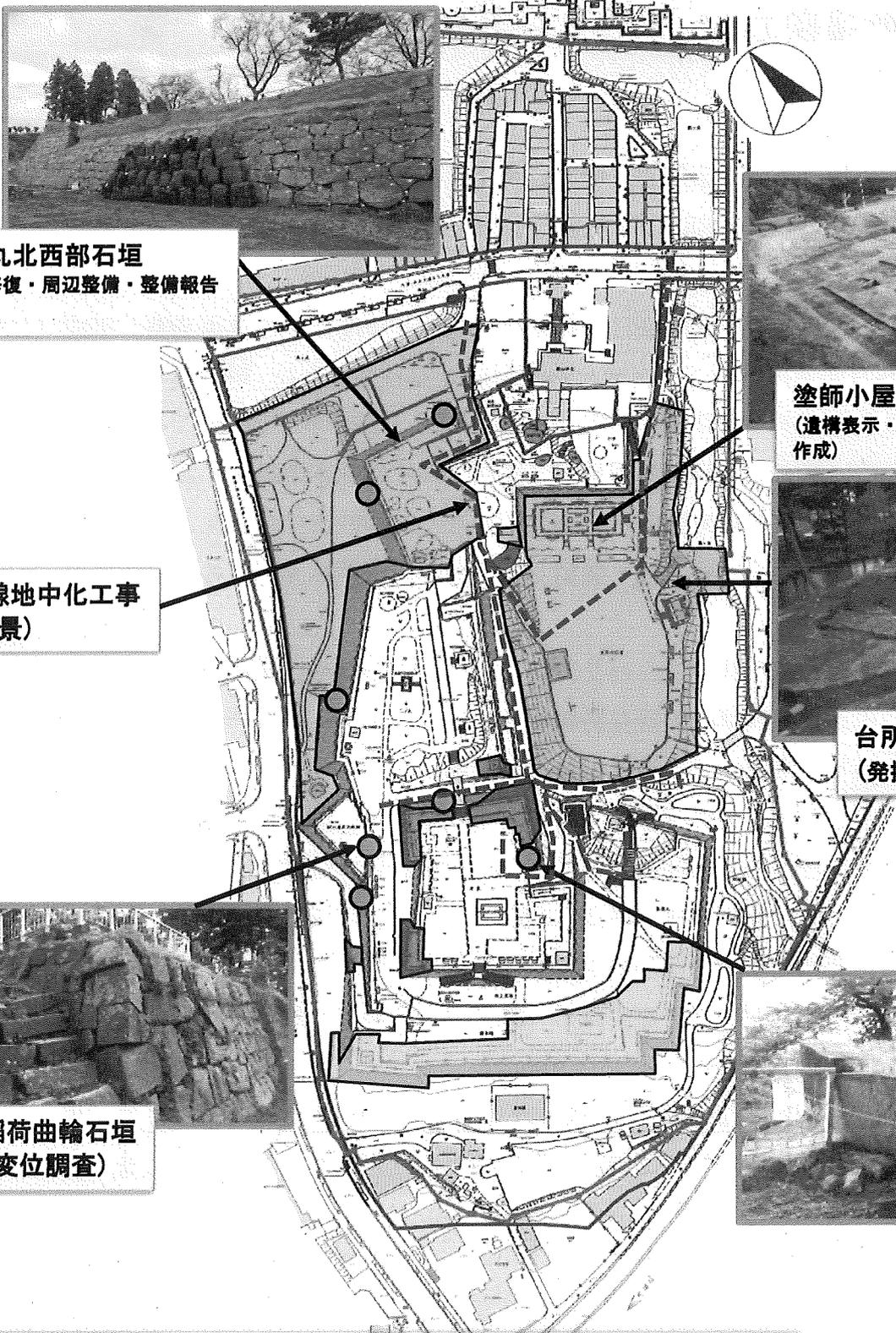
史跡^{もりおかじょうあと}盛岡城跡は、市名の由来であり、盛岡市のシンボルとして、市民はもとより本市を訪れる多くの方に親しまれており、その保存活用に鋭意努力しているところであります。また、市の中心部に位置し、中心市街地の魅力を高め、活性化を図る重要な都市公園でもあり、史跡整備と公園整備の両輪による「まちづくり」の推進が必要となっております。しかし、築城から400年余りが経過し、史跡の本質的価値の主要素である石垣に著しい傷みの箇所があり、抜本的な解体修復が必要とされ、昭和59年度から国庫補助事業として修復工事を進めてまいりました。

また、平成23年度には「史跡盛岡城跡保存管理計画」、平成24年度に「史跡盛岡城跡整備基本計画」、さらに平成28年度に「史跡盛岡城跡植栽管理基本計画」を策定した上で、全国に先駆けて年間の石垣変位量の測定を実施し、地震時における石垣挙動についての知見を蓄積するなどの研究を行うとともに、史跡の理解の促進と価値の向上を図るため、歴史的建造物等の復元整備を目指し、各種調査に努めております。

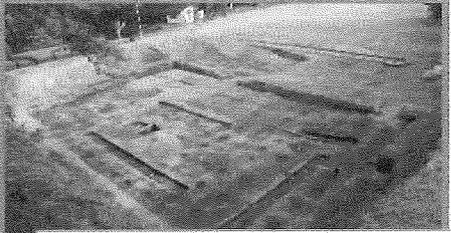
現在、第Ⅰ期整備計画の主要事業として、三ノ丸^{さんのまる}北西部石垣の修復工事を進めているところであります。石垣修復事業は、文化財の保護と来園者の安全確保の観点から、早急に事業を推進する必要がありますが、複数年度に亘り規模の大きな事業が継続するため、所要額の安定的な確保が課題となっております。また、近年、東日本大震災の余震と考えられる地震により、修復が完了した仙台城の石垣が再度、崩壊するなどの被害が発生しており、修復期間中は不安定な状態にある石垣工事の早期完了が急務となっております。

つきましては、石垣修復工事を着実に推進するため、引き続き予算の確保に特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

史跡盛岡城跡保存整備事業 要望箇所

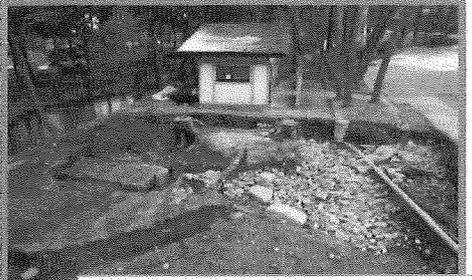


三ノ丸北西部石垣
(石垣修復・周辺整備・整備報告書作成)



塗師小屋跡
(遺構表示・遺物保存処理・調査報告書作成)

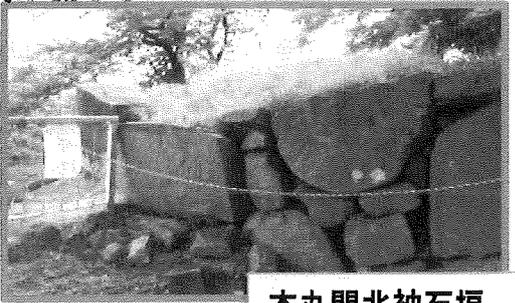
電線地中化工事
(修景)



台所門樹形・土橋
(発掘調査・遺構表示・復元)



櫛山稻荷曲輪石垣
(石垣変位調査)



本丸門北袖石垣
(石垣変位調査)

第1期石垣修復範囲 (S59~H2)	□
第2期石垣修復範囲 (H3~H24)	■
第I期整備計画範囲 (H25~R9)	□

史跡指定範囲 :	□
都市公園範囲 :	□
令和5年度 石垣変位調査観測地点	○

(S=1 : 2,500)

鉄道駅のバリアフリー化の推進について

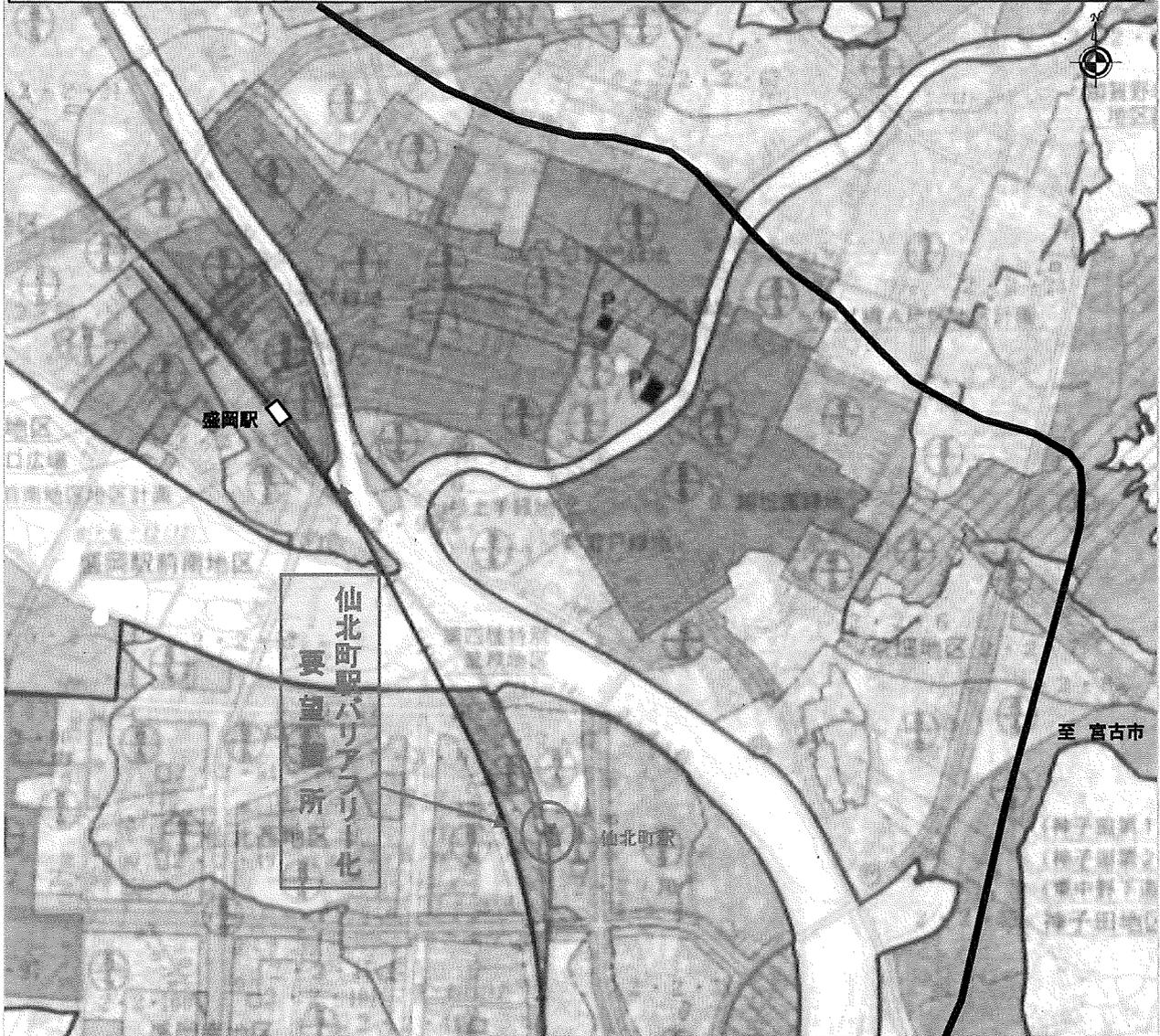
盛岡市は、令和元年度に策定した地域公共交通網形成計画において、交通結節点である鉄道駅について、相応しい機能や設備を検討・推進することとしております。

特に、J R東北本線仙北町駅^{せんぼくちょう}については、平成元年度に東西自由通路、平成27年度に東西自由通路エレベーターを供用開始しておりますが、駅構内のバリアフリー化は未実施であり、駅利用者が約3,500人/日(2019年)であることから、バリアフリー法に基づく「移動等円滑化の促進に関する基本方針」によるバリアフリー化目標に該当する早期整備の必要な駅となっております。また、地元住民からもバリアフリー化について強く要望されるなど、機能拡充が求められております。

東日本旅客鉄道株式会社では、バリアフリー化を図るため、国の支援も頂きながら、東西自由通路と駅構内の既存跨線橋を接続し、エレベーターを整備する計画を策定しており、市としても地元の意見等を伺いながら、バリアフリー化に向けた協力を行うこととしております。令和3年3月には、国・市・鉄道事業者が連携し事業を進めるため、「仙北町駅バリアフリー化設備等整備協議会」を設置し、令和4年度については東日本旅客鉄道株式会社において実施設計を実施したところです。また、令和5年度には国の支援制度を活用してバリアフリー化の工事を行う予定であり、市においても事業費の一部について東日本旅客鉄道株式会社に補助を行うこととしております。

つきましては、J R東北本線仙北町駅のバリアフリー化の推進を図るため、県補助金による更なる支援について特段の御配慮をいただきたく要望いたします。

鉄道駅のバリアフリー化整備促進要望図



仙北町駅バリアフリー化推進



スポーツ推進施策の充実強化について

盛岡市では、盛岡市スポーツ推進計画や盛岡市スポーツ施設適正配置方針に基づき、スポーツを行う環境整備を進めているところであります。県におかれましては、これまで、スポーツ医・科学の知見に基づく県民の健康づくりや競技力向上について、体力測定や実技講習を行い、測定結果に基づくトレーニングメニューの提供やスポーツ栄養、メンタル等に関する研修等を実施しているほか、専門員等を配置して、岩手県体育協会との連携と有識者の協力のもと、講習会への講師派遣、選手強化のトレーニング指導、いわてアスレティックトレーナーの活用など、ソフト面での様々な取組を進めていただいておりますことに感謝申し上げます。

今後は、令和4年度に設置した「いわてスポーツプラットフォーム」により、官民一体となった取組の充実と現行の取組の充実・強化を図り、事業効果を高めていきながら、スポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設のあり方についても検討していくとのことですが、スポーツを活用した健康づくりや地域活性化に資する施策を効果的に展開し、次世代を担う子どもたちが夢や希望を実現できる環境づくりを進めるためには、ソフト面の対応に加え、運動機能の実践的検証が可能な施設整備も必要と考えますことから、次のとおり要望いたします。

記

- 1 整備計画が東日本大震災により凍結されているスポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設について、整備を進めていただきたい。

水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について

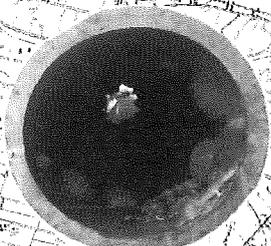
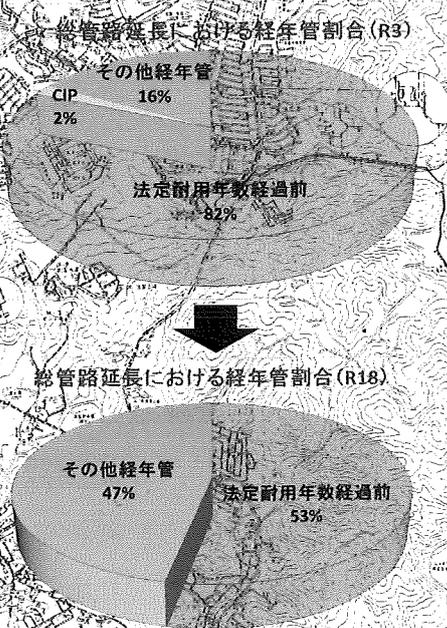
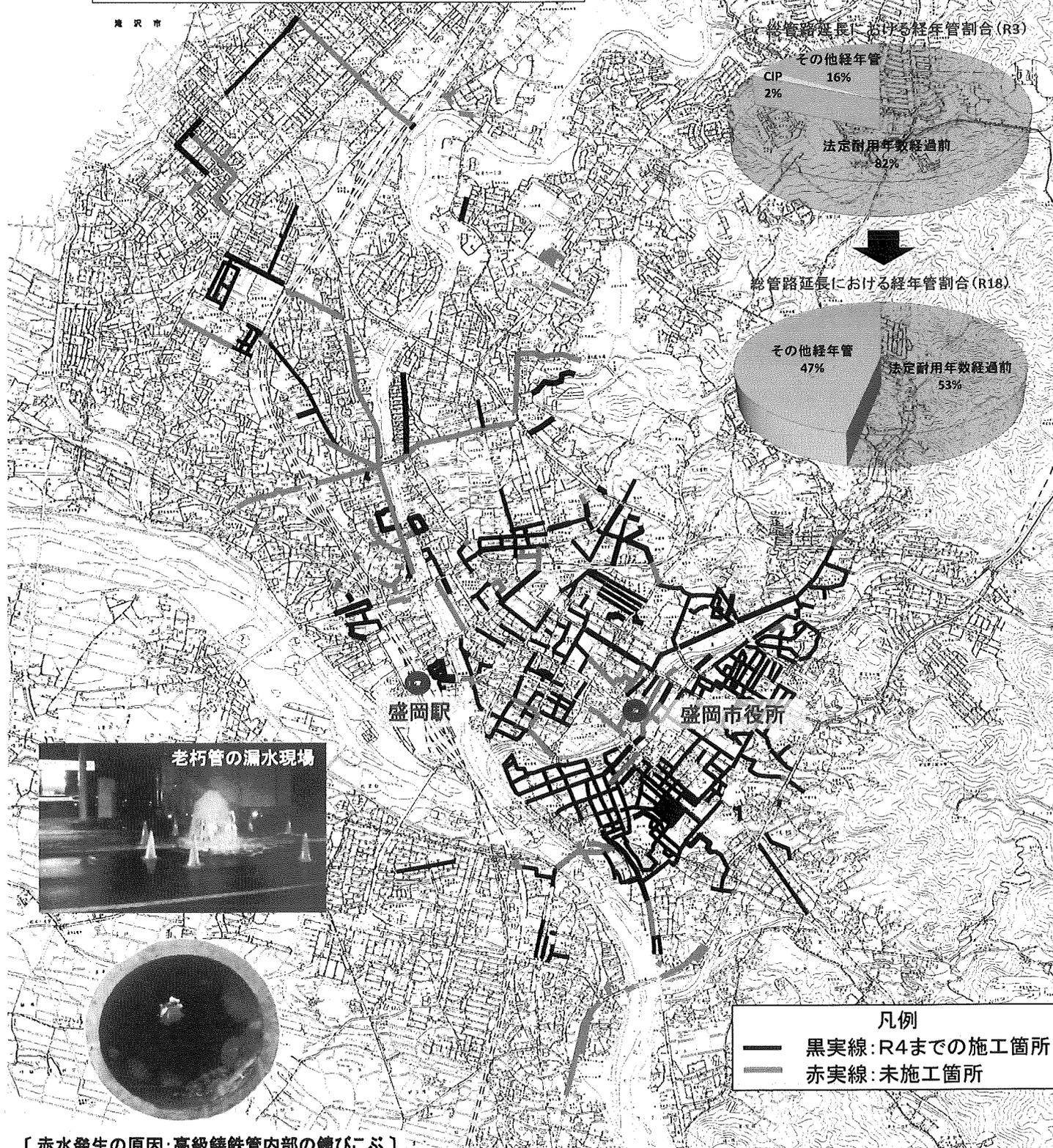
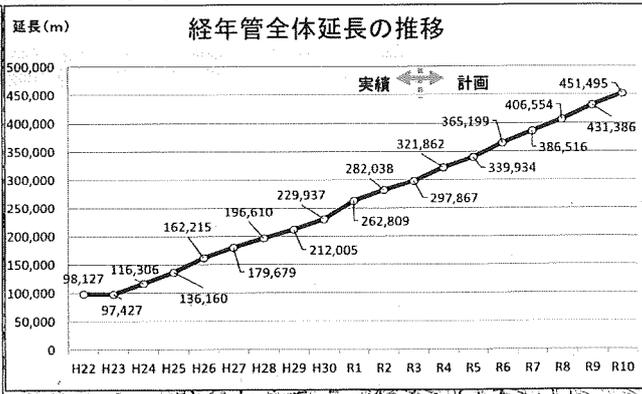
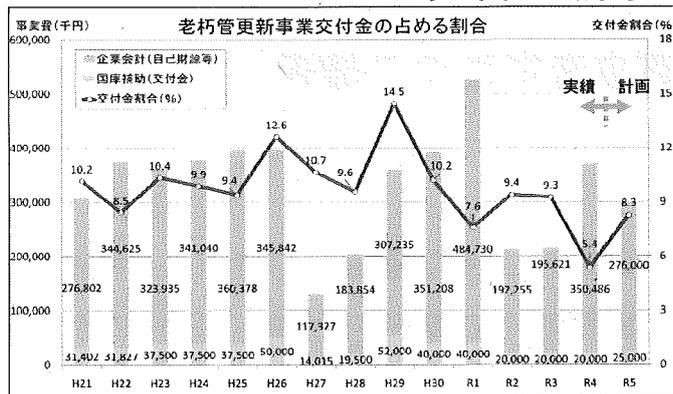
水道は、市民生活や産業活動を支える極めて重要な基盤施設であり、自然災害や水源汚染等の非常時においても、水道事業者には飲料水等生活に必要な水を供給し続けることが強く求められています。

また、水道創設期から高度経済成長期に整備された水道施設は、老朽化の進行が著しく、計画的な施設更新が必要となっています。こうしたことから、盛岡市においては、老朽施設の更新、基幹病院や要援護者収容施設までの配水管の耐震化を、重要給水施設配水管整備事業として重点的に進めております。その財源については、「水道施設耐震化等推進事業費補助金（生活基盤施設耐震化等交付金）」を活用することにより、施設整備を推進しているところですが、必要な財源確保は大きな課題となっています。

一方で、「水道施設耐震化等推進事業費補助金（生活基盤施設耐震化等交付金）」による老朽管更新事業においては、配水管更新に伴う給水管の繋ぎ替えや消火栓設置、硬質ポリ塩化ビニル管の更新は補助対象外となっている状況です。

つきましては、その補助制度の目的を存分に発揮し、滞りなく事業を推進するため、生活基盤施設耐震化等交付金の予算確保と補助対象工種の拡大について、国に働きかけていただくとともに、水道施設耐震化等推進事業費補助金の予算確保と要望額どおりの補助を要望いたします。

老朽管更新事業計画図

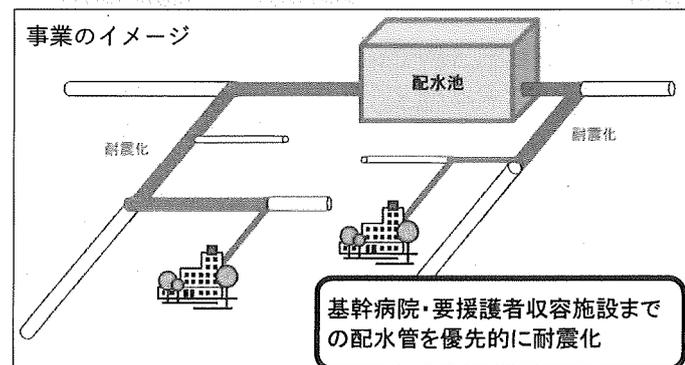
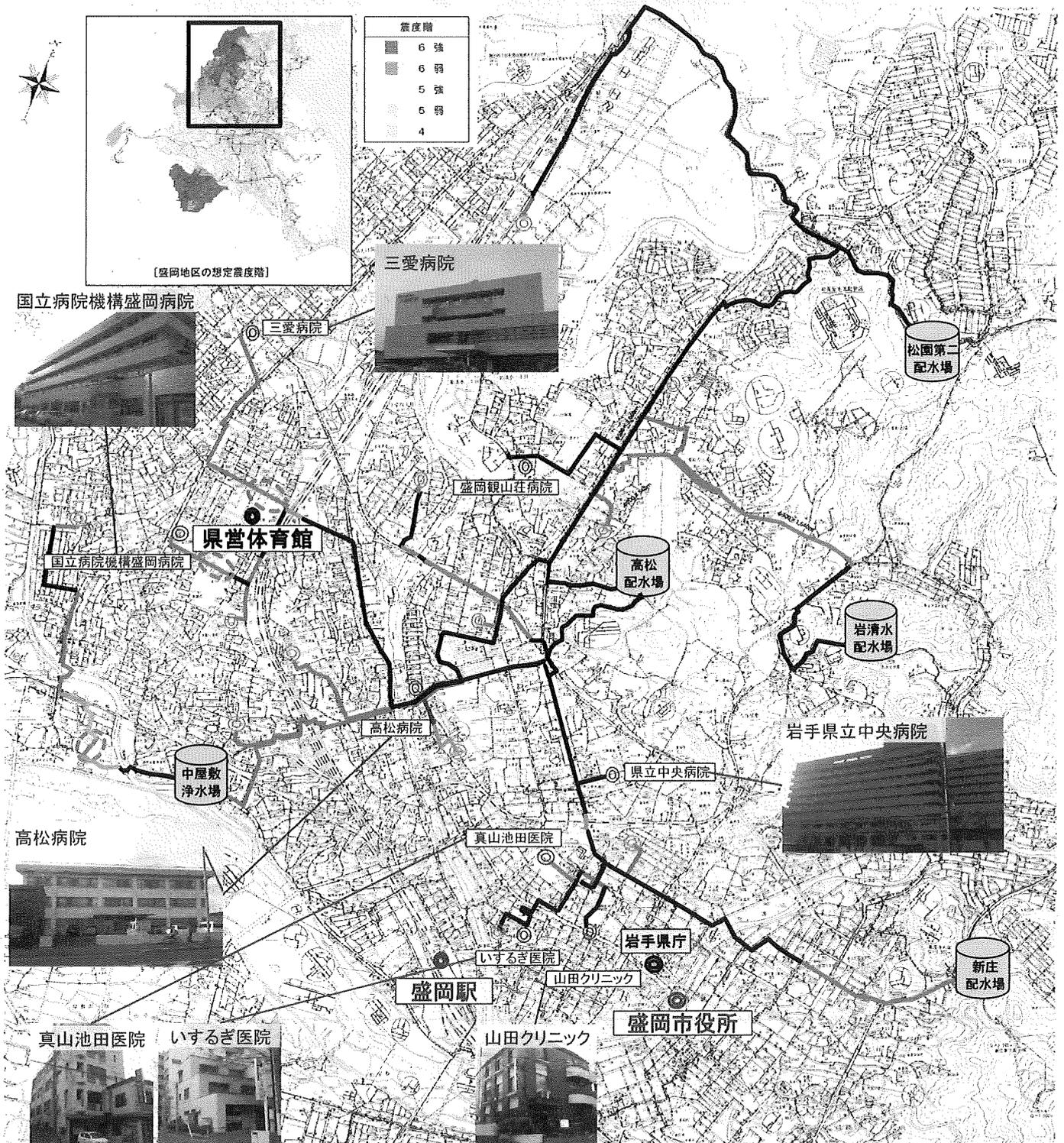


凡例

- 黒実線: R4までの施工箇所
- 赤実線: 未施工箇所

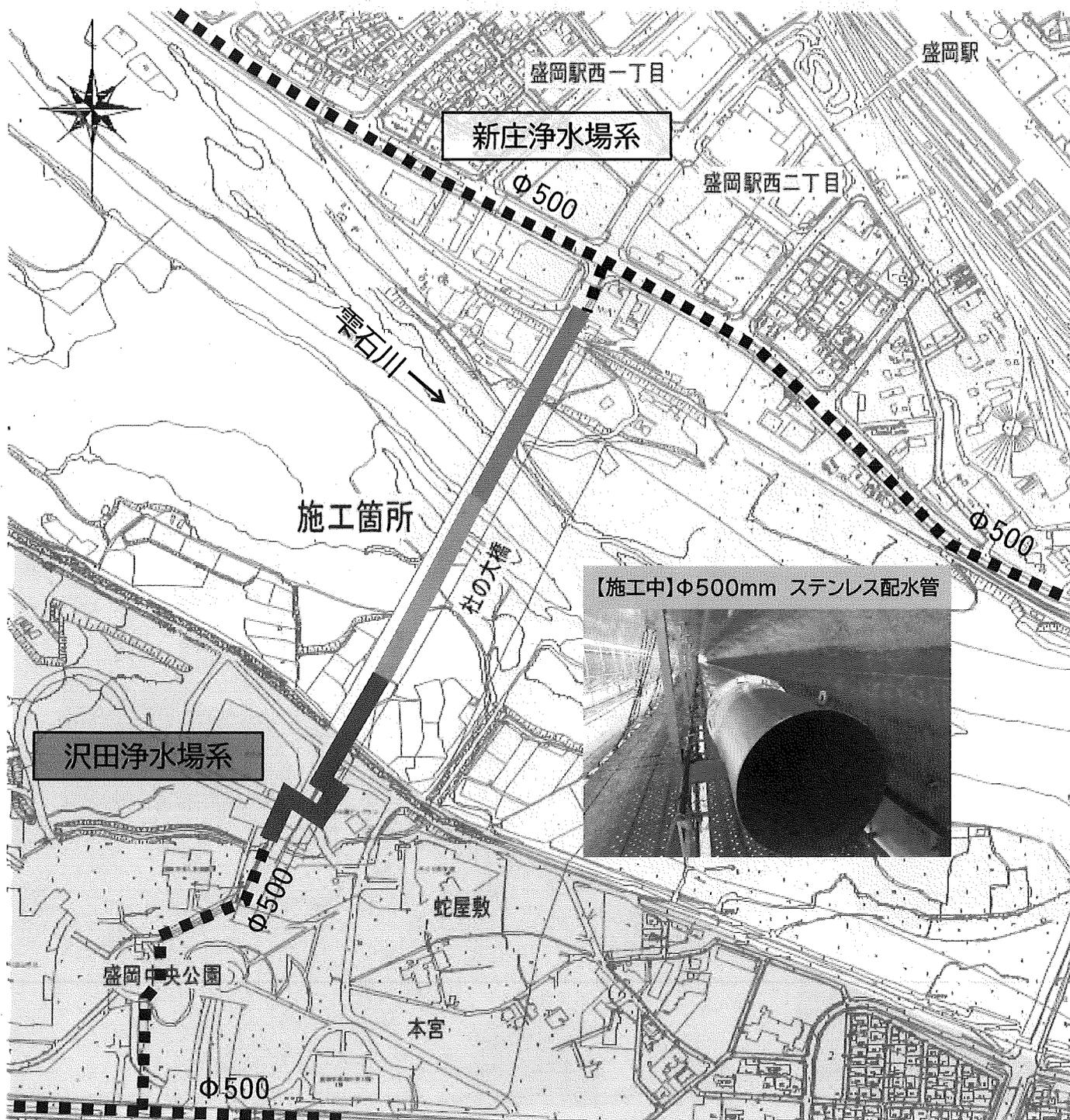
〔赤水発生の原因:高級鑄鉄管内部の錆びこぶ〕

重要給水施設配水管整備事業計画図



- 凡例
- 黒実線：R3までの施工箇所
 - 赤実線：未施工箇所
 - 青実線：R4施工箇所
 - 緑実線：R5施工箇所
 - 赤囲い：R6施工予定箇所
 - ①：基幹病院
 - ②：要援護者収容施設

上水道安全対策事業計画図（緊急時用連絡管）



工事概要

工事名 杜の大橋配水幹線添架工事

工期 令和4年2月23日～令和6年8月30日

工事内容

添架部 $\phi 500$ mmステンレス配水管 L=490m

埋設部 $\phi 500$ mmダクタイル鋳鉄管 L=190m

工事目的

新庄浄水場と沢田浄水場間の相互融通機能を確保し、平常時、非常時ともに安定給水を図ることを目的としたもの

黒点線：R3までの整備済箇所

青点線：R4施工分(単独事業) L=204m

緑実線：R5施工分 L=262m

赤実線：R6施工分 L=214m

合計 L=680m

市の産業施策と県の北上川バレープロジェクトとの連携強化、及びIT関連企業の誘致への支援について

盛岡市を中心とする県央地区は、都市機能や大学等試験研究機関、産業支援機関の立地などの優位性を生かし、産学官連携をベースとした先端技術の開発、ベンチャー企業の育成支援、IT関連企業の立地促進など付加価値の高い産業の育成に重点的に取り組んでおります。

また、岩手県は、県央地区と県南地区にまたがる北上川流域において、自動車や半導体関連産業を中心とした産業集積が進み、新たな雇用が創出されていることから、県との連携を強化し、北上川バレープロジェクトに取り組むことにより、市が進めている工業振興ビジョンの実現はもとより、県全体の産業の高度化・高付加価値化に資するものであるとの考えから、令和2年6月29日付で「岩手県と盛岡市との産業振興の連携に関する協定」を締結したところであり、協定に掲げる連携項目について、取組の推進・強化を要望いたします。

特にも、連携項目「IT関連企業の誘致及び集積に関すること」につきましても、県と連携した誘致によりIT関連企業の立地実績は堅調に推移しておりますが、今後、「盛岡市IT産業振興戦略」（令和3年9月策定）に掲げる数値目標を達成し、IT関連企業を集積させるためには、さらなる誘致の強化が必要な状況となっております。

県では、「いわてIT産業成長戦略」（令和3年3月策定）を策定し、IT企業の戦略的な誘致の中で県と市町村の連携による支援策の検討に取り組むこととされており、企業立地促進奨励事業費補助により、ソフトウェア業に対するハード面の支援策は整備されております。

しかしながら、IT関連企業は比較的小規模な事業者が多く、立地に際しては事業所賃借料や通信回線使用料などのソフト面に対する支援策も有効でありますことから、現在、情報関連企業に対する市独自の補助制度の中で事業所賃借料や通信回線使用料を補助対象としておりますので、県と連携してIT企業の誘致に取り組むため市と同様の補助制度の新設について要望いたします。

盛岡南地区物流拠点の整備に係る土地利用変更手続きの推進と新たな補助制度の創設について

盛岡市は、東北縦貫自動車道に加え、一般国道 106 号宮古盛岡横断道路、盛岡貨物ターミナル駅など、交通環境等で優位性が高く、全県及び北東北への波及効果が見込まれることから、「物流の 2024 年問題」を契機として労働環境の改善の必要性や効率化・集約化による競争力強化が求められる中で、これらに対応する新たな物流拠点として、「盛岡南地区物流拠点整備事業」に取り組んでいます。

本市はこれまでも、国の半導体産業を支える北上工業団地への工業用水供給に対する支援を行うなど、産業振興や雇用創出に貢献してまいったところですが、これまでの取組みに加え、産業を下支えする物流機能の強化・充実に本格的に取り組むことにより、産業全般のさらなる活性化や企業誘致・雇用創出を図ることとしています。

盛岡南地区物流拠点の整備にあたっては、国の総合物流施策大綱に則した整備を進めることとし、交通環境の優位性をいかし、仙台市に次ぐ新たな拠点を形成することにより、東北地方における輸配送拠点の分散化を図り、「物流の 2024 年問題」の回避に貢献し、働き方改革時代の北東北の物流機能を支える物流拠点を目指します。

また、インランドデポ機能を有する盛岡貨物ターミナル駅に隣接している立地条件をいかし、宮古港など沿岸主要港湾と連携することにより、農産物をはじめ北東北で生産される各種製品の鉄道・船舶によるコンテナ輸送・輸出の拡大を図り、各種産業の活性化及び国際競争力強化、農林水産物・食品の輸出拡大、国際コンテナ戦略港湾政策の推進に寄与するとともに、脱炭素・モーダルシフトを推進する物流拠点を目指します。

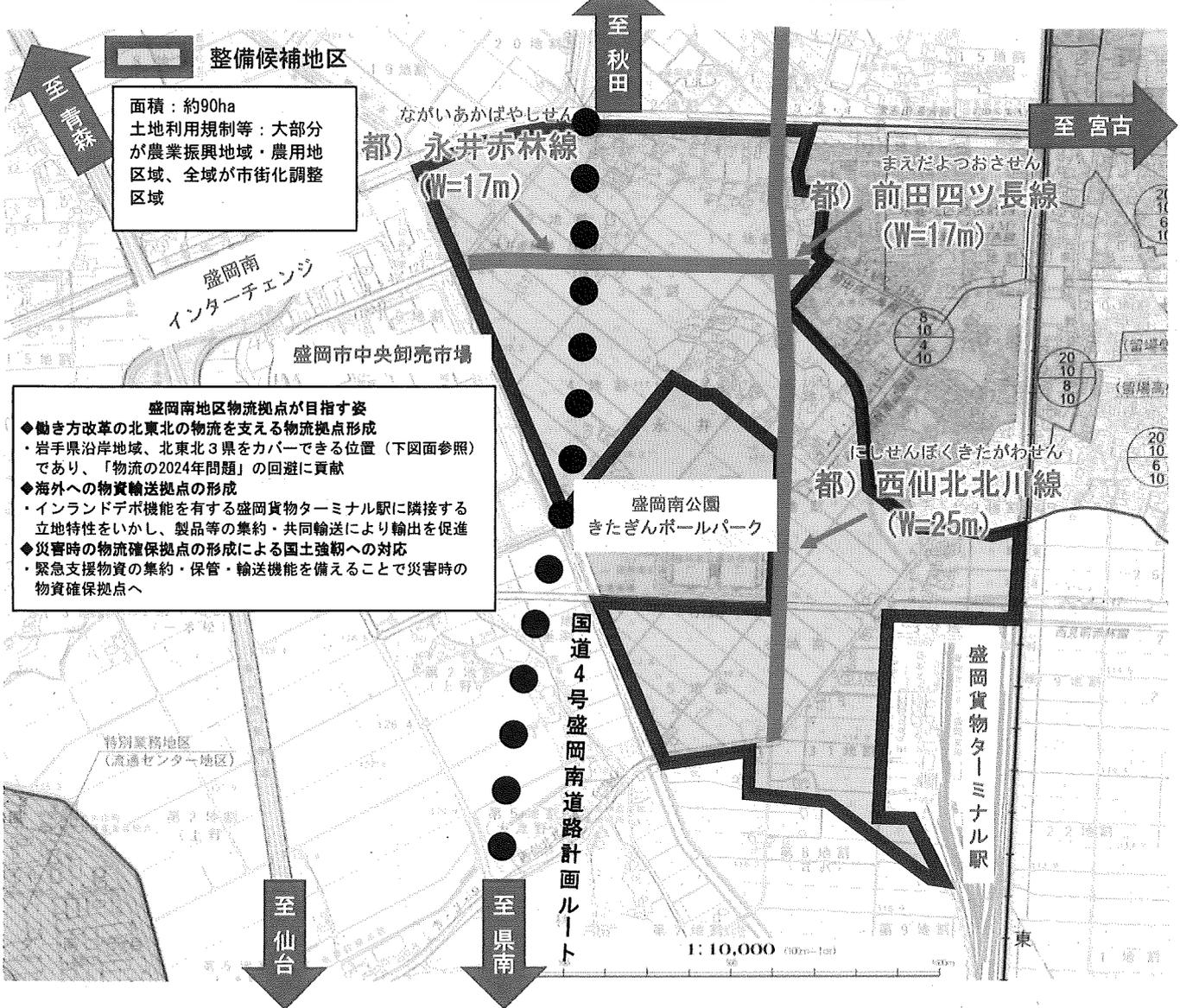
加えて、有事の際に必要な緊急支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることにより、災害時の物資確保拠点の形成による国土強靱化への対応を図ることとしています。

これらの機能を有し、国の各施策の推進に寄与する新たな物流拠点を整備するにあたり、次の事項について要望いたします。

記

- 1 土地利用変更手続きで必要となる指導・助言及び、円滑な事業推進のために特段の御配慮をいただきたいこと
- 2 「物流の2024年問題」や「国土強靱化」に対応する物流拠点整備のための新たな補助制度の創設を国へ働きかけていただくこと

盛岡南地区物流拠点整備事業 要望図



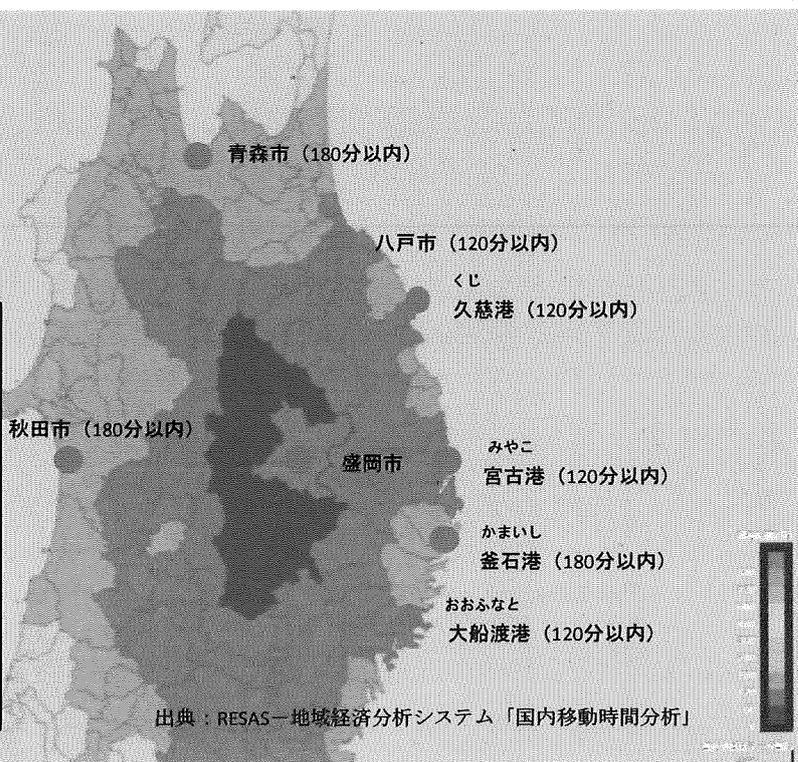
整備候補地区
 面積：約90ha
 土地利用規制等：大部分が農業振興地域・農用地区域、全域が市街化調整区域

- 盛岡南地区物流拠点が目指す姿**
- ◆働き方改革の北東北の物流を支える物流拠点形成
 - ・岩手県沿岸地域、北東北3県をカバーできる位置（下図面参照）であり、「物流の2024年問題」の回避に貢献
 - ◆海外への物資輸送拠点の形成
 - ・インランドデポ機能を有する盛岡貨物ターミナル駅に隣接する立地特性をいかし、製品等の集約・共同輸送により輸出を促進
 - ◆災害時の物流確保拠点の形成による国土強靱への対応
 - ・緊急支援物資の集約・保管・輸送機能を備えることで災害時の物資確保拠点へ

【盛岡市からの移動時間】

【移動時間】	
	60分以内
	120分以内
	180分以内

- ◆時間距離的に岩手県沿岸地域、北東北3県をカバーできる位置にあり、北東北の物流拠点として「物流の2024年問題」の回避に貢献
- ◆隣接する「盛岡貨物ターミナル駅」は京浜港から600キロ圏にあり、貨物輸送による大量輸送により輸送コストと環境負荷の低減（モーダルシフト）を促進
- ◆「盛岡南地区物流拠点」「盛岡貨物ターミナル駅」「岩手県の重要港湾」との連携により、モーダルシフトのさらなる推進と海外販路拡大を促進



出典：RESAS—地域経済分析システム「国内移動時間分析」

社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について

盛岡市は、「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」をまちづくりの将来像に掲げ、コンパクトな市街地の形成と都市基盤施設の適切な維持管理と機能強化の推進、環境にやさしく快適な交通環境の構築等を目指しております。

目指す将来像の実現に向け、本市においては、時代の変化に合わせた手法を盛り込んだ土地区画整理事業等による都市基盤の整備や、盛岡市総合交通計画等に基づき、利便性の高い公共交通機関のネットワークの整備に向けた道路事業等に取り組むとともに、地域の活力ある社会経済の維持を目的に、東日本では初となる盛岡広域8市町による「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、その推進に取り組んでいるところであります。

社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金は、地域の実情に応じて柔軟な活用が可能な創意工夫を活かせる交付金であり、本市においても、安全で快適な生活環境の確保等、社会経済活動の向上等に大きく貢献しております。また、ニューヨークタイムズ紙が発表した「2023年に行くべき52カ所」の2番目に選出され、今後においても安全・安心な都市基盤施設の構築はもとより、交通ネットワーク構築による経済活動における生産性の向上や、まちなかウォークアブルの推進等により、まちの魅力を引き出し、観光等の交流人口増加による賑わいの創出に繋がるものと期待しているところです。

また、令和3年4月27日に国が公表した「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」におきまして、「災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策」等7つの対策が示されたところですが、本市におきましても令和4年3月31日に策定した「盛岡市国土強靱化地域計画」に基づく災害に強い幹線道路ネットワークの構築や道路施設の防災対策等の強化、また令和5年3月31日に定めた「盛岡市立地適正化計画」の防災指針に基づく防災まちづくりを推進したいと考えております。

つきましては、社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度金事業により、滞りなく上記事業を推進するため、予算の配分について特段の御配慮をいただきますようお願いいたします。

<盛岡市の社会資本整備総合交付金による主な事業>

道路事業、街路事業、河川事業、住宅事業、都市公園事業、土地区画整理事業、市街地整備事業、住環境整備事業、下水道事業

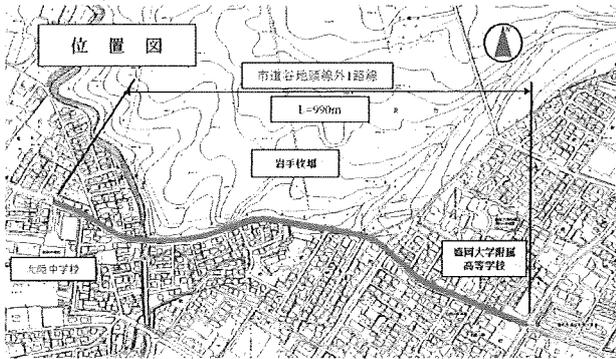
<盛岡市の個別補助事業による主な事業>

無電柱化推進計画事業、橋梁長寿命化修繕計画事業、大規模特定河川事業、都市構造再編集中支援事業

社会資本整備総合交付金事業（交通安全対策事業）及び個別補助制度事業（道路メンテナンス事業）要望図

（交付金・重点配分）交通安全対策事業

＜市道谷地頭線外1路線＞ みちのく盛岡広域連携ビジョン、盛岡市国土強靱化計画



盛岡大学附属高等学校付近

＜令和5年度現在・状況写真＞

岩手牧場樹木伐採後状況



（補助）道路メンテナンス事業

＜市道東見前・手代森線都南中央橋外＞～安全で安心な道路サービスの提供～



対象構造物

- ・橋梁 【581施設】
- ・トンネル 【2施設】
- ・大型カルバート 【7施設】
- ・横断歩道橋 【2施設】
- ・門型標識 【8施設】

計画への位置づけ

- ◆橋梁長寿命化修繕計画
- ◆大型構造物長寿命化修繕計画



整備内容

- 長寿命化修繕
舗装打替え、断面修復、橋面防水など
- 歩行環境の改善
融雪設備の設置(他事業と合併)

など

一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化の整備促進について

一般国道46号「盛岡西バイパス」は、盛岡都市圏西側の環状道路機能を担うとともに、一般国道106号と連絡し、秋田市～盛岡市～宮古市を結ぶ横軸連携を形成する重要な路線となっております。

「盛岡西バイパス」は、平成25年に主要地方道上米内湯沢線^{かみよないゆざわ}まで7.8kmが開通しておりますが、本宮字泉屋敷^{もとみやあざいずみやしき}から上厨川字前潟^{かみくりやがわあざまえがた}の区間約3.6kmが2車線となっており、国の御尽力により4車線化の整備を行っていただいております。平成25年の開通以降、交通量は増加しており、現在、一日当たり3万3千台を超えるなど確実に幹線道路としての機能が発揮されております。こうした中、国からは、令和7年度に4車線化が開通する見通しと公表がされています。

一方、盛岡西バイパス沿線では、盛南開発^{せいなん}などの都市開発と盛岡西バイパス整備との相乗効果により、大規模商業施設の立地が相次ぎ、沿線の人口も大きく伸びているなど市街地の形成が急速に進んでいます。

また、令和3年3月に復興支援道路である宮古盛岡横断道路が全線開通したほか、令和5年4月にはプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場が供用開始され、加えて、新たなものづくりの拠点となる新産業等用地整備の進捗や、盛岡南地区物流拠点整備を予定していることなどから、今後も、交通需要が増加する状況にあります。

そのような状況の中、令和3年4月に公表された「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」に位置付けていただいたことにより、今後更に事業進捗が図られるものと期待しております。

つきましては、北東北の東西連携の強化をはじめ、物流の強化や渋滞緩和、都市機能の集積強化を図るため、一般国道46号「盛岡西バイパス」の2車線供用区間の4車線化整備促進について、国に働きかけていただきたく要望いたします。

一般国道46号「盛岡西バイパス」の4車線化整備促進要望図

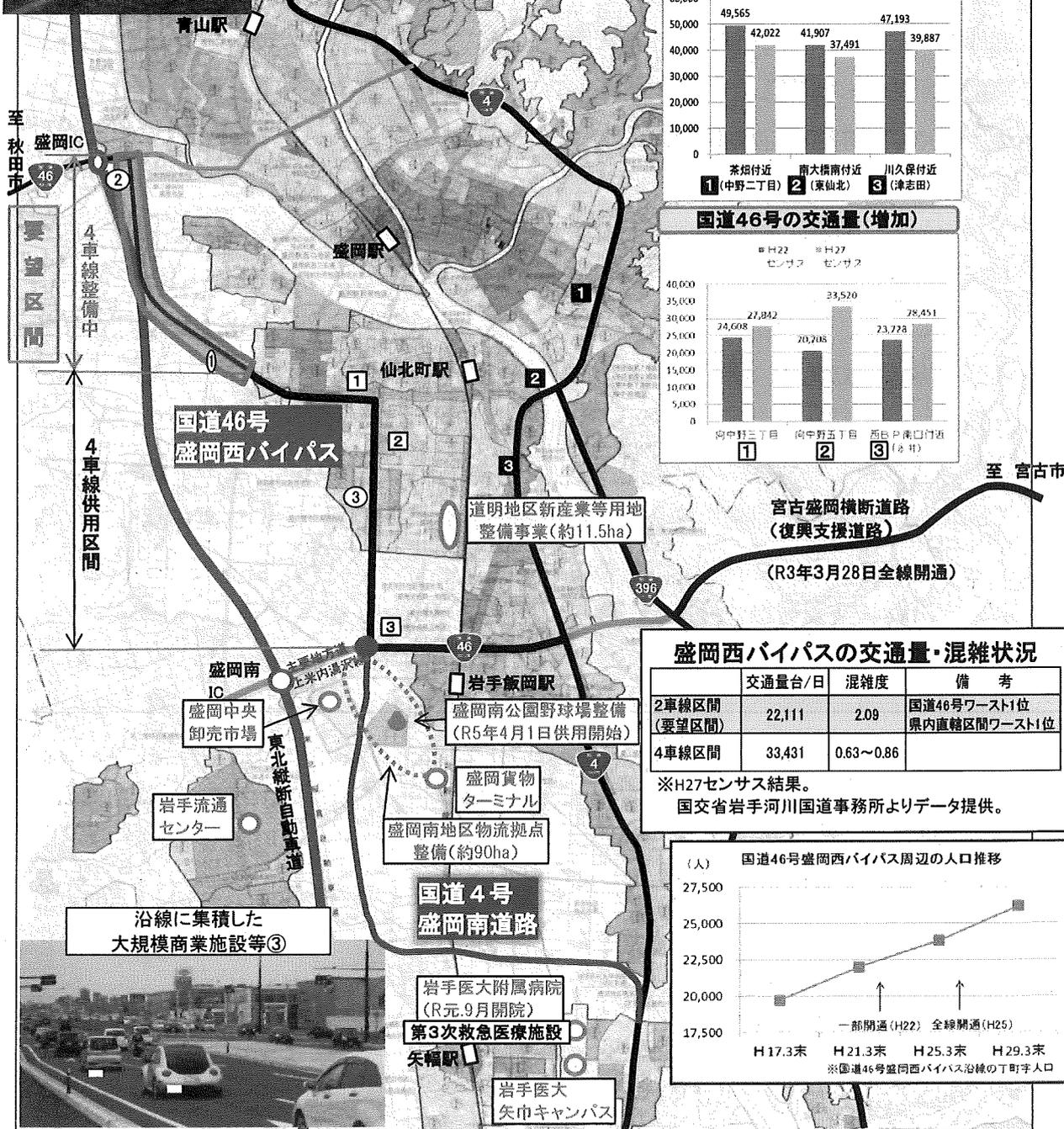
盛岡西バイパス4車線化ストック効果

- 【秋田～盛岡～宮古横軸連携強化】
- 【盛岡広域北部地域と流通センターとの物流強化】
- 【盛岡市街地アクセスの渋滞緩和】
- 【都市機能の集積強化】

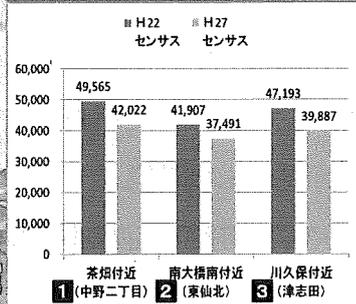
2車線区間の状況①



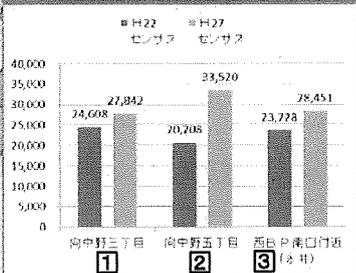
2車線区間の状況②



国道4号の交通量(渋滞減少)



国道46号の交通量(増加)

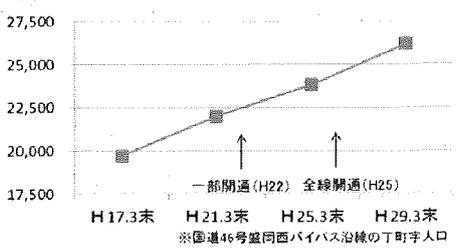


盛岡西バイパスの交通量・混雑状況

区間	交通量台/日	混雑度	備考
2車線区間 (要望区間)	22,111	2.09	国道46号ワースト1位 県内直轄区間ワースト1位
4車線区間	33,431	0.63~0.86	

※H27センサス結果。
国交省岩手河川国道事務所よりデータ提供。

国道46号盛岡西バイパス周辺の人口推移



一般国道4号「盛岡南道路」整備事業の推進について

一般国道4号は、岩手県の内陸部を南北に縦貫している大動脈であり、盛岡広域都市圏における円滑な交通の確保と都市の発展に大きな役割を担う重要な路線となっており、令和4年度に一般国道4号「盛岡南道路」が新規事業化されましたことは、地域の振興と発展に向けた大きな前進であり、大変喜ばしく深く感謝申し上げます。

盛岡市は盛岡広域圏における生活・経済の中心であり、盛岡南地区においては、盛南開発により人口が増加し、「盛岡西バイパス」沿線等へ商業施設が集積しており、市街化が急速に進展しております。さらに、本市と一体の生活圏が形成されている矢巾町やはばちょうや紫波町間しわちょうで通勤通学などの流動量が多く、交通需要が大きくなっている状況です。

このため、国道4号においては、国道46号以南の交通量が増加し、著しい渋滞が発生している状況にあります。

こうした中、当地区には、岩手流通センター、盛岡貨物ターミナル及び盛岡中央卸売市場等が立地し、物流拠点が形成されており、国道4号の渋滞が物流の大きな支障になっております。

また、令和元年9月には、救急医療の中核を担う岩手医科大学附属病院が矢巾町で開院しましたが、病院を中心とした道路ネットワークが十分に形成されていないことから、アクセス性の向上が重要な課題となっております。さらに、道明地区どうみょうにおいては新産業等用地の開発が進捗していることや、盛岡南公園にプロ野球1軍公式戦が開催可能な2万人規模の野球場が令和5年4月に供用開始されたほか、盛岡南地区物流拠点整備の計画を検討していることなどから、更なる交通需要の増加が見込まれるため、主要幹線道路の必要性が高まっている状況です。

つきましては、本市を中心とした都市圏の圏域人口の維持や持続可能な経済・産業圏域の形成、高次都市機能の集約強化、そして「命を守る医療体系」を機能させるとともに、これらを支える渋滞のない道路ネットワークを形成するため、一般国道4号「盛岡南道路」の整備推進について、国に働きかけていただきたく要望いたします。

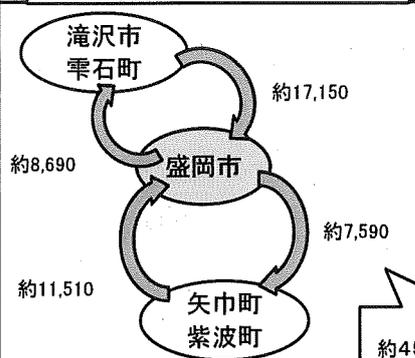
滝沢市

一般国道4号「盛岡南道路」の整備事業推進要望図

盛岡南道路のストック効果

- 【国道4号の混雑緩和が図られる】
- 【物流の効率化が図られる】
- 【命を守る医療体系の構築】
- 【持続可能な経済・産業圏域の形成】

盛岡広域圏 通勤通学流動



通勤通学で
約45,000人/日の流動

資料: H27国勢調査 単位: 人/日

【写真①】国道4号の渋滞状況
・盛岡南IC入口交差点南側



東北縦貫自動車道

至 雫石町

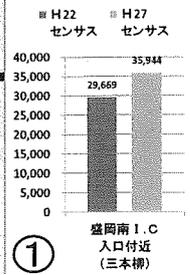
盛岡市

国道46号
盛岡西バイパス

道明地区新産業等用地
整備事業(約11.5ha)

富古盛岡横断道路
(復興支援道路)
(R3年3月28日全線開通)

国道4号の交通量



国道4号盛岡南道路
要望箇所

主栗地方道
上米内湯沢橋

盛岡南IC

盛岡中央
卸売市場

岩手流通
センター

盛岡南野球場整備
(R5年4月1日供用開始)

盛岡貨物ターミナル

盛岡南地区物流拠点
整備(約90ha)

矢巾町

【写真②】

物流拠点を結ぶ円滑なネットワークの確保
・盛岡貨物ターミナル駅から県南の金ヶ崎町にある工場へ、組み立て部品などをコンテナ貨物トラックで輸送するために、規格の高い道路が必要。



矢巾スマートIC
H30.3月24日開通

岩手医大附属病院
(R元.9月24日開院)

岩手医大
矢巾キャンパス

至 紫波町

▼岩手日報 令和元年12月22日(日)

「命とりで」増す安心

岩手医大病院 矢巾移転3カ月
最新機器充実さらに

交通環境の
向上不可欠

道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について

盛岡市は県都として、また、北東北の交流拠点を目指し、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めるとともに、これらの都市機能を支える基盤の整備に鋭意努めているところであります。

しかしながら、歩行者の安全確保や道路事情の改善を図るためには、道路整備は未だ十分とはいえない状況にあり、広域連携等の推進を図るための幹線道路をはじめとして、学校、警察、道路管理者による通学路の緊急合同点検結果を踏まえた交通安全施設の整備が急務となっております。

盛岡広域圏では、東日本で初となる連携中枢都市圏として、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、人口減少、少子高齢社会に向けた取組みを進めております。

滝沢市^{たきざわし}、矢巾町^{やはちょう}との結びつきやネットワーク強化により両市町との一体的な発展を図るため、都市圏ビジョンに位置付けられた基幹道路の整備が求められております。

また、令和3年4月27日に国が公表した「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム（東北ブロック版）」におきまして、「災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能強化対策」等7つの対策が示されたところですが、本市におきましても令和4年3月31日に「盛岡市国土強靱化地域計画」を策定し、これを踏まえた災害に強い幹線ネットワークの構築等が課題となっております。

つきましては、道路局所管盛岡市道路整備事業の着実な推進について要望いたします。

1 道路局所管の盛岡市道路整備事業の着実な推進

区分	路線名	要望地区	工種
継続	<small>つしだしちさわ</small> 津志田白沢線外 1 路線 (連携中枢都市圏路線)	<small>ながい</small> 永井地区外	道路改築
〃	<small>やちがしら</small> 谷地頭線外 1 路線 (連携中枢都市圏路線)	<small>くりやがわ</small> 厨川地区	交通安全
〃	<small>いわてこうえんかいうんばし</small> 岩手公園開運橋線	<small>さいえん</small> 菜園地区	無電柱化
〃	<small>みなみおどおりにちようめみなみおほし</small> 南大通二丁目南大橋線外	<small>なたやちよう</small> 鉾屋町地区	〃
〃	<small>ほんちようどおりいつちようめなのりざわ</small> 本町通一丁目名乗沢 2 号線 <small>やまぎしにちようめ</small> (山岸二丁目)	<small>やまぎし</small> 山岸地区	交通安全

道路局所管道路整備事業に係る要望箇所図



滝沢市

滝沢市との広域連携強化
(連携中枢都市圏ビジョン)

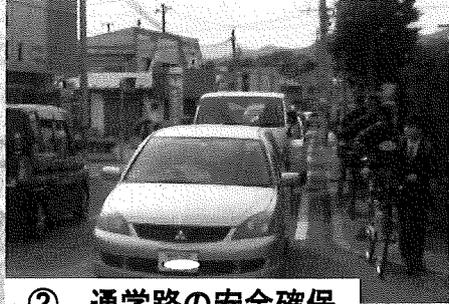
盛岡大附

北厨川小

北陵中

厨川駅

③ 無電柱化や融雪による歩行空間の向上



② 通学路の安全確保



④ 無電柱化や融雪による歩行空間
快適性の向上と景観の保全



⑤ 通学路の安全確保

県道盛岡滝沢線

国道4号

県道田代線

夕陽橋線

道路整備事業の効果

現状

- ◆ 交通量の多い通学路等において歩行者が危険にさらされている。
- ◆ 車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能の面で支障をきたしている。
- ◆ 電柱が歩行空間を狭め歴史的な景観を阻害。冬季は積雪凍結により歩行困難な状況。
- ◆ 車両だけではなく歩行者においても、地域間の往來の改善が求められている。

道路整備による効果

- ◆ 交通環境の改善により歩行者、車両の安全確保。
- ◆ 電線地中化や融雪による歩行者空間の快適性向上と景観の保全。
- ◆ 道路新設や自由通路整備による地域間交流と活性化期待。

中心市街地の快適な歩行空間創出

山岸小

通学路の安全確保

国道4号

県庁

市役所

盛岡駅

歴史的な景観

国道4号

国道106号

国道396号

都南川目道路

国道46号盛岡西バイパス

盛岡南 I.C.

駅東西交流
地域活性化

国道46号

岩手飯岡駅

国道4号
盛岡南道路

国道4号

矢巾町

矢巾町との広域連携強化
(連携中枢都市圏ビジョン)

番号	路線名等
①	津志田白沢線
②	谷地頭線
③	岩手公園開運橋線
④	南大通二丁目南大橋線外
⑤	本町通一丁目名乗沢2号線Ⅱ工区

主要地方道盛岡和賀線

一般国道4号渋民バイパスへの道の駅「もりおか渋民」の整備について

一般国道4号^{しぶたみ}渋民バイパスへの道の駅整備につきましては、本市初の道の駅の整備に向け、地域住民・関係団体の協力のもと、懇談会やワークショップの開催、利用者ニーズ調査などを実施するとともに、平成31年3月に基本計画を策定、令和2年度に基本設計を、令和3年度には実施設計を行い、令和4年10月には整備工事に着手したところであります。工事開始に至るまでの技術的見地からの御助言や御指導を頂くとともに、予算確保に対する御配慮に対し、改めて感謝申し上げます。

道の駅「もりおか渋民」は、^{ひめかみさん いわたさん}姫神山や岩手山の優美な眺望をいかしながら、^{たくぼく}石川啄木記念館などとの連携により、^{たくぼく}石川啄木が愛した原風景を感じていただける場を目指しております。また、一日当たり11,000台を超える^{しぶたみ}渋民バイパス利用車両に対する休憩や道路情報の提供機能に加え、災害時における一時避難場所や物資等の支援拠点などの防災機能を具備することで、道路利用者等の交通安全の確保や利便性の向上、地域の防災拠点の役割を担おうとするものであります。更には、地域振興の拠点として、地域情報の発信や付加価値のある農畜産物の販売、地域の魅力をいかした食の提供などを通じて地域に活気を呼び込むほか、市民が集い、様々な人々が活躍でき、将来を担う人材を育成する場をつくらうとするものであります。

つきましては、令和6年度内の開業に向けて、工事が本格化しているところでありますが、昨今の物価高騰等の状況に対応しながら着実に整備を推進する必要がありますことから、引き続き、魅力ある道の駅とするための御助言や御支援、事業費の確保等について、国に働きかけていただきたく要望いたします。

盛岡市道の駅設置事業概要

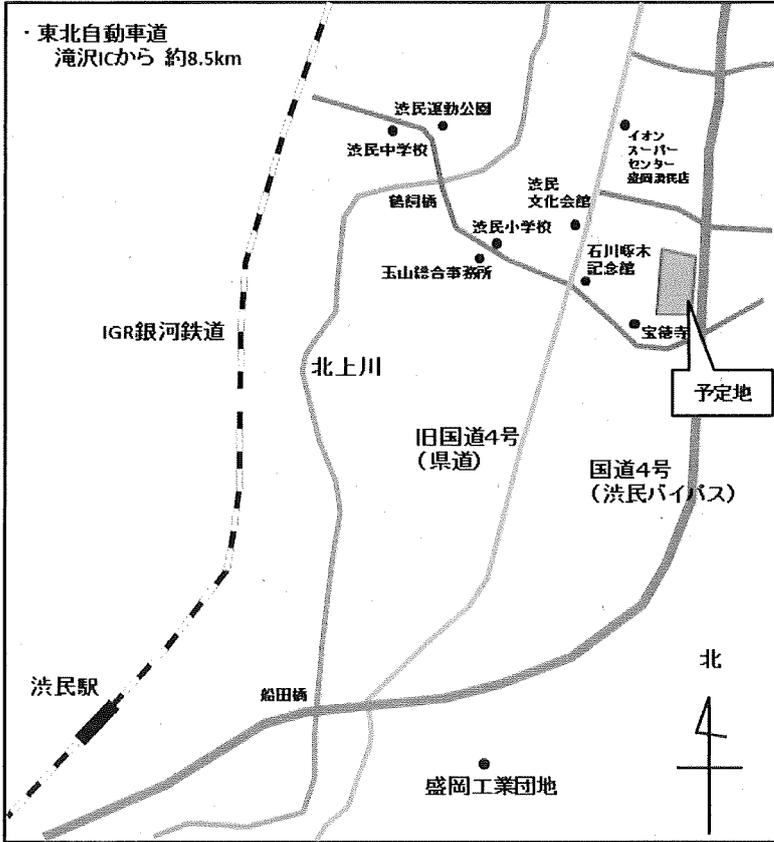
しづたみ

道の駅もりおか渋民

ゆめ

コンセプト『道の駅は、私たちの未来を創る希望のステージ』

～ 石川啄木が愛した盛岡・玉山を感じられる道の駅～



交通安全
確保

地域振興

人材育成

地域のPR

元気な
地域づくり

防災力
向上

想定スケジュール

令和4年度
(2022)

- ・整備工事
- ・駅名決定

令和5年度
(2023)

- ・整備工事
- ・指定管理手続等

令和6年度
(2024)

- ・整備工事
- ・開業

<イメージパース>



地域のかや民間のノウハウを活かし、地域の魅力あふれる道の駅を整備します

都市局所管盛岡市内街路事業の推進について

盛岡市は都市機能を支える基盤として、現都心地区と盛岡南新都心地区を結ぶ連続した都心の形成及び中心市街地を囲む環状道路と郊外を結ぶ放射道路を計画し、北東北の交流拠点都市としての、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めております。

しかしながら、現都心地区では狭隘道路や用地取得難といった城下町の特徴から道路の整備率が低く、また、盛岡南新都心地区では街の成長や隣接市町市街地の拡大等による交通需要に道路整備が追いついていないことから、随所で恒常的な交通渋滞が発生するなど、都市活動や安全な交通の確保等が著しく阻害されているため、街路の整備が急務となっております。

本市では、これらへの方策として「もりおか交通戦略」を立案し、バスを中心とした公共交通軸の充実・強化や中心市街地へのアクセス交通の分散誘導を図るため、交通政策と一体となった街路事業を進めており、その一環としてあたちちようみつわり愛宕町三ツ割線及びもりおかせきもとみや盛岡駅本宮線の整備に取り組んでいるところであります。

愛宕町三ツ割線は、沿線に小学校や高校等が立地し、その通学路となっているものの、歩道が未整備であることから、整備の進捗を図り、歩行者の安全と円滑な交通を確保する必要があります。

盛岡駅本宮線もり おおはし（杜の大橋）は、現都心地区や盛岡駅西口地区と盛岡南新都心地区を結ぶ重要な幹線道路であります。平成18年度に2車線での暫定供用を開始しておりますが、交通量が多く渋滞が発生しており、今後においても盛岡南新都心地区での住宅や商業施設等の立地が進み交通量の増加が見込まれることから、早期に杜の大橋を4車線化にする必要があります。

つきましては、都市局所管盛岡市内街路事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

事業主体	区分	路線名	要望地区	工種
盛岡市	継続	愛宕町三ツ割線	<small>やまぎし</small> 山岸四丁目外	道路改築
岩手県	継続	盛岡駅本宮線	杜の大橋	橋梁 4車線化

都市局所管街路事業に係る要望箇所図

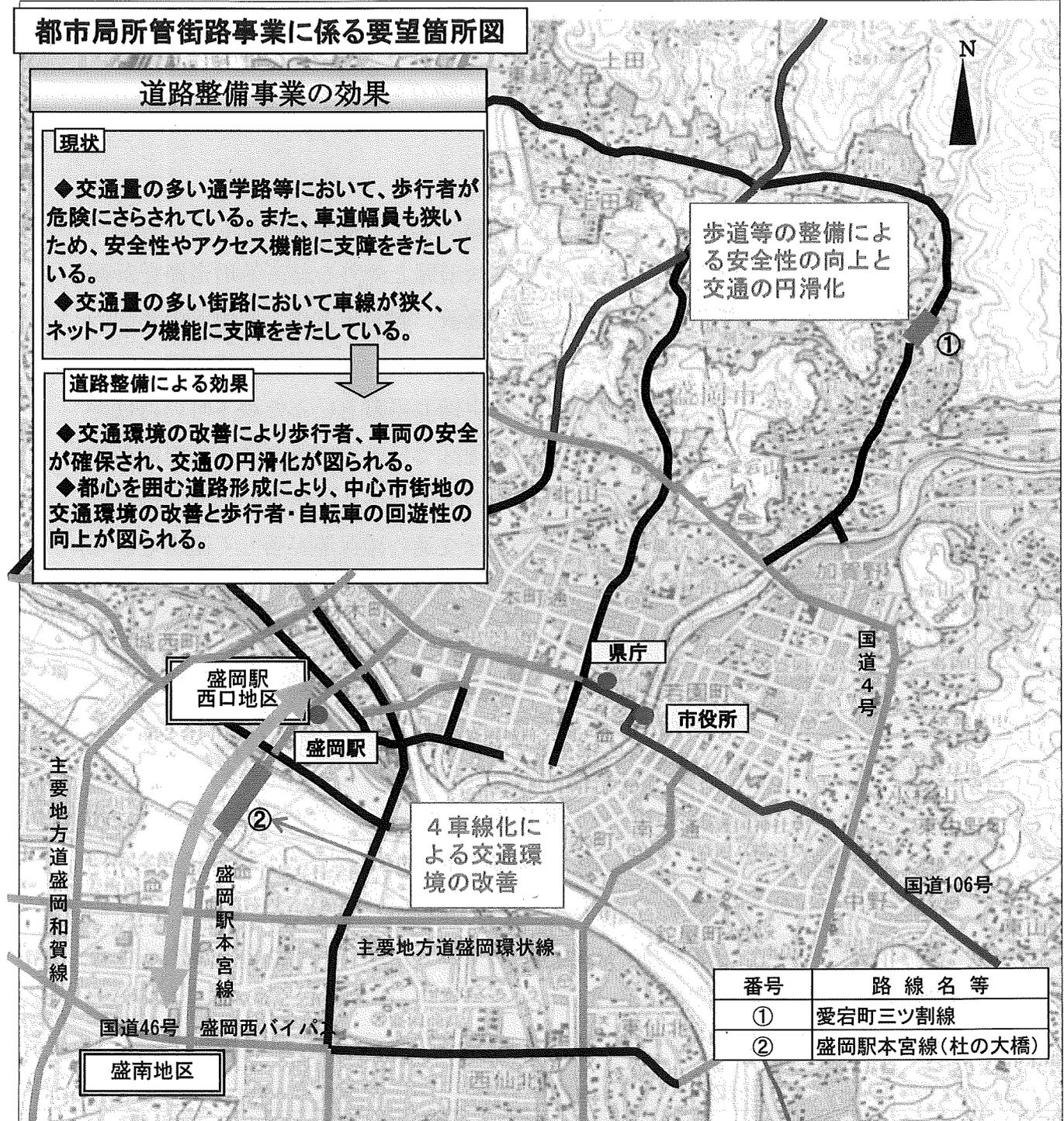
道路整備事業の効果

現状

- ◆交通量の多い通学路等において、歩行者が危険にさらされている。また、車道幅員も狭いため、安全性やアクセス機能に支障をきたしている。
- ◆交通量の多い街路において車線が狭く、ネットワーク機能に支障をきたしている。

道路整備による効果

- ◆交通環境の改善により歩行者、車両の安全が確保され、交通の円滑化が図られる。
- ◆都心を囲む道路形成により、中心市街地の交通環境の改善と歩行者・自転車の回遊性の向上が図られる。



① 歩道整備による安全性向上と交通円滑化



② 車線数の確保による交通環境の改善



市街地再開発事業の推進について

盛岡市では、総合計画において「ひと・まち・未来が輝き 世界につながるまち盛岡」を将来像に掲げ、中心市街地における良好な市街地環境の創出や土地利用の適正化を図るため、再開発事業を推進し、にぎわいのあるまちづくりを進めているところであります。

また、令和元年度に「盛岡市立地適正化計画」を策定し、都市機能の集積を図り、コンパクト・プラス・ネットワークの形成に取り組んでおります。

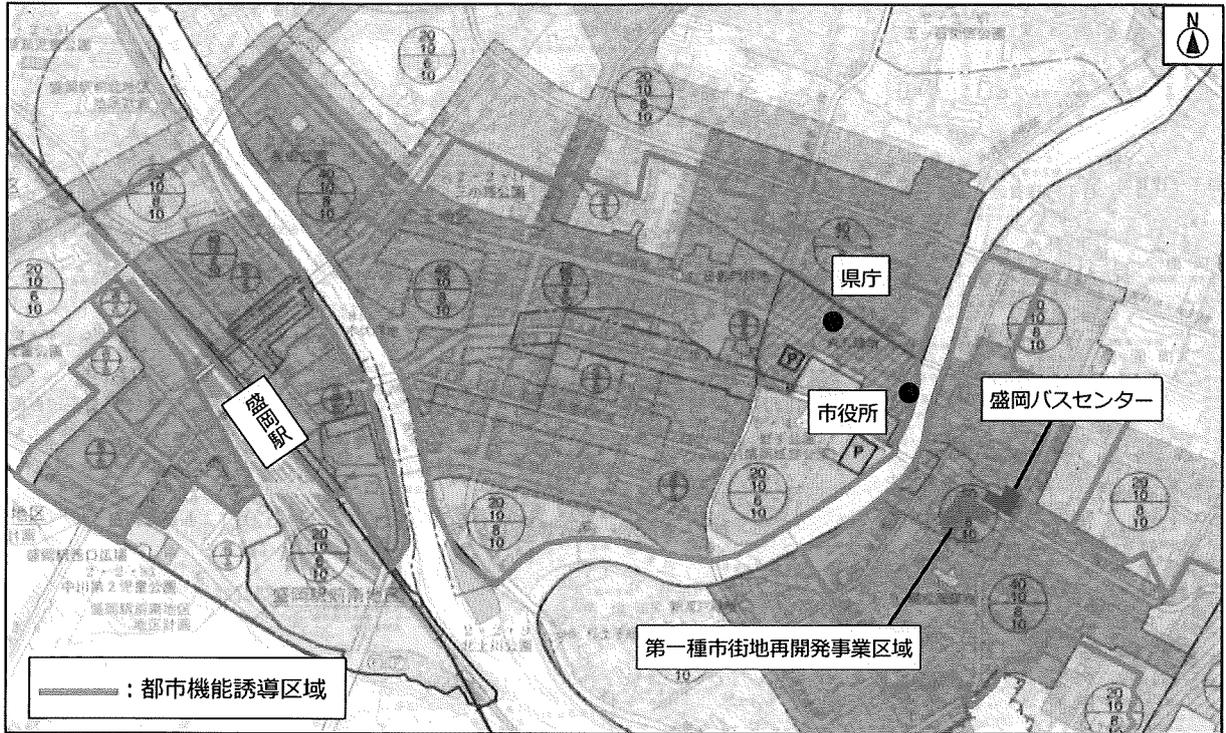
しかしながら、本市の中心市街地に立地する大型商業施設が閉店したことから、地域のにぎわいの低下はもとより中心市街地全体の活性化への影響が懸念される状況となっております。

こうした中、地域のにぎわい創出による中心市街地の活性化、都市の安全性及び防災機能の向上を図るため、組合施行の中ノ橋通一丁目地区第一種市街地再開発事業に国・県からの交付金支援のもと令和3年度から着手しており、予算確保に御配慮いただいておりますことに感謝申し上げます。

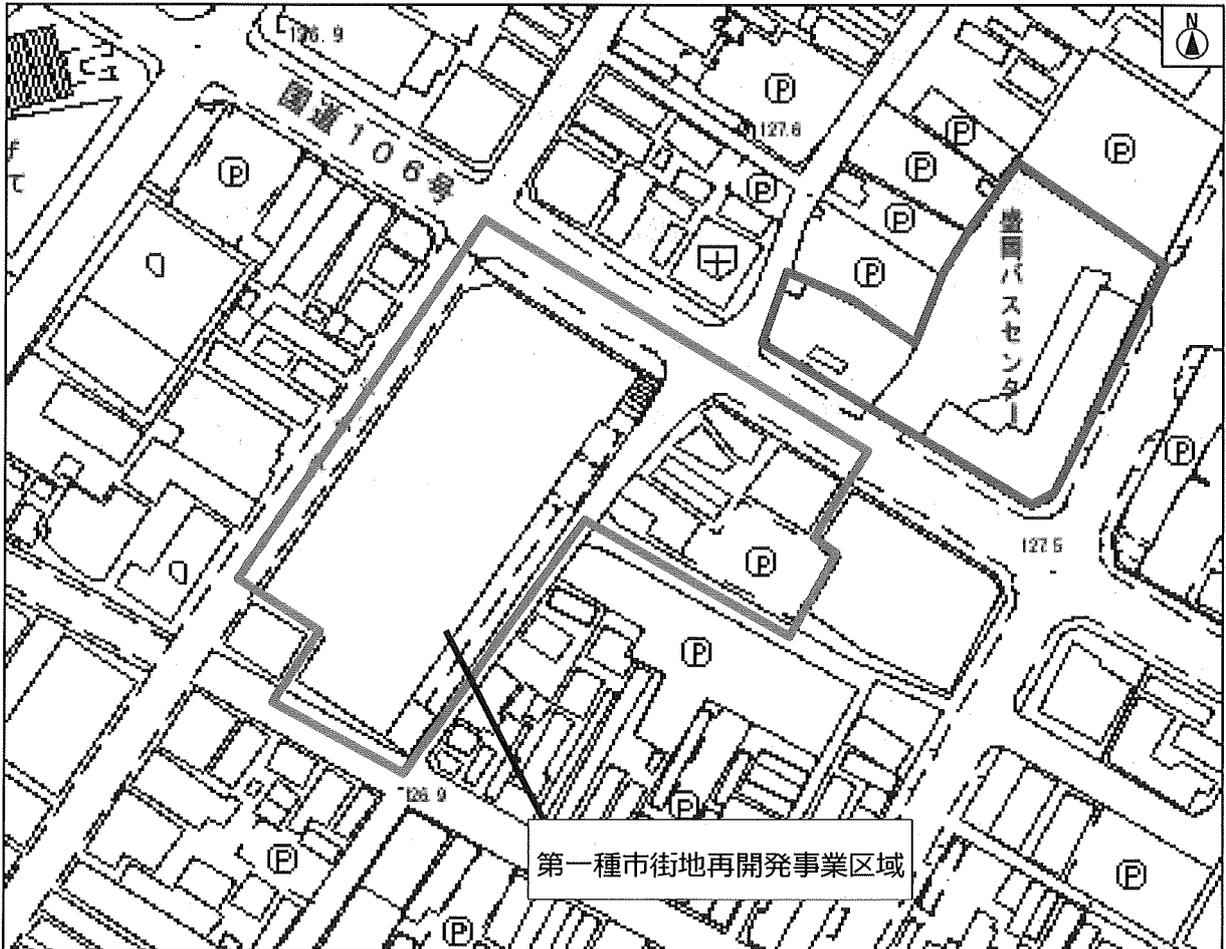
当該市街地再開発事業は、三陸沿岸企業との連携や県内観光エリアの魅力発信機能を備えるなど、広域的な公益性を有する施設となっており、本市としても、都市政策上重要な事業と位置付けるとともに、近接地において公民連携で事業を進め、令和4年10月4日に開業した盛岡バスセンターとも連携を図ることとして、事業を進めているところです。

つきましては、本市における当該市街地再開発事業を着実に推進するため、県におかれても、事業への御理解と御支援をいただきたく、引き続き予算の確保に特段の御配慮を賜りますよう要望いたします。

市街地再開発事業の推進について 位置図



市街地再開発事業の推進について 区域図



盛岡市内の国県道の整備促進について

盛岡市は、都市機能を支える基盤として、現都心地区と盛岡南新都心地区を結ぶ軸状都心の形成及び中心市街地を囲む環状道路と郊外を結ぶ放射道路の計画を配置し、北東北の交流拠点都市とする、行政、経済、教育・文化、医療等の高次の都市機能を備えたまちづくりを進めております。しかしながら、新市街地の形成や周辺町村の市街地拡大に伴う本市への交通需要の増加等により、随所で恒常的な交通渋滞が発生するなど、市民生活はもとより経済活動にも影響を及ぼしており、円滑な交通の確保を図るため、幹線道路の整備が急務となっております。

特に、こうした幹線道路の整備は、中心市街地と周辺部を結ぶ安心・安全なネットワークを強化し高次の都市活動を支え、地域づくりや広域経済に大きな波及効果をもたらすことから、関係住民も大きく期待しているところであります。

また、郊外部において県道は本市の主要な幹線道路として大型車の通行が多く、走行速度も速いことから、通学児童等通行者の安全を確保する歩道の整備や円滑で安全な通行を確保する急カーブ箇所等の道路改良が急務となっており、沿道住民から改善を待ち望まれています。

なお、岩^{いわ}姫^{ひめ}橋^{ばし}については、老朽化が目立ち、陥没事故も発生していることから、橋梁の架け替えによる老朽化対策も課題となっております。

つきましては、県で管理している、次の国県道の整備促進について要望いたします。

区分	路線名	要望地区	工種
継続	都市計画道路向中野安倍館線 <small>むかいなかのあべたて</small>	前九年三丁目から 上堂一丁目地区 <small>ぜんくねん かみどう</small>	道路改良
〃	都市計画道路向中野安倍館線	仙北三丁目から 南仙北三丁目 (川久保交差点) <small>せんぼく みなみせんぼく かわくぼ</small>	道路改良
〃	都市計画道路盛岡駅本宮線 <small>もりおかえきもとみや</small>	杜の大橋 <small>もり おおはし</small>	橋梁工事、 4車線化
〃	主要地方道上米内湯沢線 <small>かみやないゆざわ</small>	浅岸地区、下米内地区 <small>あさぎし しもよない</small>	歩道整備

区分	路線名	要望地区	工種
継続	一般県道 ^{しづたみでんどう} 渋民田頭線	^{しづたみ} 渋民地区、 ^{おおだい} 大台地区	歩道整備
〃	一般県道 ^{しづたみかわまた} 渋民川又線 及び主要地方道盛岡環状線	^{もんぜんじ} 門前寺地区、 ^{しらさわ} 白沢地区、 ^{たかこう} 鷹高地区、 ^{かわまた} 川又地区	歩道整備
〃	一般県道 ^{しづたみかわまた} 渋民川又線	^{ひのと} 日戸地区	急カーブの 解消
〃	主要地方道盛岡環状線	^{いわひめ} 岩姫橋	橋梁架替
新規	一般国道 455 号	玉山地域	急カーブ・ 急勾配の解消、 土側溝区間の 道路拡幅

盛岡市内の県道整備促進に係る要望箇所図(その1)

歩道の整備による通学路の安全対策

4車線化による渋滞の解消

(都) 向中野安倍館線の渋滞発生状況



県道整備促進による効果

現状

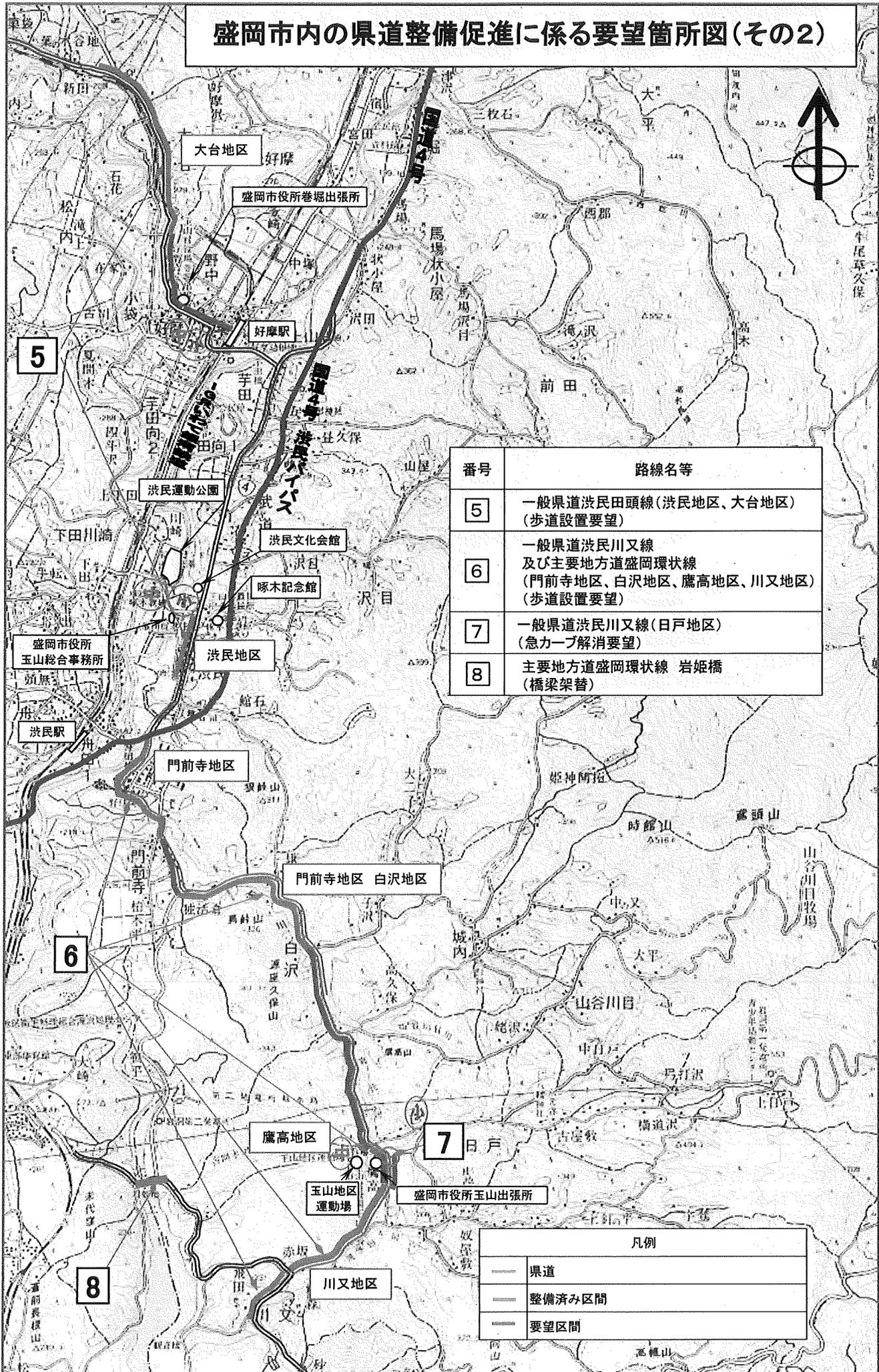
- ◆ 中心市街地に流入する区間に恒常的に交通渋滞が発生し、公共交通にも影響を及ぼしている。
- ◆ 中心市街地と周辺部を安心・安全にアクセスできる幹線道路の整備が求められている。

整備による効果

- ◆ 中心市街地と周辺部を安心・安全なネットワークの強化から、行政、経済、教育・文化、医療など高次の都市機能を支援。
- ◆ 公共交通軸を形成することで、公共交通利用促進と中心市街地の交通環境が向上。
- ◆ 地域づくりや広域経済への波及効果を期待。

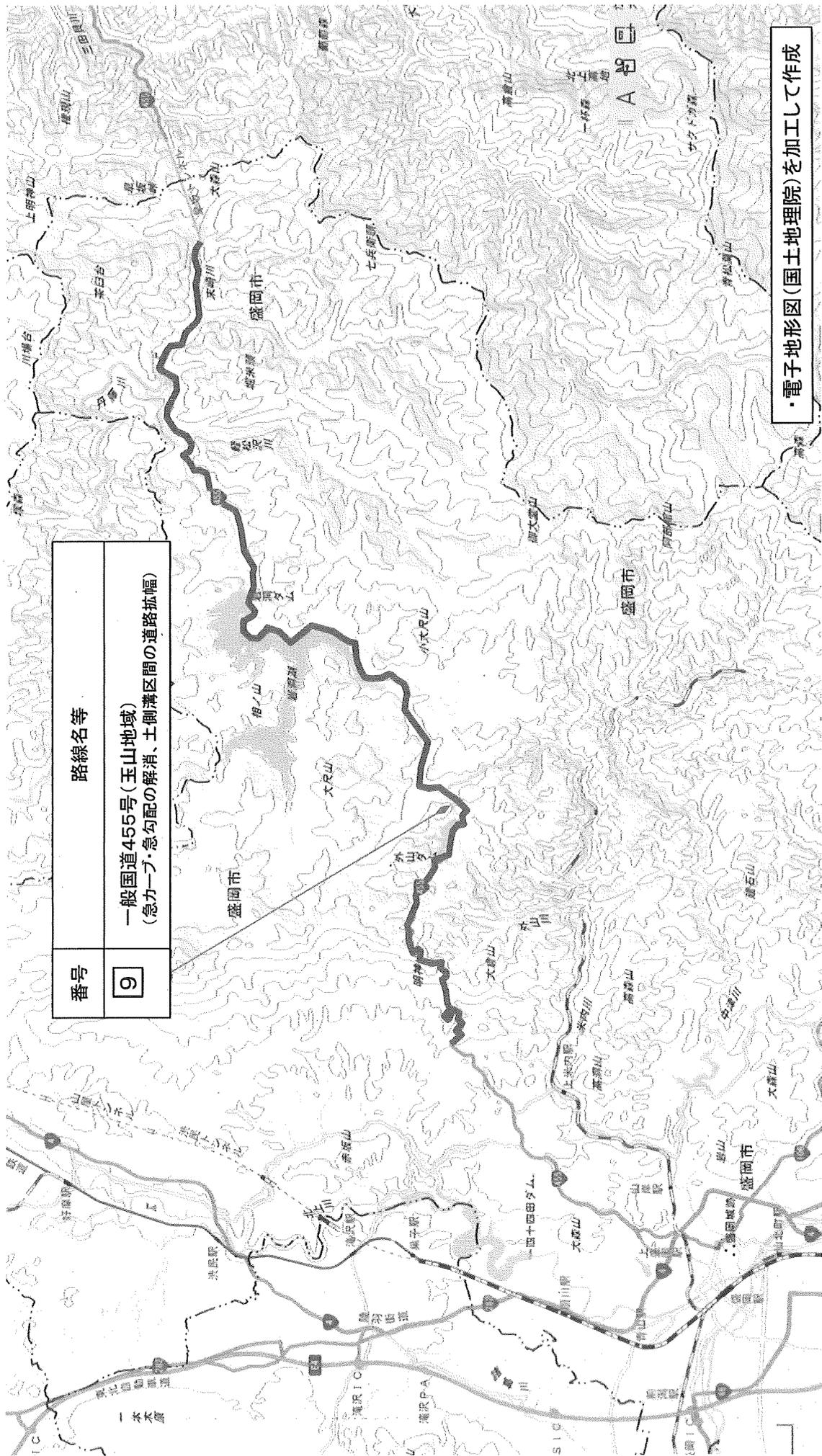
番号	路線名等
1	都市計画道路 向中野安倍館線(上堂地区)
2	都市計画道路 向中野安倍館線(仙北地区)
3	都市計画道路 盛岡駅本宮線(杜の大橋)
4	主要地方道上米内湯沢線 (浅岸地区, 下米内地区)

盛岡市内の県道整備促進に係る要望箇所図(その2)



番号	路線名等
5	一般県道洪民田頭線(洪民地区、大台地区) (歩道設置要望)
6	一般県道洪民川又線 及び主要地方道盛岡環状線 (門前寺地区、白沢地区、鷹高地区、川又地区) (歩道設置要望)
7	一般県道洪民川又線(日戸地区) (急カーブ解消要望)
8	主要地方道盛岡環状線 岩姫橋 (橋梁架替)

凡例	
——	県道
——	整備済み区間
——	要望区間



番号	路線名等
9	一般国道455号(玉山地域) (急カーブ・急勾配の解消、土側溝区間の道路拡幅)

・電子地形図(国土地理院)を加工して作成

岩手県管理河川改修事業の促進について

水害から市民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、盛岡市において岩手県で実施されております河川改修事業が着実に進展しておりますことは、岩手県御当局の御尽力によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、本市内を流れる岩手県管理河川のうち、一級河川^{きたかみがわ}北上川水系^{とくきがわ}木賊川では、平成14年7月の台風により115戸の床上・床下浸水被害、平成19年9月の大雨では避難勧告の発令、また、一級河川^{きたかみがわ}北上川及び一級河川^{まつかわ}松川においては、平成25年9月に発生した台風により、86戸の床上・床下浸水をはじめ道路や農地への冠水、河川護岸の崩壊など甚大な被害が生じており、住民に大きな不安を与えており、被害にあった地域から、早期の抜本的河川改修が求められております。

また、一級河川^{みなみかわ}南川につきましては、市街地の水害防止のため、県と市が分担して整備を進め、国道4号から下流の県施行分については、平成28年度をもって概成したところではありますが、北上川合流点付近が未改修となっており、平成19年9月や平成29年8月などの大雨により合流点付近に浸水、冠水の被害が発生し、地域から早期の河川改修が求められております。

つきましては、岩手県により進められております、この4河川の改修事業により、災害による被害の軽減と市民の安全安心な生活が確保されますよう、事業の促進について要望いたします。

岩手県管理河川改修事業

【要望効果】(木賊川)

H14年7月の台風被害において発生した、床上浸水16戸、床下浸水99戸の被害解消を図る。



滝沢市境
出水状況

木賊川 遊水地・河川改修要望
(北上川合流点～滝沢市境)



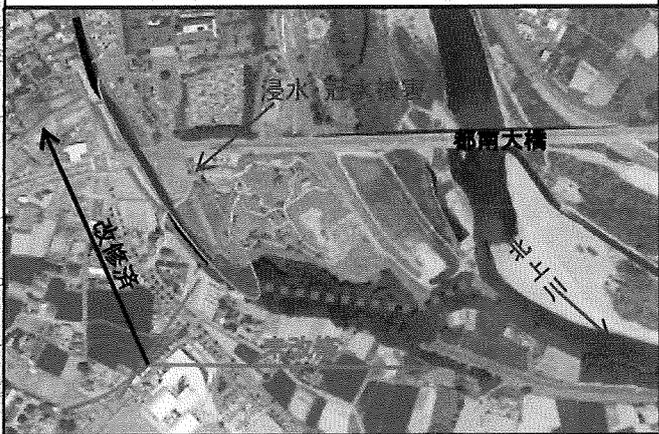
上堂地区
浸水状況 (H14. 7月)



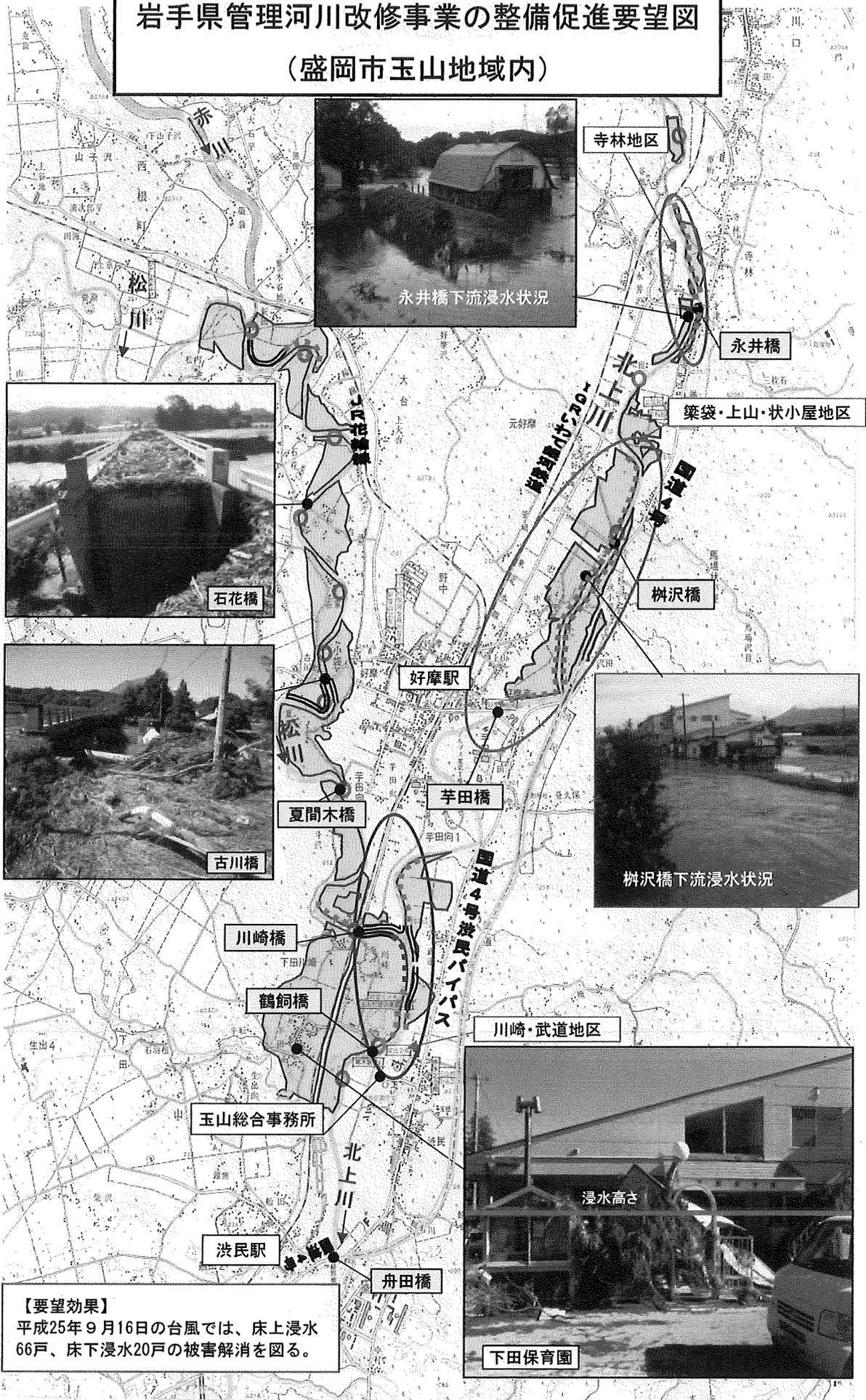
【要望効果】(南川)

H19年9月、H29年8月などの大雨時における浸水、冠水被害を防ぎ、住民の安全を確保する。

南川 改修状況 (R3年3月末)



岩手県管理河川改修事業の整備促進要望図 (盛岡市玉山地域内)



【要望効果】
 平成25年9月16日の台風では、床上浸水66戸、床下浸水20戸の被害解消を図る。

■ 大雨洪水、台風による浸水範囲 ○ H25.9災害対応箇所

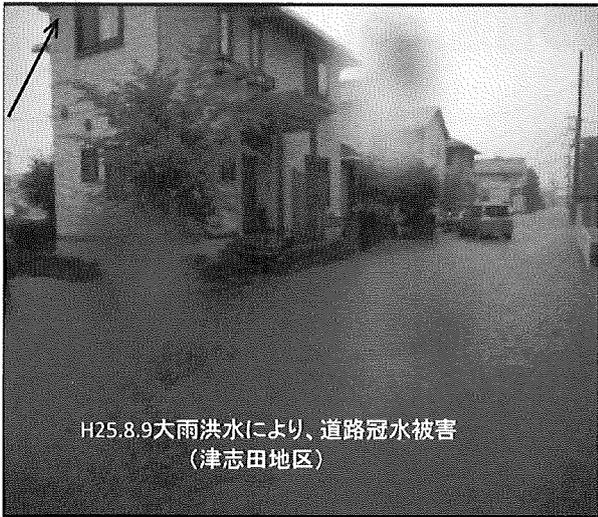
大規模特定河川事業の推進について

盛岡市内を貫流する一級河川北上川水系南川^{みなみかわ}は、毎年、降雨期には洪水による浸水被害が懸念されており、沿川住民の不安を解消するため、早期の河川改修が強く要望されております。

本河川は、盛岡南新都市土地区画整理事業の完工による市街化の進展に伴い、雨水の流入量が増加しており、市民の安全安心な生活を確保するため、整備が急務となっております。また、道明地区^{どうみょう}土地区画整理事業及び同地区に隣接して実施されている生活環境整備事業、新産業等用地整備事業(道明地区^{どうみょう})においては、早期の完成を目指し整備等が進められており、これらの事業と本河川の整備については、一体で取り組むことが必要不可欠であります。

つきましては、大規模特定河川事業の着実な推進について御配慮いただきたく要望いたします。

大規模特定河川事業



大規模特定河川 南川（津志田～飯岡新田）



【要望効果】
河川改修により、市民の安全安心な生活の確保と快適でうるおいのある環境の創出が図られる。

急傾斜地崩壊対策事業の促進について

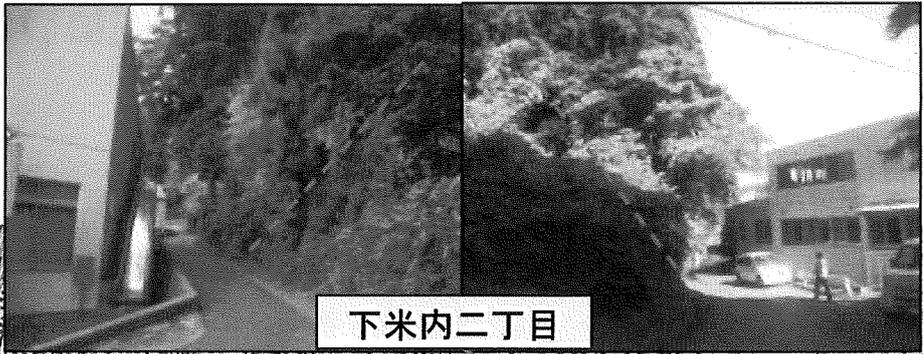
がけ崩れを含めた土砂災害から地域住民の生命と財産を守り、安全な生活環境を確保するため、急傾斜地崩壊対策事業が着実に実施されておりますことは、岩手県御当局の御配慮によるものと深く感謝いたしております。

しかしながら、西日本を中心とした平成 30 年 7 月豪雨や同年 9 月に発生した北海道いぶり胆振東部地震など全国各地で土砂災害が発生しており、本市においても大雨や地震による土砂災害の発生が懸念されており、住民に大きな不安を与えております。

特にも、「安倍館地区」あべたてでは、要望箇所に加え、隣接する箇所においてがけ崩れが発生するなど、予断を許さない状況となっており、地域住民の安全確保が必要となっております。

つきましては、急傾斜地崩壊対策事業の「安倍館地区」あべたての新規事業化、及び「山岸一丁目地区 (6)」、「下米内二丁目地区」しもよない、「桜山 (3) 地区」さくらやまの事業促進について要望いたします。

急傾斜地崩壊対策事業要望箇所図



下米内二丁目



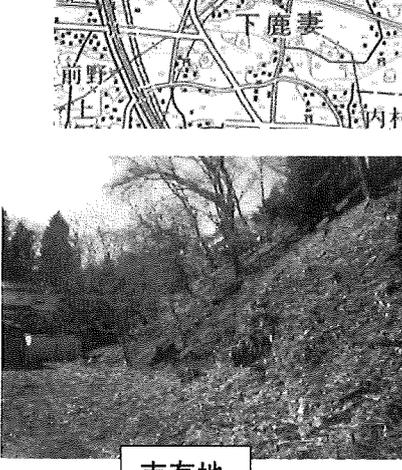
安倍館



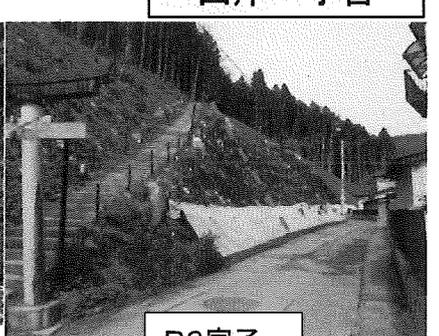
山岸一丁目



桜山



市有地



R3完了



【要望効果】
土砂災害から市民の生命を守り、安全安心な生活の確保に寄与する。

盛岡市土地区画整理事業の推進について

盛岡市では、^{おおた}太田地区、^{どうみょう}道明地区及び^{となんちゅうおうだいさん}都南中央第三地区において土地区画整理事業を実施するとともに、事業区域縮小により土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域では、道路整備を中心に事業を実施することで、地区の恵まれた環境を生かしつつ機能的で魅力があり、コンパクトで持続可能なまちづくりを進めております。

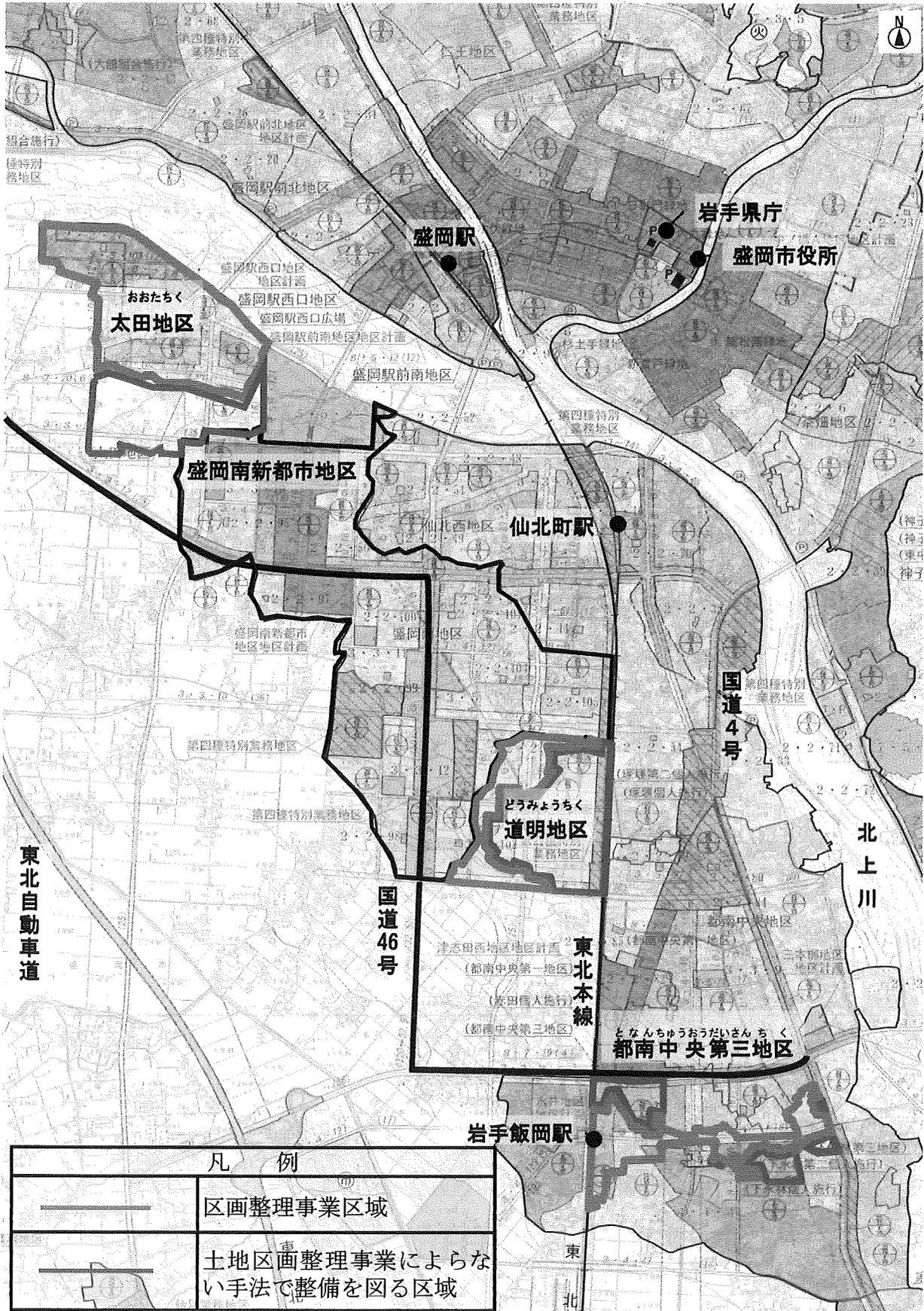
本市は、令和元年度に立地適正化計画を策定し、社会資本整備総合交付金事業の道路事業により、地域住民の日常生活の安全性や利便性の向上、行政サービスの効率化による行政コストの削減等、事業効果の早期発現を目指し取り組んでおります。また、都南中央第三地区では令和2年度から都市構造再編集中支援事業の導入により、5年度におきましても事業進捗が図られているところであります。

しかしながら、地元の早期事業完了要望に応え、また、土地区画整理事業と合わせた地区全体の早期効果発現を行うためにも、財源を確保して一層の事業推進を図る必要がありますことから、盛岡市土地区画整理事業の着実な推進と土地区画整理事業によらない区域の生活環境改善推進について、引き続き国に働きかけていただきたく要望いたします。

(R5年度末)

地区名	^{おおた} 太田	^{どうみょう} 道明	^{となんちゅうおうだいさん} 都南中央第三
施行面積 (ha)	区画整理 77.2 区画整理外 41.2 計 118.4	区画整理 21.7 区画整理外 48.9 計 70.6	区画整理 26.5 区画整理外 17.5 計 44.0
事業期間	H5～R7(清算R12)	H15～R5(清算R10)	H12～R6(清算R11)
総事業費 (百万円)	区画整理 33,468 区画整理外 803 計 34,271	区画整理 6,671 区画整理外 3,161 計 9,832	区画整理 9,305 区画整理外 668 計 9,973
今後の見通し	～R7まで (3年)	～R5まで (1年)	～R6まで (2年)
残事業費 (百万円)	区画整理 1,275 区画整理外 75 計 1,350	区画整理 175 区画整理外 54 計 229	区画整理 121 区画整理外 0 計 121
※ 上表の「区画整理外」は「土地区画整理事業によらない手法で整備を図る区域」。 都南中央第三地区都市構造再編集中事業の基幹事業は土地区画整理事業、道路及び公園整備事業。(太田地区はR6、道明地区はR5の宅地概成を目標としている。)			

盛岡市 土地区画整理等事業 位置図



循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備の推進について

盛岡市は、健全で良好な水環境の創出を目指して、公共用水域の水質保全及び衛生的な生活環境の確保を図るため、「公共下水道」「農業集落排水」「浄化槽」の3事業により汚水処理事業を推進しているところであります。

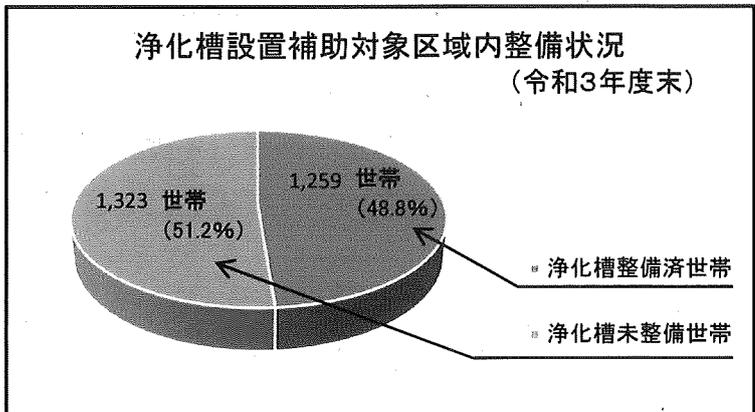
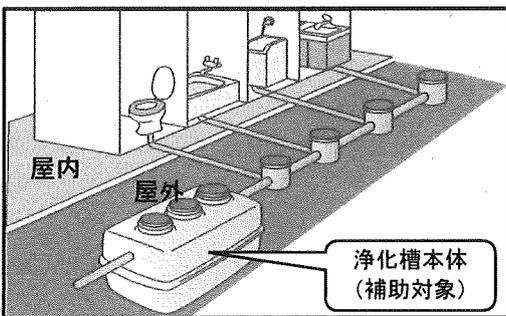
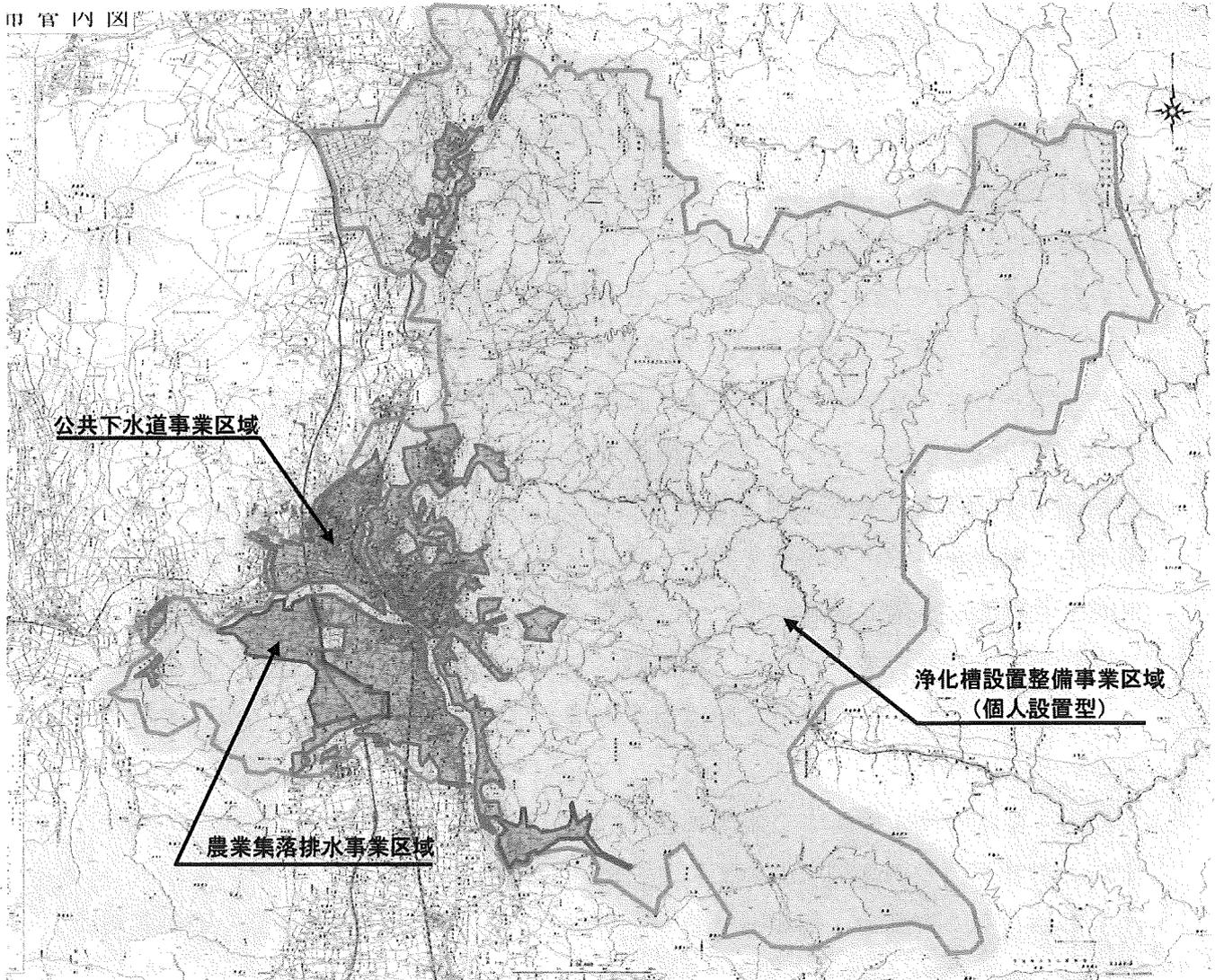
平成26年1月の国土交通省、農林水産省及び環境省からの3省通知を踏まえ、平成27年度に公共下水道の計画区域を縮小し、浄化槽による整備区域を拡大することを柱とした「盛岡市汚水処理基本計画」を策定するとともに、令和7年度の汚水処理施設の概成を目指す「盛岡市汚水処理施設概成アクションプラン」を平成28年度に策定し、鋭意取り組んでいるところであります。しかし、公共下水道整備には現計画において時間を要する見込みとなっており、早期の生活改善と効果的・効率的な整備促進を図るため、令和3年度から下水道計画区域縮小の見直しに着手しております。同時に、浄化槽による整備区域拡大の見直しを行うこととしており、見直し後の区域における浄化槽の整備促進を重点的に図る必要があります。

また、現状の浄化槽による整備区域については、人口集積が低い地域であります。市域面積の約9割を占めており、令和3年度末時点で当該整備区域内人口のうち約5割の整備率に留まっておりますことから、より一層の整備促進が必要となっております。

つきましては、盛岡市浄化槽設置整備事業の一層の推進を図るため、浄化槽整備における循環型社会形成推進交付金の予算確保について国に働きかけていただくとともに、当該交付金と同額（年度間調整を含まない）の浄化槽設置整備事業費補助金の予算確保について要望いたします。

循環型社会形成推進交付金による浄化槽整備区域

甲 官内図



※ 世帯当たり人員は3.06人/世帯(H27国勢調査ベース)として算出。

令和 5 年度 国・県予算要望成果

(令和 5 年 5 月 24 日現在)

令和5年度国予算要望成果

注：件名欄に（国、県）とあるのは、国及び県の両方に要望した項目です。

No.	件名	要望成果			
1	社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について（国、県）	交付金	（単位：千円）		
		要望計画名	要望額	配分額	配分額 ／ 要望額
		第2期 北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心して通行できる道づくり	115,700	32,377	28.0%
		第2期 賑わいのある市街地の基盤づくり	536,885	443,428	82.5%
		岩手県における快適で豊かに暮らせる生活環境の早期実現	359,000	150,612	41.9%
		第3期 岩手県地域における住宅セーフティネットの構築と住環境の整備（地域住宅計画）	92,339	92,339	100%
		第2期岩手県地域住宅等整備計画（地域住宅計画）（重点計画）	9,474	7,024	74.1%
		盛岡西部における交通拠点の形成	43,167	43,167	100%
		盛岡市における中心市街地の魅力あるまちづくり	419,930	406,238	96.7%
		第2期 北東北の交流拠点としての快適な都市基盤づくりと盛岡市民が安全で安心して通行できる道づくり（防災・安全）	226,740	99,362	43.8%
		第2期 いわたの社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理（防災・安全）	2,250	1,469	65.2%
		第2期 いわたの社会資本の事前防災・減災対策と戦略的な維持管理（防災・安全）（総合流域防災事業）	17,000	17,000	100%
		いわての通学路等の安全・安心の確保（防災・安全）（重点）	756,360	297,484	39.3%
		良好な生活環境と健全な下水道の創出（第2次）（防災・安全）	150,000	150,000	100%
		岩手県における浸水不安のない街の実現（防災・安全）（重点計画）	227,500	225,900	99.3%
		第2期 盛岡市における安心して安全な都市公園づくり（防災・安全）	58,100	56,000	96.3%
第3期 岩手県安全で安心できるすまいづくり・まちづくり（防災・安全）	424,225	399,717	94.2%		
盛岡市における盛土規制法に基づく基礎調査の推進（防災・安全）	16,800	16,800	100%		
合計	3,455,470	2,438,917	70.5%		

	社会資本整備総合交付金事業及び個別補助制度事業に係る事業の推進について (国、県)	個別補助事業 (単位：千円)		
		要望計画名	要望額	配分額 配分額 ／要望額
		都市構造再編集中支援事業（都市再生整備計画 盛岡バスセンター周辺地区）	1,400	1,200 85.7%
		都市構造再編集中支援事業（都南中央第三地区）	47,300	47,300 100%
		いわて無電柱化推進計画（無電柱化推進計画支援）	71,500	71,500 100%
		大規模特定河川事業費補助	189,000	189,000 100%
		盛岡市橋梁長寿命化修繕計画	156,143	92,456 59.2%
		都市空間情報デジタル基盤構築支援（盛岡広域都市計画市街化区域）	15,800	15,000 94.9%
		地籍整備推進調査費補助金（太田地区）	10,000	4,000 40.0%
		合 計	491,143	420,456 85.6%
2	一般国道 46 号「盛岡西バイパス」の 2 車線供用区間の 4 車線化の整備促進について (国、県)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度事業内容 調査推進：道路設計 工事推進：橋梁上下部工 ・令和 5 年度事業予定概要 事業費 約 17.4 億円 事業内容 調査推進：道路設計 工事推進：橋梁上下部工 ・用地進捗率 100% (令和 5 年 3 月) ・事業進捗率 約 76% (令和 5 年 3 月) 		
3	一般国道 4 号「盛岡南道路」整備事業の推進について (国、県)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度 調査推進：道路設計 ・令和 5 年度事業予定概要 事業費 約 1.0 億円 事業内容 調査推進：道路設計 ・用地進捗率 0% (令和 5 年 3 月) ・事業進捗率 約 1% (令和 5 年 3 月) 		

4	道路局所管盛岡市道路整備事業の推進について (国、県)	(単位：千円)						
		区 分	要 望 内 容			要望成果	備 考	
			路 線 名	工 種	要 望 額			
		継続	津志田白沢線	道路改築	78,000	54,600		
		"	谷地頭線	"	162,000	113,399		
		"	岩手公園開運橋線	交通安全、 無電柱化	60,000	60,000	R4 1次補正	
					90,000	90,000		
		"	南大通二丁目 南大橋線外	交通安全、 無電柱化	110,000	110,000	R4 1次補正	
					40,000	40,000		
"	本町通一丁目 名乗沢2号線 (山岸二丁目)	交通安全	216,000	216,000				
計			756,000	683,999				
5	一般国道4号渋民バイパスへの道の駅整備について (国、県)	<p>整備に係る諸般の検討に対する技術的助言等の協力を得るとともに、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所と令和4年10月12日に「道の駅もりおか渋民の工事施行に関する覚書」を締結した。</p> <p>また、同事務所において、令和5年度の道の駅整備工事費として、393,000千円(交差点改良工事等の同事務所単独施工分を含む。)を予算化いただいている。</p>						
6	都市局所管盛岡市内街路事業の推進について (国、県)	(単位：千円)						
		事業主体	区 分	要 望 内 容			要望成果	備考
				路 線 名	工 種	要 望 額		
		盛岡市	継続	愛宕町 三ツ割線	道路改築	46,467	41,788	
		岩手県	"	盛岡駅 本宮線	橋梁整備	724,905	740,404	
計				771,372	782,192			
7	市街地再開発事業の推進について (国、県)	(単位：千円)						
		要望計画名	要望額	配分額(※)	配分額/要望額			
		盛岡市における中心市街地の魅力あるまちづくり	(国費) 419,930 (県費) 77,800	(国費) 406,238 (県費) 77,800	(国費) 97% (県費) 100%			
※令和5年3月31日以内示 国費								

8	盛岡市内の直轄管理河川北上川水系治水事業の促進について	<p style="text-align: center;">要望内容</p> <p>河川改修整備の促進、早期着工 堤防ハード対策の促進 適切な管理の推進</p>	<p style="text-align: center;">成果</p> <p>○見前地区堤防強化 L=1,570m ・令和3年度(令和2年度補正)完成</p> <p>○盛岡地区かわまちづくり ・令和2年度 ハード整備完了 ・令和3年度～ モニタリング (効果検証)</p> <p>○北上川上流治水対策検討(夕顔瀬地区の治水対策計画を含む)を実施</p> <p>○「適切な河川管理」として堆積土砂撤去(河道掘削)や樹木伐採を実施 ・令和4年度 中津川等樹木伐採 約14千㎡</p> <p>【令和5年度予定】</p> <p>○盛岡地区かわまちづくり ・令和3年度～ モニタリング (効果検証) 継続</p>
		<p style="text-align: center;">要望内容</p> <p>四十四田ダムと御所ダムの洪水調節機能向上</p>	<p style="text-align: center;">成果</p> <p>○北上川上流ダム再生事業(令和元年度新規事業化)</p> <p>【令和4年度まで】</p> <p>・令和3年度 約416,000千円 ・令和3年度(補正) 252,000千円 ・令和4年度 約420,000千円</p> <p><成果> 本体関連の調査・設計を実施。 具体的には、四十四田ダム堤体近傍ボーリング調査や環境調査、本体設計や施工計画検討などを実施</p> <p>【令和5年度予定】</p> <p>・令和5年度 約422,000千円</p> <p><実施予定> 引き続き、本体関連の調査・設計を予定</p>
9	北上川上流ダム再生事業の促進について		

10	大規模特定河川事業の推進について (国、県)	要望内容		成果	
		大規模特定河川事業の推進		<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業費 411,000千円 委託料 71千円 補償費 49,049千円 借地料 616千円 工事請負費 153,280千円 工事負担金(道路工事) 206,439千円 用地費 1,545千円 ・令和5年度事業費 567,000千円 委託料 0千円 補償費 44,486千円 借地料 6,900千円 工事請負費 403,000千円 工事負担金(道路工事) 90,300千円 用地費 22,314千円 	
11	盛岡市土地区画整理事業の推進について (国、県)	(単位：千円)			
		要望計画名	要望額	配分額 (※)	配分額/ 要望額
		賑わいのある市街地の基盤づくり	536,885	443,428	82.6%
		都市構造再編集中支援事業(個別補助事業) 都南中央第三地区 ※岩手飯岡駅につながる幹線道路を中心とした基盤づくり(令和元年度まで)	47,300	47,300	100%
		合 計	584,185	490,728	84.0%
※…令和5年3月31日内示 国費					
12	盛岡市公共下水道事業の推進について	公共下水道事業費			
		要望内容		成果(内示額)	
公共下水道事業費【令和5年度要望額】		公共下水道事業費【令和5年度内示額】			
合 計	786,500千円	合 計	526,512千円		
未普及解消事業費	359,000千円	未普及解消事業費	150,612千円		
浸水対策事業費	227,500千円	浸水対策事業費	225,900千円		
改築更新事業費	150,000千円	改築更新事業費	150,000千円		
同【令和4年度2次補正要望額】		同【令和4年度2次補正内示額】			
合 計	317,500千円	合 計	142,500千円		
未普及解消事業費	175,000千円	未普及解消事業費	0千円		
浸水対策事業費	17,500千円	浸水対策事業費	17,500千円		
改築更新事業費	125,000千円	改築更新事業費	125,000千円		

13	循環型社会形成 推進交付金による 浄化槽整備の 推進について (国、県)	要望内容		成果 (内示額)		
		令和5年度要望額 浄化槽設置整備事業費補助金 (個人設置型) ・事業費 18,234 千円 うち交付金 6,078 千円 うち県費補助金 6,078 千円 ・整備基数 43 基 (5~10 人槽)		令和5年度内示額 浄化槽設置整備事業費補助金 (個人設置型) ・事業費 18,234 千円 うち交付金 6,078 千円 うち県費補助金 6,078 千円 ・整備基数 43 基 (5~10 人槽)		
14	国指定史跡盛岡 城跡保存整備事 業の推進につい て	史跡盛岡城跡保存整備事業 (単位：千円)				
		要望内容				要望成果
		項目	要望額			
		三ノ丸北西部石垣修復等工事	197,896 千円		197,679 千円	
		三ノ丸北西部石垣修復工事施工監理	1,881 千円		1,881 千円	
		石垣変位調査業務委託	4,609 千円		4,609 千円	
		遺構等測量図化業務委託	803 千円		440 千円	
		漆関連遺物保存処理業務委託	4,840 千円		1,300 千円	
整備委員会・発掘調査等	11,532 千円		5,150 千円			
	221,561 千円		211,059 千円			
計	うち補助額	110,780 千円	うち補助額	105,529 千円		
		補助率 50%		補助率 50%		

令和5年度県予算要望成果

(県のみ要望した項目 7件)

No.	件名	要望成果																
1	鉄道駅のバリアフリー化の推進について	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 ・実施設計 ・令和5年度 バリアフリー化工事施工 																
2	スポーツ推進施策の充実強化について	<p>県では、これまで、スポーツ医・科学の知見に基づく県民の健康づくりや競技力向上について、県営スケート場内に体力測定や実技講習を行うスペースを確保し、測定結果に基づくトレーニングメニューの提供やスポーツ栄養、メンタル等に関する研修等を実施している。</p> <p>また、トレーナー資格を持つ専門員等を青山駐在に配置するとともに、岩手県体育協会が設置しているスポーツ医・科学委員会と連携し、スポーツドクター、スポーツ栄養士、大学関係者等の協力をいただきながら、県民の健康づくりに係る講習会への講師派遣のほか、選手強化のためのトレーニング指導やいわてアスレティックトレーナーの養成など、ソフト面での様々な取組を進めており、国内外の大会における本県出身選手の活躍につながっている。</p> <p>当面は、現行の取組の充実・強化を図り、事業効果を高めていながら、スポーツ健康科学センター・多目的屋内練習施設のあり方についても検討していく。</p>																
3	水道施設耐震化等推進事業費補助金の確保について	<p>水道施設耐震化等推進事業費補助金（生活基盤施設耐震化等交付金）</p> <p>【要望額】</p> <p>合計 250,714 千円</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>老朽管更新事業</td> <td style="text-align: right;">25,000 千円</td> </tr> <tr> <td>重要給水施設配水管</td> <td style="text-align: right;">115,714 千円</td> </tr> <tr> <td>水道管路緊急改善事業</td> <td style="text-align: right;">23,000 千円</td> </tr> <tr> <td>緊急時用連絡管</td> <td style="text-align: right;">47,000 千円</td> </tr> </table> <p>【内示額】</p> <p>合計 250,714 千円</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>老朽管更新事業</td> <td style="text-align: right;">25,000 千円</td> </tr> <tr> <td>重要給水施設配水管</td> <td style="text-align: right;">115,714 千円</td> </tr> <tr> <td>水道管路緊急改善事業</td> <td style="text-align: right;">23,000 千円</td> </tr> <tr> <td>緊急時用連絡管</td> <td style="text-align: right;">47,000 千円</td> </tr> </table>	老朽管更新事業	25,000 千円	重要給水施設配水管	115,714 千円	水道管路緊急改善事業	23,000 千円	緊急時用連絡管	47,000 千円	老朽管更新事業	25,000 千円	重要給水施設配水管	115,714 千円	水道管路緊急改善事業	23,000 千円	緊急時用連絡管	47,000 千円
老朽管更新事業	25,000 千円																	
重要給水施設配水管	115,714 千円																	
水道管路緊急改善事業	23,000 千円																	
緊急時用連絡管	47,000 千円																	
老朽管更新事業	25,000 千円																	
重要給水施設配水管	115,714 千円																	
水道管路緊急改善事業	23,000 千円																	
緊急時用連絡管	47,000 千円																	
4	市の産業施策と県の北上川バレープロジェクトとの連携強化、及び新たな物流拠点の整備への支援について	<p>北上川流域全体の産業の高度化・高付加価値化と、地域の特色を生かした県全体の発展を実現するためには、県と本市が連携して産業振興に取り組み、人材やイノベーション等の産業資本を全県に波及させていくことが重要なことから、協定における連携項目の具体的な取組については、定期的な協議により検討を進めている。</p> <p>また、物流拠点の整備については、農用地区域からの除外や農地転用に関して関係部署から指導・助言をいただきながら事業内容を検討した他、農地以外の事項についても、事業進捗に応じて関係部署との協議により事業を進めている。</p>																

No.	件名	要望成果				
5	盛岡市内の県道の整備促進について	(単位：千円)				
		区分	要望内容			
			路線名	地区名	工種	要望成果
		継続	都市計画道路向 中野安倍館線	上堂地区	道路改良	(一)
		〃	都市計画道路盛岡 駅本宮線	杜の大橋	橋梁工事、 4車線化	724,905
		〃	一般県道大ヶ生 徳田線	徳田橋	橋梁架替	1,011,000
		〃	主要地方道上米 内湯沢線	浅岸地区、 下米内地区	歩道整備	50,000 (浅岸地区)
		〃	一般県道渋民田 頭線	渋民、大台	歩道整備	(一)
		〃	一般県道渋民川 又線及び主要地 方道盛岡環状線	門前寺、白沢、 鷹高、川又地区	歩道整備	(一)
		〃	一般県道渋民川 又線	日戸	急カーブの解消	(調査実施)
		〃	主要地方道盛岡 環状線	岩姫橋	橋梁架替	(一)
		新規	都市計画道路向 中野安倍館線	仙北三丁目から 南仙北三丁目 (川久保交差点)	道路改良	(一)
		計				1,785,905
<p>※ 県の当初予算額であり、国の交付金内示額とは異なる。</p>						

No.	件名	要望成果													
6	岩手県管理河川改修事業の促進について	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 253 767 293">要望内容</th> <th data-bbox="767 253 1390 293">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 293 767 1149"> 1 「木賊川」、「北上川」、「松川」、「南川」の河川改修事業の促進 </td> <td data-bbox="767 293 1390 1149"> 「北上川・松川河川改修事業」 ・北上川 令和4年度事業費 170,000千円(R3繰越含) 樋門整備等工事一式 114,937千円 河道掘削等工事一式 55,063千円 令和5年度事業費 0千円 「木賊川河川改修事業」 令和4年度事業費 189,309千円(R3繰越含) 遊水地工事一式 161,163千円 環境調査等一式 28,146千円 令和5年度事業費 479,405千円(R4繰越含) 遊水地工事一式 422,837千円 環境調査等一式 56,568千円 「北上川・松川河川改修事業」 ・松川 令和4年度事業費 0千円 令和5年度事業費 198,000千円(R4繰越含) 河道拡幅等工事一式 195,500千円 工事資料作成一式 2,500千円 </td> </tr> </tbody> </table>		要望内容	成果	1 「木賊川」、「北上川」、「松川」、「南川」の河川改修事業の促進	「北上川・松川河川改修事業」 ・北上川 令和4年度事業費 170,000千円(R3繰越含) 樋門整備等工事一式 114,937千円 河道掘削等工事一式 55,063千円 令和5年度事業費 0千円 「木賊川河川改修事業」 令和4年度事業費 189,309千円(R3繰越含) 遊水地工事一式 161,163千円 環境調査等一式 28,146千円 令和5年度事業費 479,405千円(R4繰越含) 遊水地工事一式 422,837千円 環境調査等一式 56,568千円 「北上川・松川河川改修事業」 ・松川 令和4年度事業費 0千円 令和5年度事業費 198,000千円(R4繰越含) 河道拡幅等工事一式 195,500千円 工事資料作成一式 2,500千円								
要望内容	成果														
1 「木賊川」、「北上川」、「松川」、「南川」の河川改修事業の促進	「北上川・松川河川改修事業」 ・北上川 令和4年度事業費 170,000千円(R3繰越含) 樋門整備等工事一式 114,937千円 河道掘削等工事一式 55,063千円 令和5年度事業費 0千円 「木賊川河川改修事業」 令和4年度事業費 189,309千円(R3繰越含) 遊水地工事一式 161,163千円 環境調査等一式 28,146千円 令和5年度事業費 479,405千円(R4繰越含) 遊水地工事一式 422,837千円 環境調査等一式 56,568千円 「北上川・松川河川改修事業」 ・松川 令和4年度事業費 0千円 令和5年度事業費 198,000千円(R4繰越含) 河道拡幅等工事一式 195,500千円 工事資料作成一式 2,500千円														
7	急傾斜地崩壊対策事業の促進について	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="416 1265 895 1305">要望内容</th> <th data-bbox="895 1265 1390 1305">成果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="416 1305 895 1346">1 下米内二丁目地区の事業促進</td> <td data-bbox="895 1305 1390 1346">1 下米内二丁目地区 平成27年度～事業休止中</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1346 895 1386">2 安倍館地区の新規事業化</td> <td data-bbox="895 1346 1390 1386">2 安倍館地区 平成24年度～用地交渉継続中</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1386 895 1426">3 山岸一丁目地区(6)の事業促進</td> <td data-bbox="895 1386 1390 1426">3 山岸一丁目地区(Ⅱ) 令和4年度用地測量等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="416 1426 895 1467">4 桜山(3)地区の新規事業化</td> <td data-bbox="895 1426 1390 1467">7,018千円 令和4年度補償費 264千円 令和5年度急傾斜地崩壊対策工事 39,000千円 令和5年度借地料一式 1,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="895 1467 1390 1507">4 桜山地区 令和4年度急傾斜地崩壊対策工事 79,009千円 令和5年度急傾斜地崩壊対策工事 96,120千円</td> </tr> </tbody> </table>		要望内容	成果	1 下米内二丁目地区の事業促進	1 下米内二丁目地区 平成27年度～事業休止中	2 安倍館地区の新規事業化	2 安倍館地区 平成24年度～用地交渉継続中	3 山岸一丁目地区(6)の事業促進	3 山岸一丁目地区(Ⅱ) 令和4年度用地測量等	4 桜山(3)地区の新規事業化	7,018千円 令和4年度補償費 264千円 令和5年度急傾斜地崩壊対策工事 39,000千円 令和5年度借地料一式 1,000千円		4 桜山地区 令和4年度急傾斜地崩壊対策工事 79,009千円 令和5年度急傾斜地崩壊対策工事 96,120千円
要望内容	成果														
1 下米内二丁目地区の事業促進	1 下米内二丁目地区 平成27年度～事業休止中														
2 安倍館地区の新規事業化	2 安倍館地区 平成24年度～用地交渉継続中														
3 山岸一丁目地区(6)の事業促進	3 山岸一丁目地区(Ⅱ) 令和4年度用地測量等														
4 桜山(3)地区の新規事業化	7,018千円 令和4年度補償費 264千円 令和5年度急傾斜地崩壊対策工事 39,000千円 令和5年度借地料一式 1,000千円														
	4 桜山地区 令和4年度急傾斜地崩壊対策工事 79,009千円 令和5年度急傾斜地崩壊対策工事 96,120千円														